

吹田市

# 交通バリアフリー 基本構想

千里山・関大前地区、南千里地区



平成18年(2006年)12月



大阪府吹田市

# 目次

## 策定の背景と位置づけ

1.1	基本構想策定の背景	- 1
1.2	基本構想の位置づけ	- 2
1.3	基本理念と基本方針	- 5

## 千里山・関大前地区

### 第1章 千里山・関大前地区

1.1	選定理由	- 1
1.2	位置および区域	- 2

### 第2章 策定の背景と位置づけ

2.1	千里山・関大前地区の概要	- 4
2.2	地区の現況	- 5
2.3	交通施設の現況	- 8
2.4	地区内の課題	- 10
2.5	施設配置状況	- 12

### 第3章 千里山・関大前地区の基本方針

3.1	基本方針	- 14
-----	------	------

### 第4章 主な施設、主な経路

4.1	主な施設	- 15
4.2	主な経路	- 16

### 第5章 バリアフリー化事業の内容とスケジュール

5.1	事業内容とスケジュール	- 18
-----	-------------	------

第1章	南千里地区	
1.1	選定理由	- 1
1.2	位置および区域	- 2
第2章	策定の背景と位置づけ	
2.1	南千里地区の概要	- 4
2.2	地区の現況	- 5
2.3	交通施設の現況	- 7
2.4	地区内の課題	- 8
2.5	施設配置状況	- 9
第3章	南千里地区の基本方針	
3.1	基本方針	- 11
第4章	主な施設、主な経路	
4.1	主な施設	- 12
4.2	主な経路	- 14
第5章	バリアフリー化事業の内容とスケジュール	
5.1	事業内容とスケジュール	- 17

バリアフリー化の進め方

1.1	持続的な交通バリアフリー化のためのしくみ	- 1
1.2	交通バリアフリー化に向けた責務と役割	- 2

(参考) 基本構想策定の経緯 ~ 市民参画でつくった基本構想 ~

第1章	基本構想策定のしくみ	参 1
第2章	基本構想に対する市民意見	
2.1	千里山・関大前地区ワークショップでの意見	参 - 6
2.2	南千里地区ワークショップでの意見	参 - 19
2.3	パブリックコメントでの意見とその考え	参 - 27
吹田市交通バリアフリー基本構想重点整備地区および特定経路・準特定経路路線図		参 34

さくてい はいけい いち  
策定の背景と位置づけ





## 1.1 基本構想策定の背景

### (1) 交通バリアフリー法

現在、我が国では高齢化が急速に進んでおり、平成27年(2015年)には国民の4人に1人が65歳の高齢者となるという他に例を見ない高齢社会を迎えようとしており、高齢者の方々が安心して暮らすことができる社会の形成が望まれています。また、身体障害者等の方々についても、社会・経済活動への積極的参加の実現が強く求められています。

このためには、これらの方々が気軽に安心して公共交通機関を利用して移動できるようにすることが必要ですが、公共交通機関の利用にあたっては現に様々なバリア(障壁)が存在しており、このバリアフリー化(障壁の除去)が大変重要な課題となっています。

このような状況の中で、平成12年(2000年)11月に、「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」、いわゆる「交通バリアフリー法」が施行されました。「交通バリアフリー法」では、駅やバスなどをバリアフリー化するとともに、市町村が駅やその周辺地域について地域の实情に即して基本構想を作成し、関係者が協力してバリアフリー化を進めることとしています。

### (2) 地域との連携による基本構想

吹田市では、平成13年度(2001年)より「交通バリアフリー法」に基づく基本構想策定に取り組んでいます。

吹田市の中央に位置する阪急千里山駅、阪急関大前駅、阪急南千里駅(以下「千里山駅」、「関大前駅」、「南千里駅」とする)は、吹田市の全体スケジュールでの第2段階に含まれ、平成17年度(2005年)より基本構想策定に取り組み始めました。

#### 千里山・関大前地区

千里山駅周辺では、駅前に立地する千里山団地の建替計画が具体化の時期を迎えています。そこでまちの将来像についてとりまとめ、地域が抱える課題の総合的・一体的な解消をめざした「千里山駅周辺まちづくり懇談会」が、平成17年(2005年)7月に設立されました。

関大前駅周辺では、関西大学千里山キャンパスが駅東部に隣接し、学生のまちとしての賑わいをみせています。

そのため、本基本構想は、「千里山駅周辺まちづくり懇談会」や関西大学、地域との連携を図りながら検討を進めることとしました。

#### 南千里地区

南千里駅周辺では、千里南地区センターの再整備について討議を進めるため、「南千里駅周辺まちづくり懇談会」が平成17年(2005年)9月に設立されました。

そこで、千里南地区センターは「南千里駅周辺まちづくり懇談会」の検討範囲とし、駅および懇談会での検討範囲の周辺をワークショップでの検討範囲とし、懇談会とワークショップとの連携を図りながら検討を進めることとしました。

## 1.2 基本構想の位置づけ

### (1) 吹田市における交通バリアフリーの取組み

吹田市では、平成13年度(2001年度)から交通バリアフリー法に基づく取組みを始め、平成15年(2003年)4月に第1段階として3地区6駅、平成18年(2006年)3月に豊中市と協働して桃山台地区の基本構想を策定しました。平成18年度(2006年度)からは、本基本構想を含め、随時他地区の基本構想を策定する予定です。

表 -1 吹田市の基本構想策定状況

平成14年度 (2002年度)	_____
平成15年度 (2003年度)	江坂地区(大阪市交通局・北大阪急行江坂駅) 山田地区(阪急山田駅、モノレール山田駅) 吹田・豊津地区(阪急豊津駅、阪急吹田駅、JR吹田駅)
平成16年度 (2004年度)	_____
平成17年度 (2005年度)	桃山台地区(北大阪急行桃山台駅)
平成18年度～ (2006年度～)	千里山・関大前地区(阪急千里山駅、阪急関大前駅) 南千里地区(阪急南千里駅)  JR岸辺駅周辺、 阪急北千里駅周辺、 モノレール万博記念公園駅周辺、 モノレール公園東口駅周辺

## (2) 基本構想の内容

本基本構想は、交通バリアフリー法第6条第1項に基づき、千里山・関大前駅および南千里駅周辺において、高齢者および身体障害者等、誰もが安全で便利に移動できるようにするため、吹田市、公共交通事業者、道路管理者、公安委員会、施設管理者等の関係者が互いに連携し、駅および駅周辺の道路等のバリアフリー化を重点的・一体的に推進していくため、バリアフリー化に関する基本的な考え方と実施すべき事業の内容等を定めたものです。

## (3) 基本構想に基づくバリアフリー化の推進

今後、本基本構想に基づき、公共交通事業者や道路管理者、公安委員会等が駅舎や道路等のバリアフリー化事業を実施していきます。また、市民、公共交通事業者、行政機関等が互いに連携したソフト施策を展開し、「心のバリアフリー」を推進していきます。

なお、バリアフリー化事業として、以下の3つの主要な事業(特定事業)については、本基本構想策定後、構想に基づく事業計画(特定事業計画)を策定し、移動円滑化基準に基づき、原則として目標年次までに事業を完了させるものとします。

### 「公共交通特定事業」

公共交通事業者が実施する旅客施設内におけるエレベーター設置等の事業のうち、必要性および緊急性の高い事業

### 「道路特定事業」

道路管理者が実施する旅客施設周辺の道路における段差や勾配の改善等の事業のうち、必要性および緊急性の高い事業

### 「交通安全特定事業」

公安委員会が実施する旅客施設周辺の道路における視覚障害者用付加装置(音響装置)の設置等の事業のうち、必要性および緊急性の高い事業

## (4) 目標年次

バリアフリー化事業の完了目標年次は、平成22年(2010年)を基本とし、以下の区分に基づいて事業を実施していきます。事業計画によっては、平成23年(2011年)以降にずれ込む場合もあります。

### 1) 特定事業の目標年次

特定事業の完了目標年次は、平成22年(2010年)とします。

### 2) 特定事業以外の事業の目標年次

特定事業以外の事業については、可能な限り平成22年(2010年)までに完了するよう努めるとともに、平成23年(2011年)以降を含めた長期的な取組みも進めていくこととします。

なお、特定事業以外の事業は、準特定経路や、公益法人、民間が事業主体である事業を想定しています。

基本構想に基づくバリアフリー化推進の流れを図 - 1 に示します。

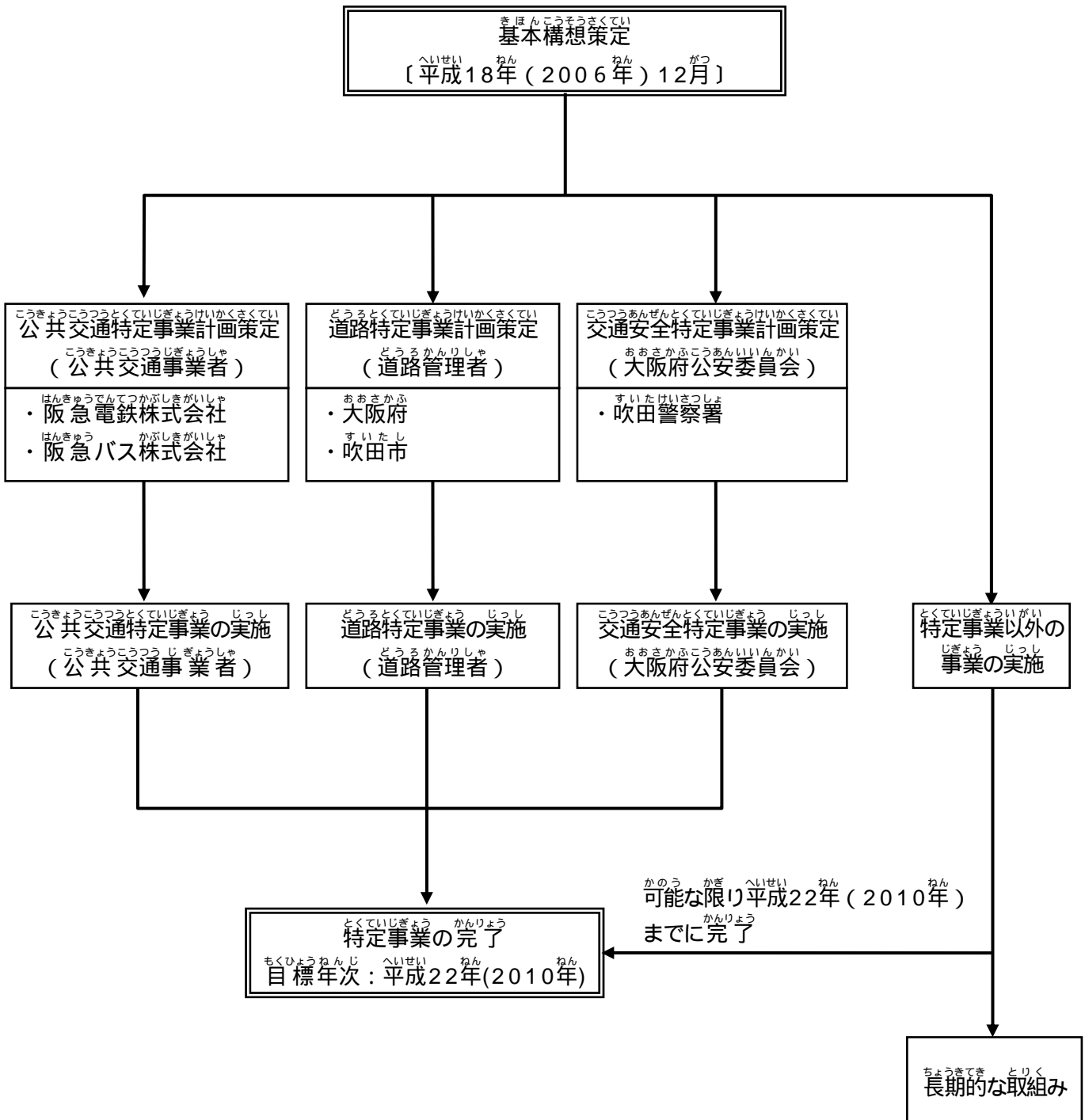


図 - 1 基本構想に基づくバリアフリー化推進の流れ

### 1.3 基本理念と基本方針

吹田市では、市全域のバリアフリー化推進に係る基本理念、整備方針等に基づき、交通バリアフリー化を進めています。

千里山・関大前地区、南千里地区においては、平成15年（2003年）4月に策定した「吹田市交通バリアフリー基本構想」に基づき、地区の特徴を反映させたバリアフリー化整備を進めていきます。

吹田市交通バリアフリー化の基本方針	
<b>基本理念</b>	だれもがやさしくなれる吹田のまちづくり - バリアのない交通・まち・ひと・しくみ -
<b>基本方針</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>だれもが快適に利用できる駅や駅前広場などのバリアフリー化を進めます。</li><li>だれもが安全で安心に移動できる連続した移動経路を確保します。</li><li>だれもが気軽に出かけられるまちづくりをめざします。</li><li>だれもが心ふれあい支え合う社会をめざします。</li><li>だれもが共に考え、共につくるバリアフリー化を進めます。</li></ol>

せんりやま かんだいまえ ちく  
千里山・関大前地区





# 第1章 千里山・関大前地区

## 1.1 選定理由

千里山駅周辺では、築後50年近くが経過した千里山団地について、老朽化とともに現在の生活ニーズに相応しい、新しい良質な住環境の供給が求められていることから、建替計画の具体化の時期を迎えています。そこで、まちの将来像についてとりまとめ、地域が抱える課題の総合的・一体的な解消をめざした「千里山駅周辺まちづくり懇談会」が、平成17年(2005年)7月に設立されました。

千里山・関大前地区では、懇談会と一体となった効率的・効果的なバリアフリー化整備を行うため、重点整備地区に選定しています。

### (1) 千里山駅、関大前駅の利用者数

千里山駅の一日平均乗降客数は約15,900人、関大前駅の一日平均乗降客数は約41,700人で、特定旅客施設の要件である5,000人を超えています。

平成16年(2004年)平均値：阪急電鉄調べ

### (2) 配置要件

高齢者や身体障害者等がよく利用する施設として、千里山佐井寺図書館等があります。また、関大前駅の駅東部に関西大学が立地しています。

### (3) 課題要件

関大前駅は、北千里方面ホームへは階段しかなく、大阪方面ホームへのスロープも見つかりにくい場所にあるなど、車いす利用者には利用しにくい駅となっています。また千里山駅・関大前駅周辺の歩道は、幅員不足、迷惑駐輪等の問題があり、バリアフリー化のための事業を実施する必要があります。

### (4) 効果要件

千里山駅周辺では、「千里山駅周辺まちづくり懇談会」において千里山駅周辺のまちの将来像の検討が進められています。まちづくりと交通バリアフリーの連携を図りながら、公共交通、歩道、信号等事業者による一体的なバリアフリー化整備を推進し、より効率的、効果的なバリアフリー化をめざします。

### (5) 緊急性

千里山駅・関大前駅周辺の歩道は、幅員が不足している箇所や、迷惑駐輪等が多くあり、早急なバリアフリー化整備が求められています。

## 1.2 位置および区域

### (1) 位置

千里山・関大前地区は、吹田市の中心部に位置しています。



図 -1 千里山・関大前地区位置図

(2) 区域

千里山・関大前地区は、下記の町丁目から構成される区域(約1.76km<sup>2</sup>)とします。

千里山月が丘、千里山虹が丘、千里山星が丘、千里山霧が丘、千里山松が丘、  
 千里山西1丁目、千里山西5丁目、千里山東1丁目、千里山東2丁目、千里山東3丁目、  
 千里山東4丁目、山手町3丁目、円山町

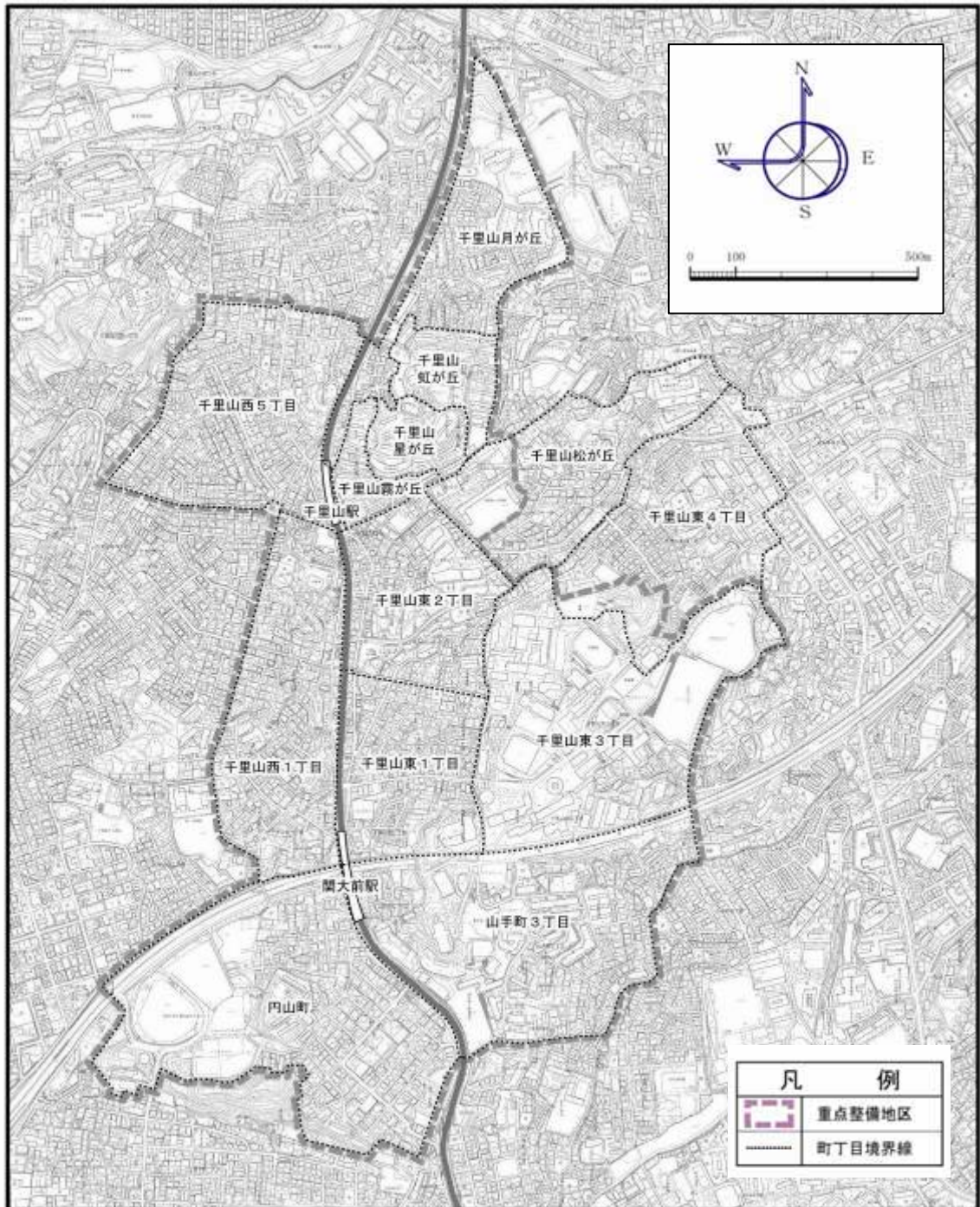


図 -2 区域図

## 第2章 策定の背景と位置づけ

### 2.1 千里山・関大前地区の概要

#### (1) 千里山駅周辺

千里山駅周辺では、大正末期に当時の北大阪電気鉄道(現在の阪急電鉄)が開通し、住宅開発が行われた後、市営や公団(現在の独立行政法人都市再生機構)等の公的住宅も建設され、緑豊かで閑静な住環境が形成されてきました。

駅東部では、当時の住宅公団が建設した千里山団地がすでに築後50年近く経過し、老朽化とともに現在の生活ニーズに相応しい、新しい良質な住環境の供給が求められています。また、佐井寺地区、千里山高塚地区において新たな市街地が急速に形成され、最寄り駅となる千里山駅へのアクセス道路としての役割を果たす都市計画道路千里山佐井寺線の整備や、駅周辺の交通環境の改善が大きな課題となっています。

#### (2) 関大前駅周辺

関大前駅周辺では、大正時代に関西大学千里山学舎、戦後に関西大学第一中学校・関西大学第一高等学校が設立され、広大な敷地に豊かな緑とオープンスペースを持つ関西大学を中心に、地域文化や学生向けのにぎわいのある商業地が形成されてきました。

しかし、比較的早期に開発された都市であるため、社会基盤の整備水準は、高齢者等に対する配慮が充分ではなく、加えて高齢化率が年々上昇しており、住民の生活に支障をきたすようになってきています。また、学生が多数集まることによる駅舎・道路の混雑、大学前通りの歩行者・自動車動線の交錯、迷惑駐輪等、交通環境の改善が大きな課題となっています。

## 2.2 地区の現況

### (1) 人口

#### ・人口の推移

地区内人口は14,439人であり、吹田市全体では、昭和50年(1975年)から平成17年(2005年)にかけて微増であるのに対し、千里山・関大前地区は25.8%減となっています。

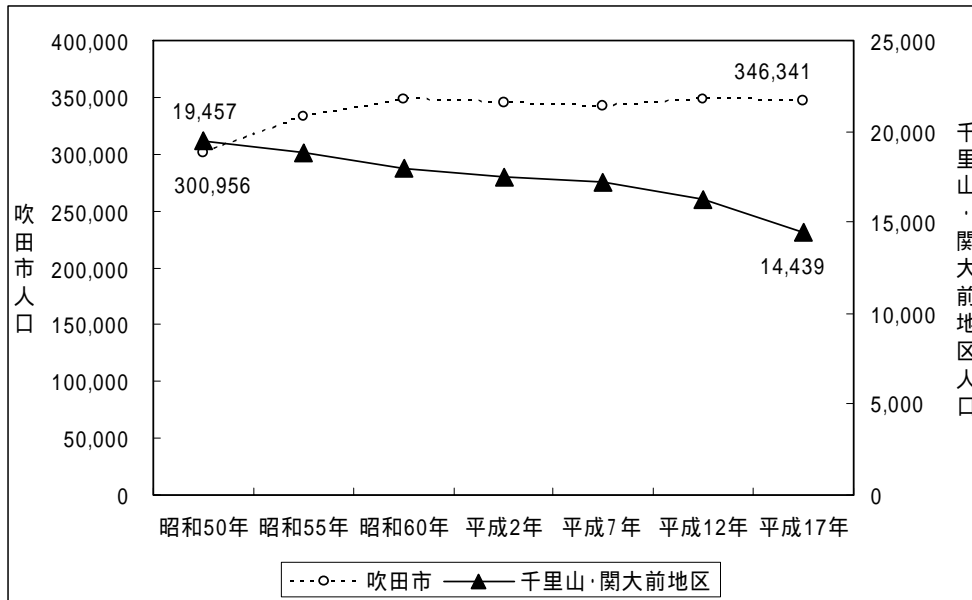


図 -3 千里山・関大前地区の人口の推移

資料：国勢調査(昭和50年(1975年)～平成12年(2000年))  
平成17年(2005年)住民基本台帳

#### ・高齢化率の推移

高齢化率は18.3%であり、吹田市全体の15.7%を上回っています。

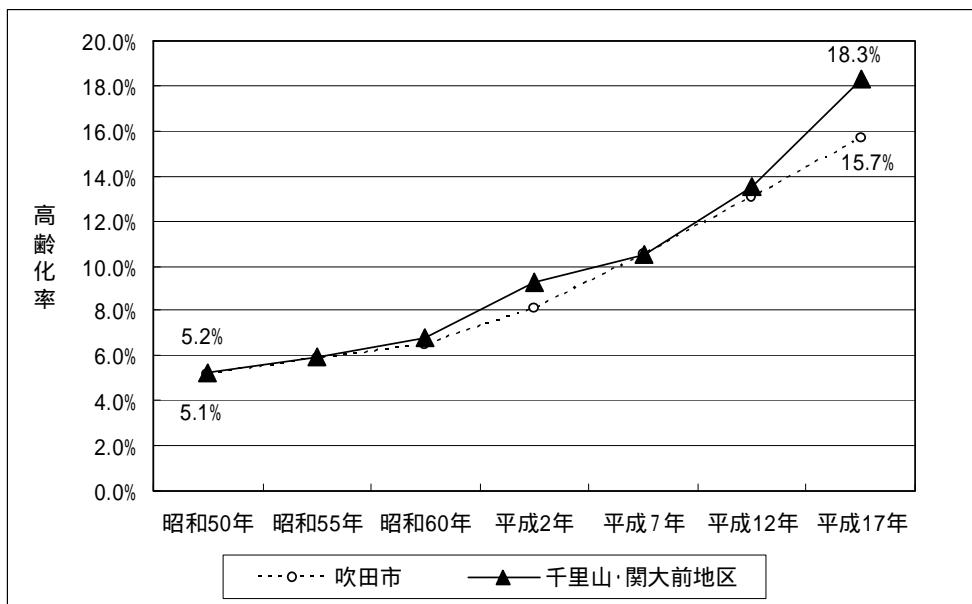


図 -4 千里山・関大前地区の高齢化率の推移

資料：吹田市データ

・年齢構成

千里山・関大前地区の年齢構成は、吹田市全体に比べ25～54歳代の働き盛りの年齢層と9歳以下の子供の年齢層が少なく、一方で20～24歳代の学生と考えられる年齢層の住民が多いことが特徴といえます。

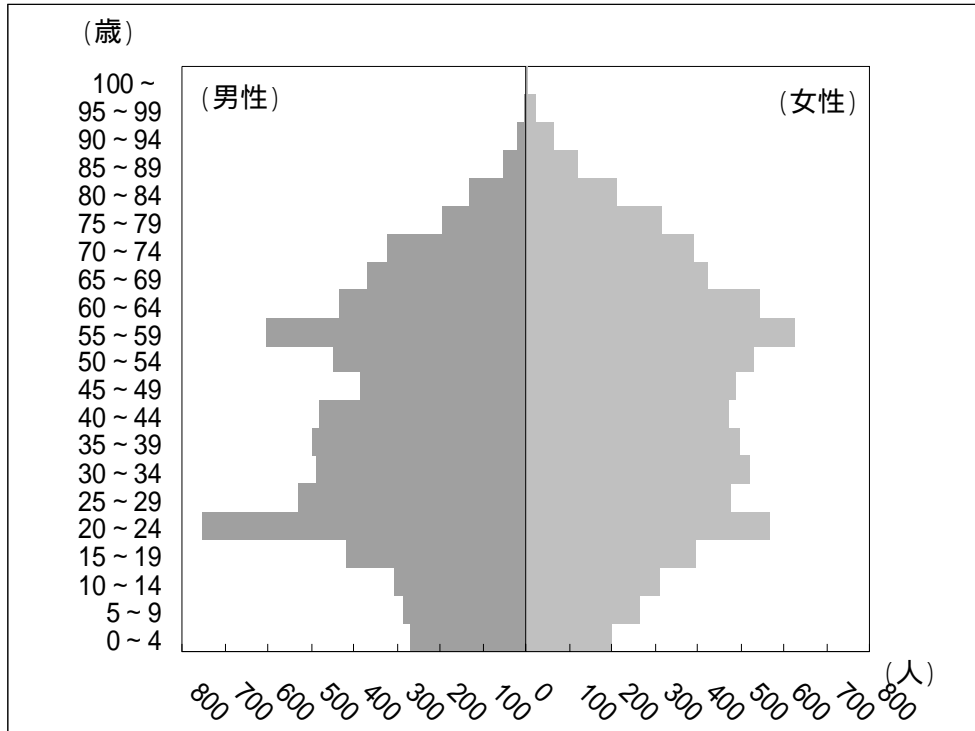


図 -5 千里山・関大前地区の年齢構成

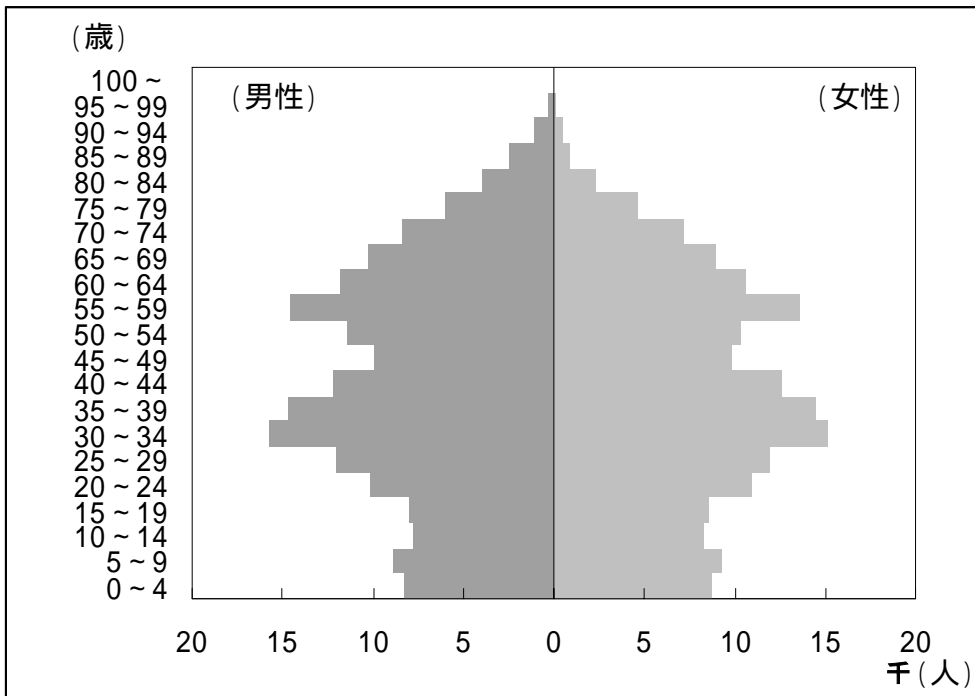


図 -6 吹田市全体の年齢構成

資料：平成17年（2005年）住民基本台帳



(2) 用途地域

千里山駅南側、関大前駅東側から関西大学にかけては、近隣商業地域となっています。その他は住居地域となっています。

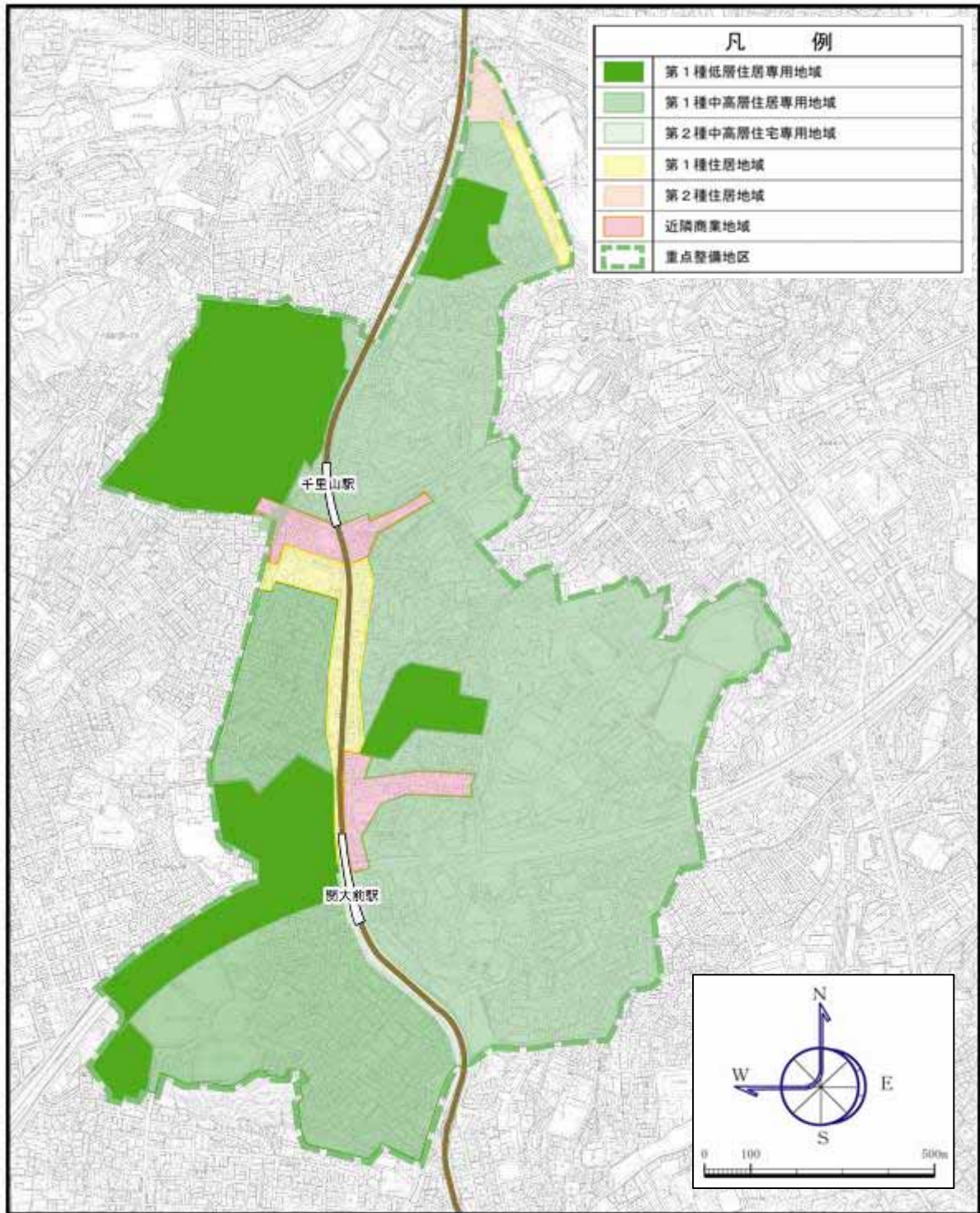


図 -7 千里山・関大前地区用途地域図

## 2.3 交通施設の現況

### (1) 千里山駅

#### 1) ホーム

- ・ 相対式2面2線の地上駅（北千里方面、大阪（梅田）・天下茶屋方面）。

#### 2) 改札口

- ・ 上下線のホーム両方に改札口があり、互いのホームは地下道で連絡しています。
- ・ 北千里方面：自動改札機は4台、うち車いす対応は1台。
- ・ 大阪（梅田）・天下茶屋方面：自動改札機は3台、うち車いす対応は1台。

#### 3) 改札からホームへの連絡

- ・ 上下線ともに、改札およびホームは地上階に位置しています。
- ・ 上下線のホームは地下道で連絡しています。地下道はエレベーターおよびエスカレーターの設置はなく、階段のみとなります。

#### 4) トイレ

- ・ 上下線とも改札内に設置しています。男女用トイレ内にそれぞれ車いす用トイレを設置しています。

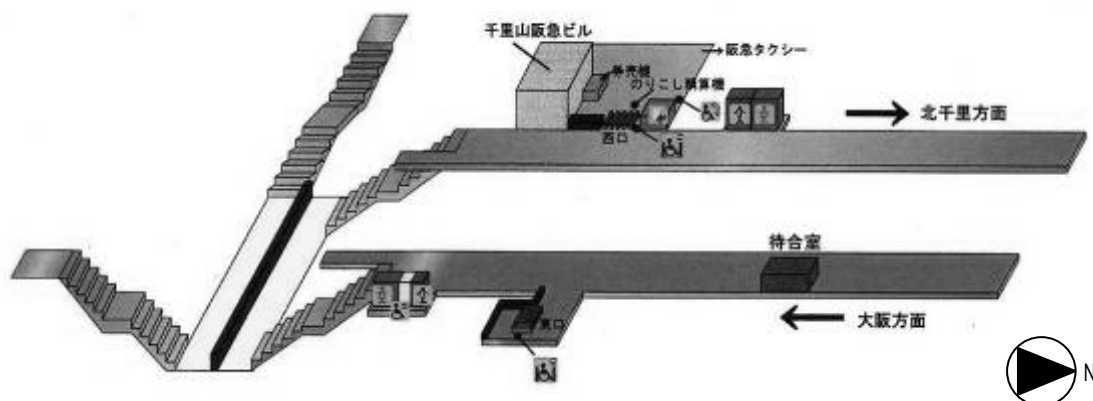


図 -8 千里山駅構内図



## (2) 関大前駅

### 1) ホーム

- ・相対式2面2線の地上駅（北千里方面、大阪（梅田）・天下茶屋方面）。

### 2) 改札口

- ・南北に1箇所ずつ、地下階の改札口があり、いずれも東西2方向へ連絡しています。
- ・北側改札口：自動改札機は6台、うち車いす対応は1台。
- ・南側改札口：自動改札機は4台、うち車いす対応は1台。

### 3) 改札からホームへの連絡

- ・エレベーターおよびエスカレーターの設置はなく、階段（上下線ともに南北の改札口へ1箇所ずつ）のみとなります。

### 4) 改札から地上への連絡

- ・南北の改札とともに東西2方向へ連絡しています。いずれもエレベーターおよびエスカレーターの設置はなく、階段のみとなります。

### 5) トイレ

- ・大阪（梅田）・天下茶屋方面にのみ、改札内に設置しています。男女用トイレ内にそれぞれ車いす用トイレを設置しています。

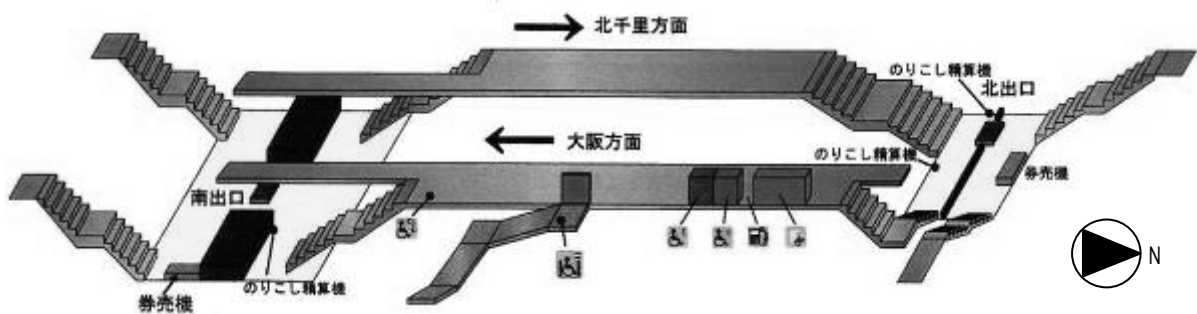


図 -9 関大前駅構内図

## 2.4 ちくない かいだい 地区内の課題

せんりやま かんだいまえ ちく 千里山・関大前地区のバリアフリーに関するワークショップで抽出された主な問題点は次のとおりです。

ひょう -1 (1) ちくない かいだいてん 地区内の問題点

		おも かいだいてん 主な問題点
せんりやま かい 千里山駅		<p>&lt;個別施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タッチパネル式の券売機は、使いにくくなっています。</li> <li>・ホームと電車の間が広がっています。</li> </ul> <p>&lt;誘導案内情報施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声案内では、「梅田方面」が「天下茶屋方面」がわかりません。</li> <li>・視覚障害者誘導用ブロックと柱が接近し、視覚障害者が柱に接触してホームより転落する恐れがあります。</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下道は階段だけであり、バリアフリー化されていません。</li> <li>・休憩施設の入口の段差が大きくなっています。</li> </ul>
せんりやま かい 千里山駅周辺		<p>&lt;移動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・迷惑駐輪等の障害物が多く、歩道が狭くなっています。<sup>1)</sup></li> <li>・歩道がない路線があります。</li> <li>・グレーチング等、施設が古くなっています。</li> <li>・車道と歩道の段差が大きい箇所や、縦断勾配が急な箇所があります。</li> </ul> <p>&lt;踏切&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道が狭く、凹凸があり、移動しにくくなっています。</li> <li>・歩行者等のたまりスペースが狭くなっています。</li> </ul> <p>&lt;誘導案内&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害者誘導用ブロックが連続して敷設されていません。</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下道は階段だけであり、バリアフリー化されていません。</li> <li>・スピードを出す車両が多く、危険です。</li> </ul>



1) せんりやま かい 千里山駅前 せんりやま かい 佐竹千里山駅線 (都市計画道路 佐井寺線) の歩道上の迷惑駐輪は、解消しています。



表 -1 (2) 地区内の問題点

		主な問題点
関大前駅周辺	関大前駅	<p>&lt; 垂直移動 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北千里方面ホームへは階段しかありません。</li> <li>・大阪方面へのホームにあるスロープは見つけにくく、縦断勾配が急であり、狭くて利用しにくくなっています。</li> </ul> <p>&lt; 個別施設 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・券売機の設置箇所が高く、車いすでは利用しにくくなっています。</li> <li>・ホームと電車の高低差が高く、間が広がっています。</li> <li>・トイレは、大阪方面へのホームにしか設置されていません。</li> </ul> <p>&lt; 誘導案内情報施設 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害者誘導用ブロックが老朽化しています。</li> </ul> <p>&lt; その他 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関大生の利用が多いときは危険です。</li> </ul>
	歩道	<p>&lt; 移動 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道がない路線があります。</li> <li>・迷惑駐輪等の障害物が多く、歩行者・自動車等が輻輳し、移動しにくくなっています。</li> </ul> <p>&lt; 踏切 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道が狭く、凹凸があり、移動しにくくなっています。</li> </ul> <p>&lt; 個別施設 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道照明がなく、夜間暗い箇所があります。</li> <li>・柵・溝蓋がなく危険です。</li> </ul> <p>&lt; 誘導案内 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていません。</li> </ul> <p>&lt; その他 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピードを出す自転車がが多く、危険です。</li> <li>・ゴミが多く、汚い箇所があります。</li> </ul>
阪急	車両内	<p>&lt; 個別施設 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何両目かがわからないため、車両編成を示す点字表示がほしいです。</li> </ul>

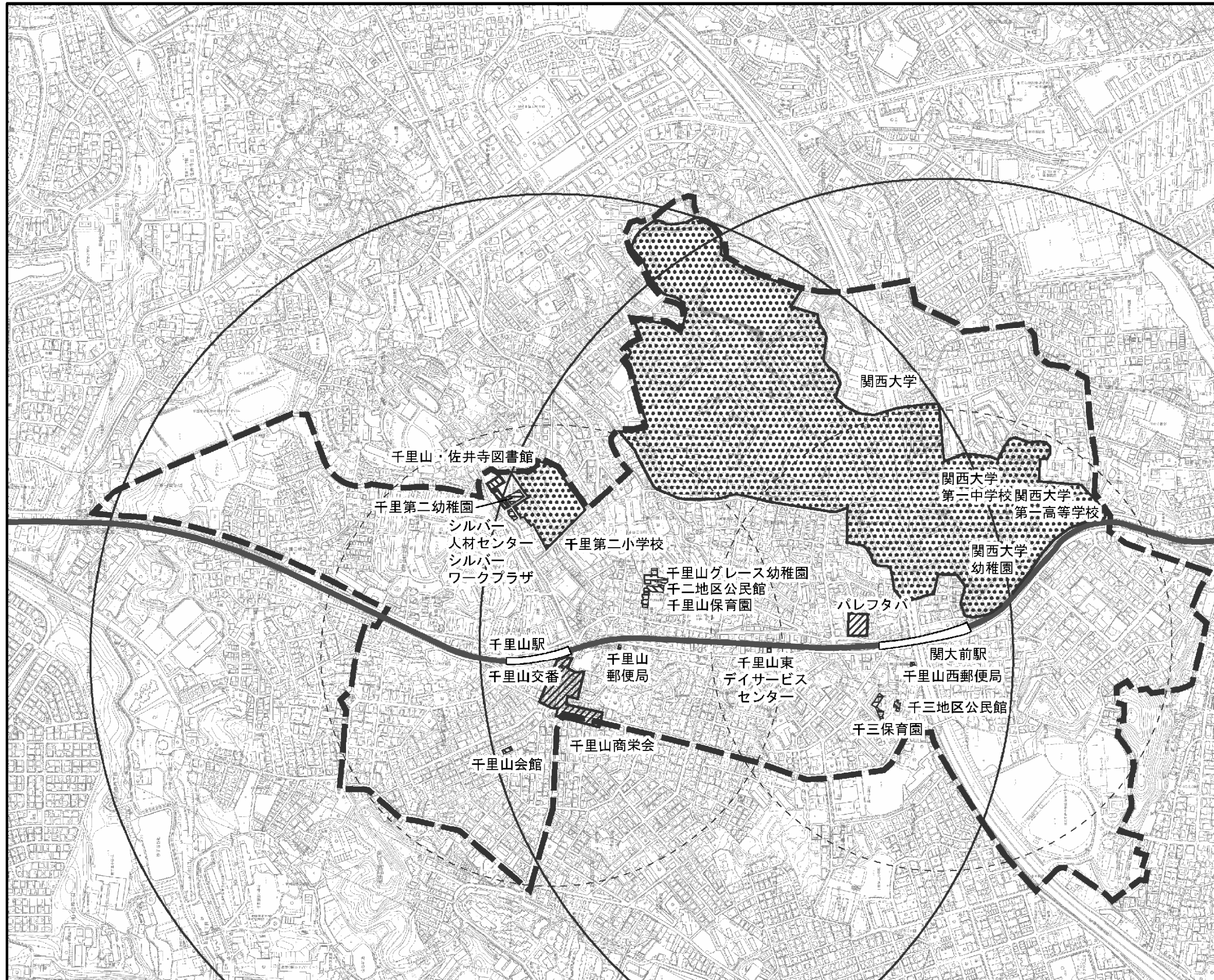


## 2.5 施設配置状況

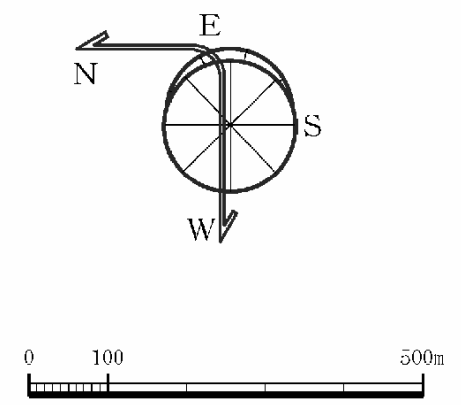
---

### (1) 施設配置状況

千里山・関大前地区の施設配置状況は図 -10 のとおりです。



凡 例	
	商業施設
	公共・公益施設
	教育施設等
	福祉施設
	千里山・関大前地区重点整備地区
	駅から500mの範囲
	駅から1000mの範囲



図名 千里山・関大前地区 地区内施設配置図

図 - 10 千里山・関大前地区地区内施設配置図

# 第3章 千里山・関大前地区の基本方針

## 3.1 基本方針

千里山・関大前地区の特徴や、ワークショップで抽出された主な問題点をふまえ、千里山・関大前地区の基本方針を以下のとおりとします。

### 駅から施設へのバリアフリーネットワークの構築をはかります

千里山・関大前地区には、関西大学に通う多くの学生や、図書館等を利用する市民が訪れます。駅からこれらの施設への連続したバリアフリーネットワークの構築をはかり、人々がふれあい、にぎわうまちづくりに寄与するバリアフリー化をめざします。

### 安心、安全な歩行空間の形成をめざします

千里山駅周辺まちづくり懇談会と連携しながら、歩道の幅員不足や、迷惑駐輪、歩行者・車・自転車の輻輳等のバリアを解消し、より安全・安心・快適に移動できるまちづくりをめざします。また、現在は鉄道により東西に分断されていますが、千里山駅周辺の再整備等に併い、中長期的には一体的に移動できるまちをめざします。

### 地域のまちづくりと連携したバリアフリーをめざします

千里山・関大前地区の交通バリアフリーは千里山駅周辺まちづくり懇談会と連携しながら進めていきます。また、関西大学が立地するという特性をふまえ、関西大学や地域と連携したバリアフリー化をめざします。

# 第4章 主な施設、主な経路

## 4.1 主な施設

### (1) 主な施設の考え方

交通バリアフリー法の定義や、吹田市での基準を元に、以下のとおり定めます。

#### 【主な施設の定義】

特定旅客施設との間の移動が通常徒歩で行われている施設かつ、高齢者、身体障害者等が日常生活において利用する施設  
 利用者が一定規模以上の施設  
 広域的な利用がされている施設（駅からの利用者が多い施設）

#### 【各施設の定義】

- ・ 公共・公益施設 : 国、府、市の主な施設
- ・ 教育施設 : 養護学校、大学、高等学校等
- ・ 医療・保健施設 : (医療施設)入院施設があり、病床数が100床以上
- ・ 福祉施設 : 高齢者福祉施設、身体障害者福祉施設等
- ・ 公園施設 : 広域公園、総合公園、地区公園
- ・ 商業施設 : 吹田市商工振興ビジョンに記載されている、「第1・2種大規模小売店舗、商店街・商店会」

### (2) 千里山・関大前地区の主な施設

以上の考え方から、千里山・関大前地区の主な施設は以下のとおりとします。

(表 -2、図 -11参照)

表 -2 主な施設

施設名	種類	選定理由
パレフタバ	商業施設	市民の利用が多い。
千里山商栄会		
千里山佐井寺図書館	公共施設	
関西大学・関西大学第一高等学校・ 関西大学第一中学校・関西大学幼稚園	教育施設	駅からの利用が多い。



## 4.2 主な経路

特定旅客施設と高齢者や身体障害者等がよく利用する施設を結ぶ主な経路を、特定経路とし、重点的かつ速やかにバリアフリー化を進めます。また、その他の主な経路として準特定経路を選定しており、バリアフリー化に努めます。

### 各経路の位置づけ

#### ・特定経路：

特定旅客施設と高齢者や身体障害者等がよく利用する施設（以下「主な施設」とする）を結ぶ主な経路を、特定経路と位置づけます。

平成22年度（2010年度）を目標に、誰もが安全で安心して移動できる歩道のバリアフリー基準を満たすよう整備を進めます。

#### ・準特定経路：

特定旅客施設と主な施設を結ぶ経路のうち、まちなみの状況や地形的制約等により部分的にバリアフリー基準を満たすことが困難な経路を、準特定経路と位置づけます。

中長期的には基準に近づけるよう努めながら整備を進めます。

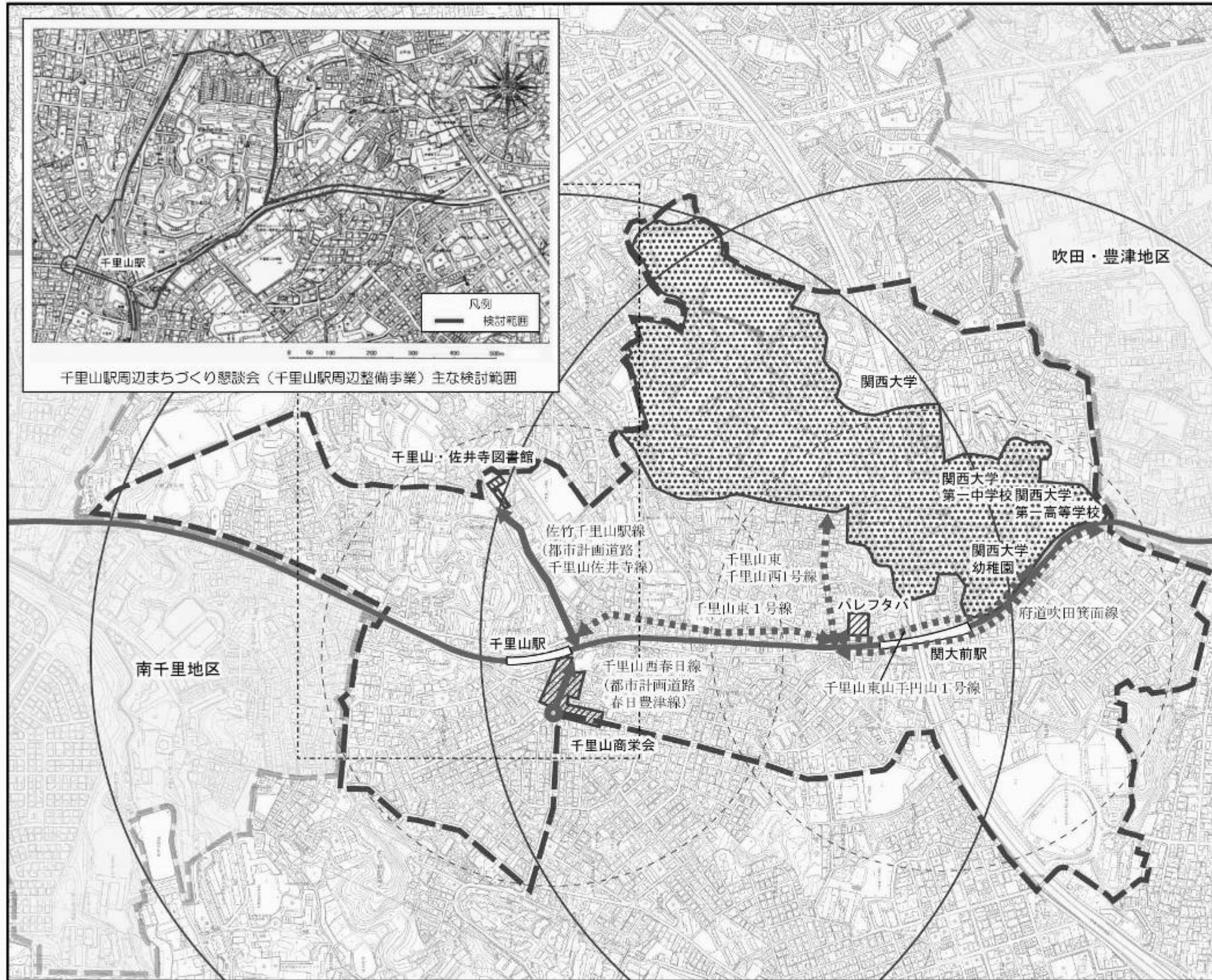
以上の考え方から、千里山・関大前地区の主な経路は以下のとおりとします。

（表 -3、図 -11参照）

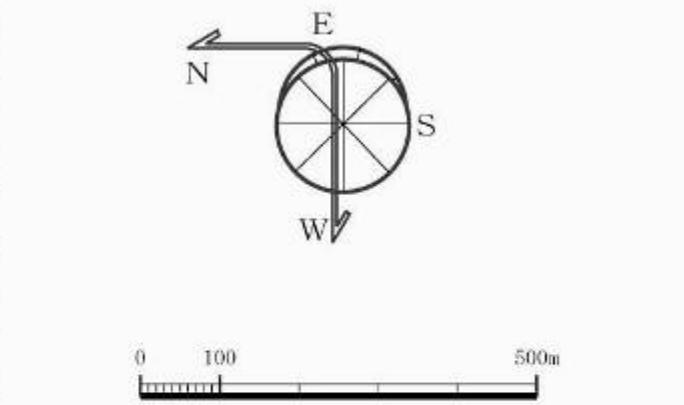
表 -3 主な経路

事業区分	管理者	路線名	道路延長 (km)
特定経路	市	佐竹千里山駅線（都市計画道路 千里山佐井寺線） （阪急千里山駅前踏切～千里山・佐井寺図書館前）	0.4
		千里山西春日線（都市計画道路 春日豊津線） （阪急千里山駅前踏切～千里山第一噴水前）	0.2
	小計		0.6
準特定経路	府	吹田箕面線 （阪急関大前駅北踏切～ 関西大学第1高等学校南踏切）	0.6
	市	千里山東1号線 （阪急千里山駅前踏切～阪急関大前駅北踏切）	0.6
		千里山東千里山西1号線 （阪急関大前駅北踏切～関西大学正門前）	0.3
		千里山東山手円山1号線 （阪急関大前駅北踏切～関西大学幼稚園南踏切）	0.4
	小計		1.9
合計		2.5	





凡 例	
	商業施設
	公共・公益施設
	教育施設等
	千里山・関大前地区の重点整備地区
	他地区の重点整備地区
	駅から500mの範囲
	駅から1000mの範囲
	特定経路
	準特定経路



図名 千里山・関大前地区 特定経路路線図

図 -11 千里山・関大前地区特定経路路線図

# 第5章 バリアフリー化事業の内容とスケジュール

## 5.1 事業内容とスケジュール

本基本構想は、交通バリアフリー法に基づき、国・地方公共団体・公安委員会・公共交通事業者・市民が、それぞれの役割と責務を果たすことによって、千里山・関大前地区の交通バリアフリー化を実現していくことを前提として作成しています。

このような前提条件が整わないときには、バリアフリー整備目標や事業の実現時期が相当に遅れることがあります。事業が円滑に進められるよう行政はもとより、それぞれの関係機関において、必要な資金の確保や地域との合意形成にむけた理解と調整等の最大限の努力を行います。

### (1) 駅舎

#### 1) 駅舎

##### a. 千里山駅

項目	内容	時期	
		H18	H22
個別施設の整備改良 など	多機能トイレ設置の検討(オストメイト仕様トイレ 1)を含む多機能トイレ)		
誘導案内情報施設の 整備	構内案内表示の充実の検討		
	可変式情報表示装置の設置の検討		

##### b. 関大前駅

項目	内容	時期	
		H18	H22
垂直移動施設の整備	関係者、国等との協議を進めながら、地上・改札階・ ホームを結ぶエレベーターを設置		
個別施設の整備改良 など	階段に二段式手すりを設置		
	多機能トイレの設置(オストメイト仕様トイレ <sup>1</sup> を 含む多機能トイレの設置)		
誘導案内情報施設の 整備	構内案内表示の充実の検討		
	可変式情報表示装置を設置		
	視覚障害者誘導用ブロックの改善		

#### 1) オストメイト仕様トイレ

オストメイト(人工肛門や人工膀胱保持者)が利用しやすいように、車いす用トイレに洗浄可能な流し台等を設置したトイレ。

## 2) ソフト施策

項目	内容	時期	
		H18	H22
ソフト施策	駅員の教育訓練の継続実施		

### 整備内容

#### 1) 駅舎

##### a. 垂直移動施設（関大前駅）

垂直移動設備としてエレベーターを最優先に設置するよう努めます。

ただし、エレベーター設置が構造上困難な場合は、バリアフリーに配慮した設備を設置するよう努めます。

##### 【エレベーター】

エレベーターの構造は、車いす利用者、視覚障害者、聴覚障害者、妊産婦等、利用される方々の様々な特性に配慮するよう努めます。

##### b. 個別施設の整備改良等

##### 【手すり】（関大前駅）

視覚障害者、聴覚障害者、妊産婦等の様々な特性を持つ移動者の転落等の危険が回避できるよう手すりを設置します。

##### 【トイレ】（千里山駅・関大前駅）

トイレは、オストメイト仕様トイレ<sup>1)</sup>、乳幼児連れの方のためのおむつ替えシート等、多様な利用を見込んだきめ細やかな取り組みを進めるように努めます。

トイレの位置や男女別を、視覚障害者等にも配慮しながらわかりやすく表示するよう努めます。

##### c. 誘導案内情報施設の整備

##### 【案内設備】（千里山駅・関大前駅）

移動者の案内設備について、触地図、ピクトグラム、点字等を用いて、よりわかりやすい表示のあり方を検討します。

##### 【可変式情報表示装置】（千里山駅・関大前駅）

車両の運行情報（列車到着等の情報）を、駅利用者に情報提供するために可変式情報表示装置の設置を検討します。

##### 【視覚障害者誘導用ブロック】（関大前駅）

視覚障害者の移動円滑化の向上と安全性を確保するよう配置について検討します。

1) オストメイト仕様トイレ：P. -18 参照

2) ソフト施策 (千里山駅・関大前駅)

高齢者・身体障害者等に対して適切な対応ができるよう研修等の教育訓練を引き続き実施します。

車両とホームの移動が不可能または困難な車いす使用者等の利用に配慮し、スロープ板等による駅員の補助を徹底するよう努めます。

3) その他

車両の新規導入の際には、バリアフリー基準に適合する仕様とします。

(2) 歩道(函 -11参照)

1) 特定経路

項目	内容	時期	
		H18	H22
既設道路の改良	歩道の有効幅員の確保(交通標識や電柱等の再配置・側溝、水路、公共用地等の活用等)		
	段差・勾配の解消		
	バリアフリー化に配慮した路面舗装		
	車道・横断歩道等との段差・勾配の解消		
個別施設の整備改良等	照明施設の整備		
	案内標識の整備		
誘導案内の整備	視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良		
障害物等の撤去・規制	啓発活動強化・取締強化等の歩道上の迷惑駐輪対策		
	交差点・横断歩道上の違法駐車対策		

具体的な整備内容 : 現況の問題点をふまえ、各特定経路の主な整備内容を示します。

a. 佐竹千里山駅線(都市計画道路 千里山佐井寺線)

- ・歩道幅員・車道と歩道の段差・路面舗装の老朽化の解消等の歩道改良を行います。
- ・車いす使用者等の移動や雨水の排水に配慮し、横断勾配は原則1%以下とします。
- ・横断歩道等との切下部には、車いす使用者の安全性等に配慮し、信号待ちする車いす使用者が滞留でき、かつ円滑に転回できる部分を確保するよう努めます。
- ・側溝の溝蓋は車いすのキャスター、白杖、ハイヒールなどが落ち込むことがないように配慮すると共に、設置場所は可能な限り横断歩道以外の部分に設置するよう努めます。
- ・視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良を行います。
- ・歩道上の迷惑駐輪対策を進めます。



現況



幅員不足



溝蓋の不備

図 - 12 佐竹千里山駅線(都市計画道路 千里山佐井寺線)の現況



b. 千里山西春日線 (都市計画道路 春日豊津線)

- ・車道と歩道の段差・急勾配の解消等の歩道改良を行います。
- ・車いす使用者等の移動や雨水の排水に配慮し、横断勾配は原則1%以下とします。
- ・横断歩道等との切下部には、車いす使用者の安全性等に配慮し、信号待ちする車いす使用者が滞留でき、かつ円滑に転回できる部分を確保するよう努めます。
- ・視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良を行います。
- ・歩道上の迷惑駐輪対策を進めます。



現況



第一噴水付近での  
歩行者と自動車の錯綜

図 - 13 千里山西春日線 (都市計画道路 春日豊津線) の現況

2) 準特定経路

(吹田箕面線、千里山東1号線、千里山東千里山西1号線、千里山東山手円山1号線)

項目	内容	時期		
		H18	H22	H23以降
既設道路の改良	歩道の有効幅員の確保に努力 (交通標識や電柱等の再配置・側溝、水路、公共用地等の活用等)			
	段差・勾配の解消に努力			
	バリアフリー化に配慮した路面舗装に努力			
個別施設の整備 改良等	車道・横断歩道等との段差・勾配の解消に努力			
	照明施設の整備の検討			
誘導案内の整備	案内標識の整備の検討			
	視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良の検討			
障害物等の 撤去・規制	啓発活動強化・取締強化等の歩道上の迷惑駐輪等の不法占用物対策に努力			
	交差点・横断歩道上の違法駐車対策に努力			

(3) 交通安全特定事業

項目	内容	時期	
		H18	H22
信号機	信号機の改良		
横断歩道	横断歩道設置の検討		

整備内容

a. 信号機

- ・安全に横断できる歩行者用青信号の時間の調整を検討します。
- ・歩行者や自動車の利用状況等をふまえ、地域住民との協議を行いながら、音響信号機や、弱者感応信号を必要とする箇所の検討を行い、導入を図ります。
- ・特定経路上の信号機については、歩行者の安全な横断に配慮した歩行者用信号灯器を設置します。

b. 横断歩道

- ・特定経路上で、横断歩道の設置を必要とする箇所の検討を行います。

(4) 施設

項目	内容	時期	
		H18	H22
公園、公共施設等	施設出入口部の改善		

整備内容

- ・公園施設や公共施設等の公共用通路との出入口部のバリアフリー化を図ります。

(5) 千里山駅周辺整備事業

項目	内容	時期			
		H18	H20	H22	H23以降
駅前広場・事業区内道路	整備事業で新たに設置される駅前広場や道路のバリアフリー化整備				

整備内容

- ・特定経路である佐竹千里山駅線はこの事業において都市計画道路千里山佐井寺線として整備を行います。また、駅前広場の整備を行います。
- ・府道吹田箕面線の改良や踏切を含む駅周辺の改良を検討します。
- ・駅前広場や建替団地等に隣接する既設道路、また事業区域内のその他の既設道路について、バリアフリー化に配慮した整備を行います。

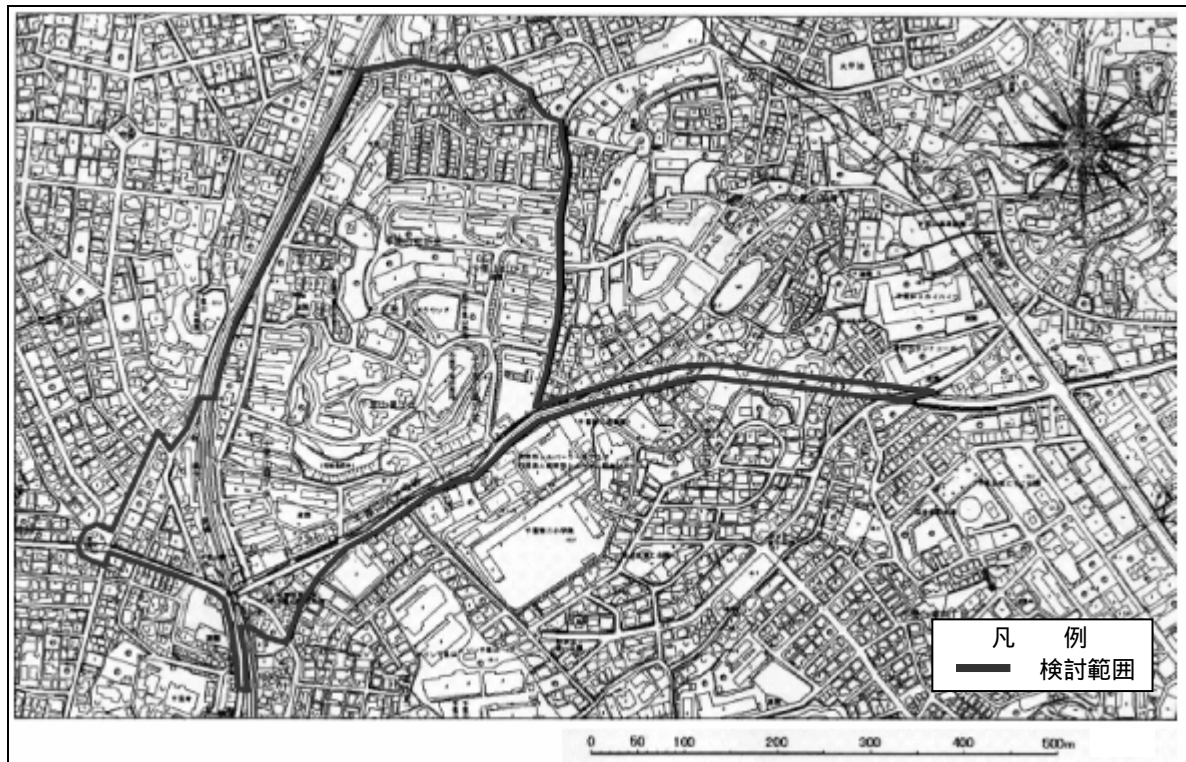


図 -14 千里山駅周辺まちづくり懇談会(千里山駅周辺整備事業)主な検討範囲



## (6) ソフト施策

ハード整備だけですべての人が安全・安心・快適に移動できるようになるとは言えません。

吹田市では、「人と思いやり、やさしくなれる」このことが、バリアフリーを進める第一歩であると考え、「だれもがやさしくなれる」吹田のまちづくりをめざしています。

そこでハード整備のみでは、早急な解決が困難である場合の取組みとして、また、ハード整備完了後もより多くの人が安全・安心・快適に移動できるための取組みとして、吹田市では、ハード整備とともに、以下のソフト施策も重点的に進めていきます。

### 広報・啓発の推進

車道や歩道、身体障害者用の駐車スペース、公園等における迷惑駐輪や違法駐車、不法占用物(看板・商品のはみ出し等)対策として、公安委員会等関係機関・市民と協力しながら自粛の呼びかけ、指導、取締まりを進めます。

総合教育や交通安全教育等の中でバリアフリーの啓発(交通用具利用者へのマナーの向上、子どもの頃からのバリアフリーへの理解の向上等)を行う取組みを導入します。

NPO、ボランティア団体、事業者等と連携しながら、バリアフリーの意識啓発、マナー向上を図るための、広報、イベント等を実施します。

### 情報提供

バリアフリーに関する情報ネットワークシステムの構築を検討します。

市内のバリアフリー情報の提供を進めます。

わかりやすい案内表示の方法について検討します。

### 関西大学との連携

商店街での施設出入口のバリアフリー化整備状況、迷惑駐輪等歩道上の占有物の状況等について、学生・身体障害者等と協力しながら、現況調査を実施します。

段差問題、迷惑駐輪等の啓発方法など、整備基準が定まっていない課題について、関西大学と協力しながら、研究・開発を行います。

みなみせんりちく  
南千里地区



# だい しょう みなみせんり ち く 第1章 南千里地区

## 1.1 選定理由

南千里駅周辺に位置する千里南地区センターの再整備計画の具体化を検討するための南千里地区まちづくり懇談会が、平成17年（2005年）9月に設立されました。

南千里地区では、この南千里地区まちづくり懇談会と連携してバリアフリー化整備を検討するため、重点整備地区に選定しています。

### (1) 南千里駅の利用者数

南千里駅の一日平均乗降客数は約24,200人で、特定旅客施設の要件である5,000人を超えています。

平成16年（2004年）平均値：阪急電鉄調べ

### (2) 配置要件

南千里駅は、丘陵地にある良好な住宅地区内に位置しています。

高齢者や身体障害者等がよく利用する施設として、済生会千里病院等の医療・保健施設の集積地やホテルマーレ、千里南公園等があります。

### (3) 課題要件

南千里駅から周辺道路への歩行者動線は主に2階の高さで形成されているため、垂直移動のバリアを解消する必要があります。

### (4) 効果要件

南千里駅周辺では、「南千里駅周辺まちづくり懇談会」において千里南地区センターの再整備計画の検討が進められています。まちづくりと交通バリアフリーの連携を図りながら、公共交通、歩道、信号等の事業者による一体的なバリアフリー化整備を推進し、より効率的、効果的なバリアフリー化、歩行者動線の確保をめざします。

### (5) 緊急性

まちづくり懇談会と同時期に検討を進めることにより、より効率的、効果的なバリアフリー化をめざします。

## 1.2 位置および区域

### (1) 位置

南千里地区は、吹田市の中心部に位置しています。

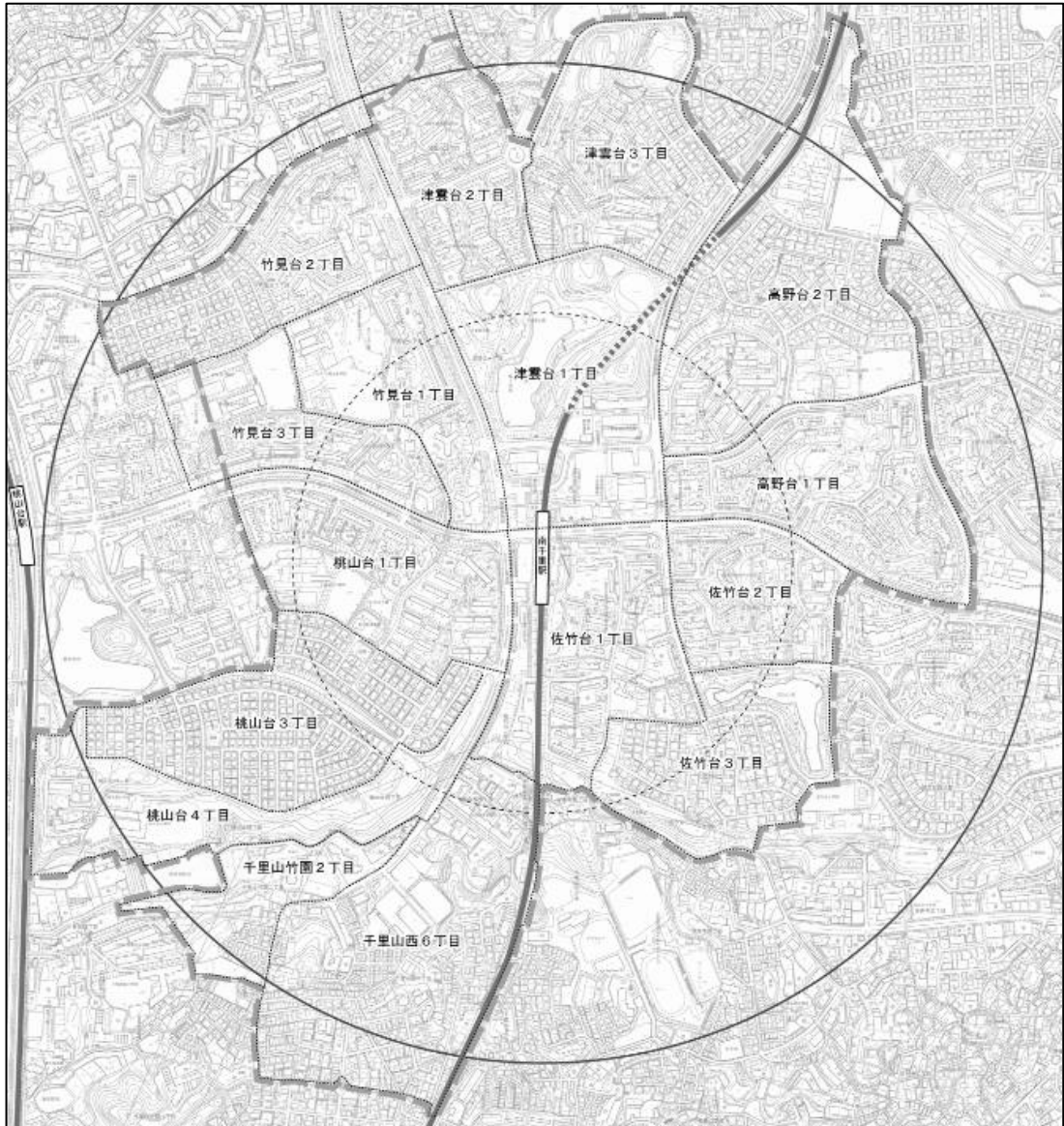


図 -1 位置図

(2) 区域

南千里地区は、下記の町丁目から構成される区域(約2.36km<sup>2</sup>)とします。

津雲台1丁目、津雲台2丁目、津雲台3丁目、高野台1丁目、高野台2丁目、  
 佐竹台1丁目、佐竹台2丁目、佐竹台3丁目、竹見台1丁目、竹見台2丁目、竹見台3丁目、  
 桃山台1丁目、桃山台3丁目、桃山台4丁目、千里山竹園2丁目、千里山西6丁目



凡 例	
	重点整備地区
	町丁目境界線

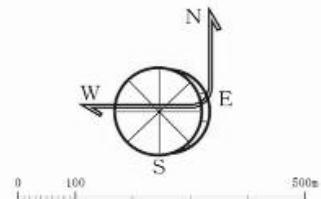


図 -2 区域図

## 第2章 策定の背景と位置づけ

### 2.1 南千里地区の概要

#### (1) 千里ニュータウン<sup>1)</sup>

南千里駅周辺は、千里ニュータウンとして整備されました。佐竹台、高野台、津雲台、竹見台および桃山台の五つの住区からなっています。各近隣住区ごとに小学校、近隣センター等が計画的に配置され、歩車分離を徹底するなど、近代的住宅都市をめざし、建設が進められたニュータウンとなっています。

#### (2) まちづくりの経緯<sup>2)</sup>

南千里駅周辺では、南千里駅および多くの公共施設や商業施設が配置されている千里南地区センターを中心に、緑豊かで閑静な住環境が形成されてきました。

千里南地区センターは、開発以来40年が経過して施設の老朽化が進んでおり、地区センターとしての役割が十分には果たせなくなっていることから、再整備が求められてきました。再整備においては、平成16年3月に財団法人大阪府千里センター(現:大阪府タウン管理財団)と吹田市でまとめた「千里南地区センター再整備の基本的な考え方」に基づき、「南千里駅周辺まちづくり懇談会」において、市民と協働して再整備について検討しています。

#### 【参考文献】

- 1) 大阪府：千里ニュータウンの建設，1970.
- 2) 吹田市：第1回南千里駅周辺地区まちづくり懇談会資料，2005.9.30

## 2.2 地区の現況

### (1) 人口

#### ・人口の推移

人口は、吹田市全体では、昭和50年（1975年）から平成17年（2005年）にかけて微増であるのに対し、南千里地区は32.6%減となっています。

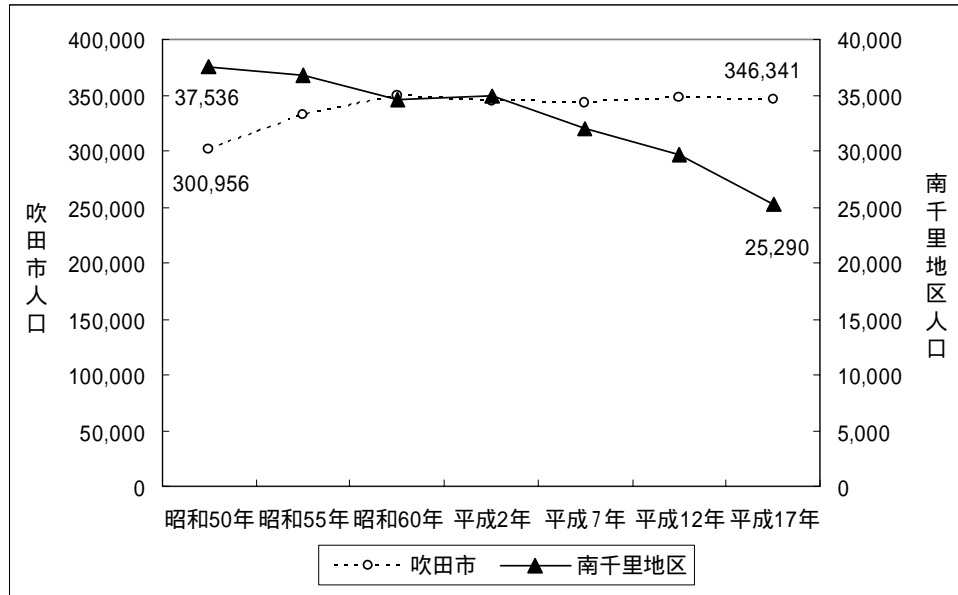


図 -3 南千里地区人口の推移

資料：国勢調査（昭和50年（1975年）～平成12年（2000年））  
平成17年（2005年）住民基本台帳

#### ・高齢化率の推移

高齢化率は24.7%であり、吹田市全体の15.7%を上回っています。

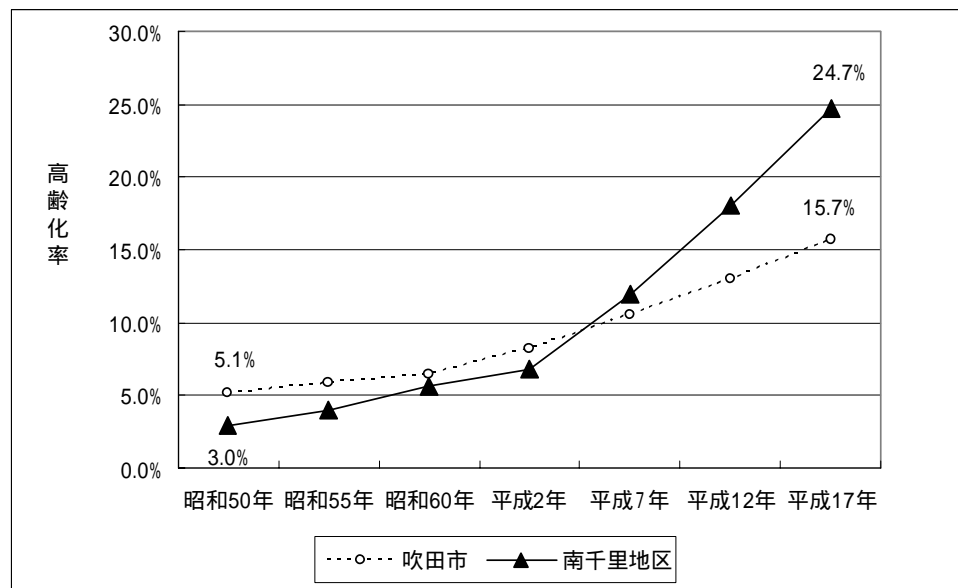


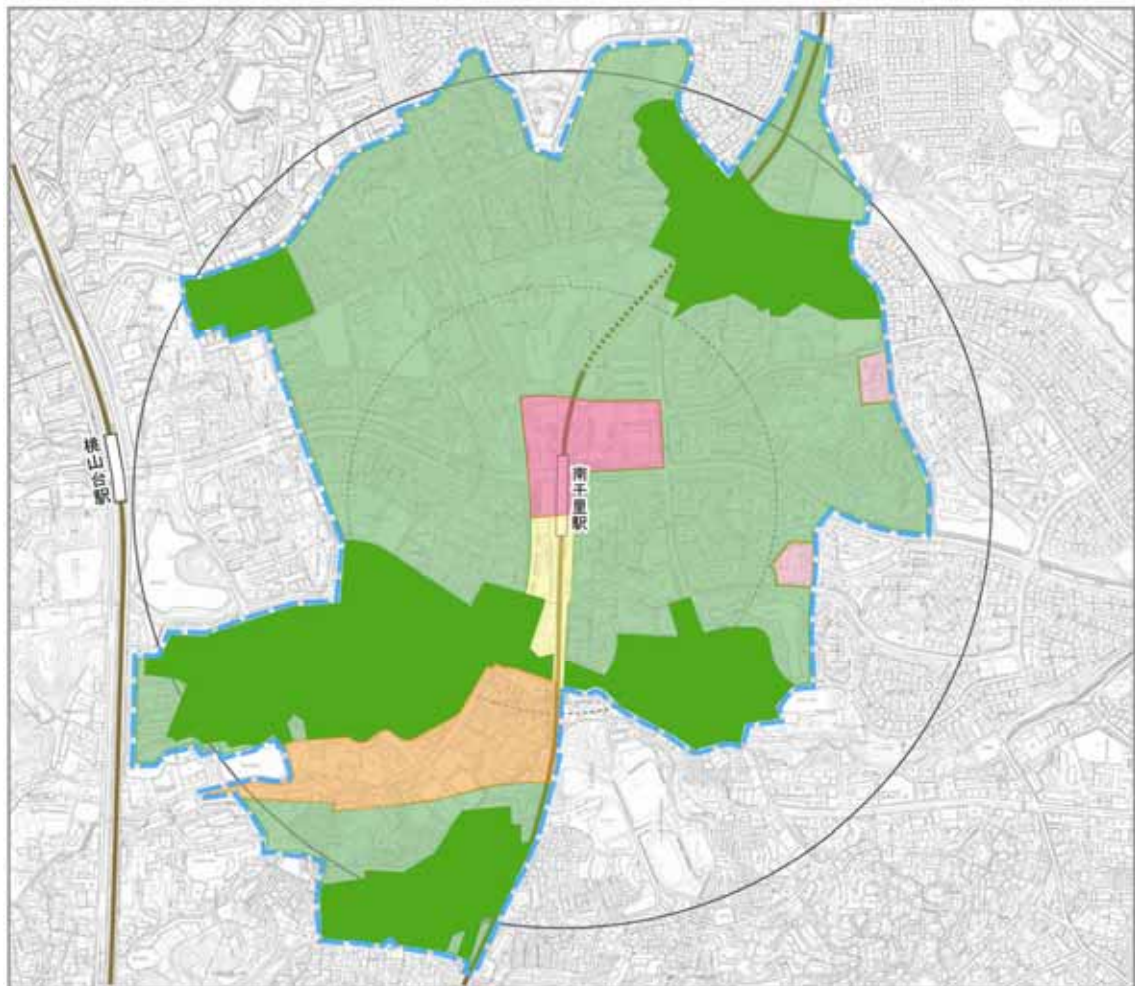
図 -4 南千里地区高齢化率の推移

資料：吹田市データ



(2) 用途地域

南千里駅周辺は商業地域となっています。その他の地域は住居地域となっています。



凡 例	
	第1種低層住居専用地域
	第1種中高層住居専用地域
	第1種住居地域
	第2種住居地域
	商業地域
	近隣商業地域
	重点整備地区

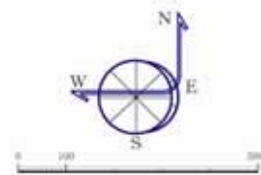


図 -5 南千里地区用途地域図

## 2.3 交通施設の現況

### (1) 南千里駅

#### 1) ホーム

- ・相対式2面2線の地上駅(北千里方面、大阪(梅田)・天下茶屋方面)Xホームは3階高さに設置されています。

#### 2) 改札口

- ・2階高さに位置します。(自動改札機は5台、うち車いす対応は1台。)

#### 3) 改札からホームへの連絡

- ・上下線それぞれに階段が1箇所、エスカレーター、エレベーターが1基ずつ設置されています。また、エスカレーターは北千里方面については下り方向、大阪(梅田)・天下茶屋方面については上り方向のみとなります。

#### 4) 改札から地上への連絡

- ・改札からは、東西南北の方向へ2階高さのデッキで連絡しています。

#### 5) トイレ

- ・改札内に設置しています。男女用トイレ内にそれぞれ車いす用トイレを設置しています。

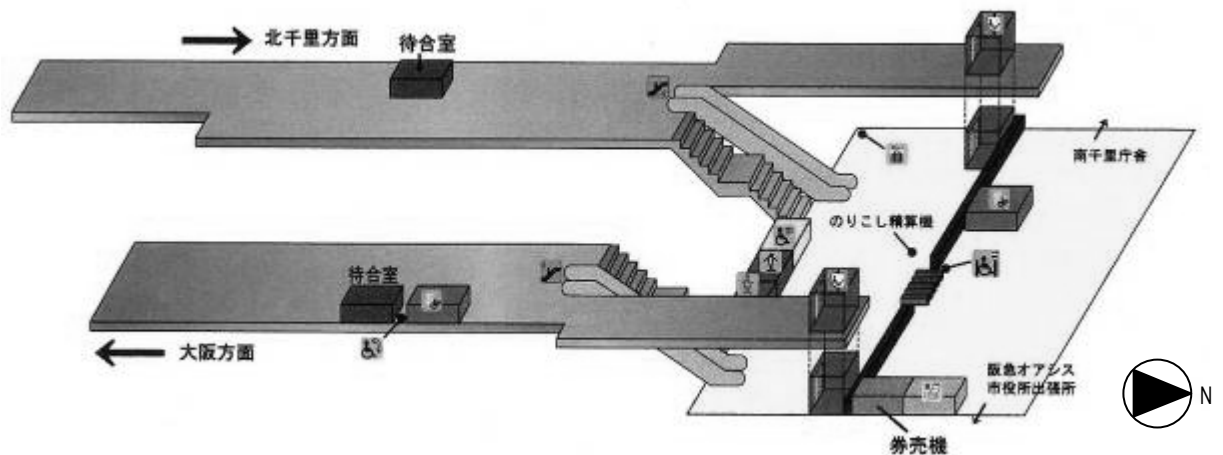


図 -6 南千里駅構内図

### (2) バス

南千里地区では、路線バスが運行しています。

- 路線バスの乗り場は南千里駅北側の南千里駅高野線と府道豊中摂津線に位置しており、バス停「南千里駅」の1～4乗り場(南千里駅高野線)からは、阪急バスが7系統を運行しています。
- 5、6乗り場(府道豊中摂津線)からは、阪急バスが6系統を運行しています。

## 2.4 ちくない かない 地区内の課題

みなみせんりちく 南千里地区のバリアフリーに関するワークショップで抽出された主な問題点は次のとおりです。

ひょう -1 ちくない かない 地区内の問題点  
おも かなだいてん 主な問題点

	主な問題点
みなみせんりえき 南千里駅	<p>すいちよくいどうしせつ &lt; 垂直移動施設 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エスカレーターは、北千里方面のホームは下り方向、大阪方面のホームは上り方向しか設置されていません。</li> </ul> <p>こべつしせつ &lt; 個別施設 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的にホームが暗く、見通しが悪くなっています。</li> <li>タッチパネル式の券売機は、使いにくくなっています。</li> <li>トイレが少し奥まったところにありわかりにくくなっています。また、視覚障害者には男女の区別がわかりません。</li> <li>トイレに荷物を置く場所やエアタオルがありません。</li> </ul> <p>ゆうどうあんないじょうほうしせつ &lt; 誘導案内情報施設 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声案内では、「梅田方面」が「天下茶屋方面」がわかりません。</li> <li>視覚障害者誘導用ブロックと柱が接近し、視覚障害者が柱に接触してホームより転落する恐れがあります。</li> </ul>
ほどう 歩道	<p>いどう &lt; 移動 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>看板や迷惑駐輪等の障害物が多く、歩道が狭くなっています。</li> <li>歩道が狭く、車道と歩道の段差が大きい箇所や、縦断勾配が急な箇所があります。</li> <li>舗装やグレーチング等、施設が古くなっています。</li> </ul> <p>こべつしせつ &lt; 個別施設 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柵、溝蓋がなく危険です。</li> <li>歩道照明がなく、夜間が暗い箇所があります。</li> </ul> <p>ゆうどうあんない &lt; 誘導案内 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障害者誘導用ブロックが連続して敷設されていません。</li> </ul> <p>こうさてん &lt; 交差点 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者等のたまりスペースが狭くなっています</li> <li>歩行者用灯器の青時間が短く、音響信号機等がありません。</li> </ul>



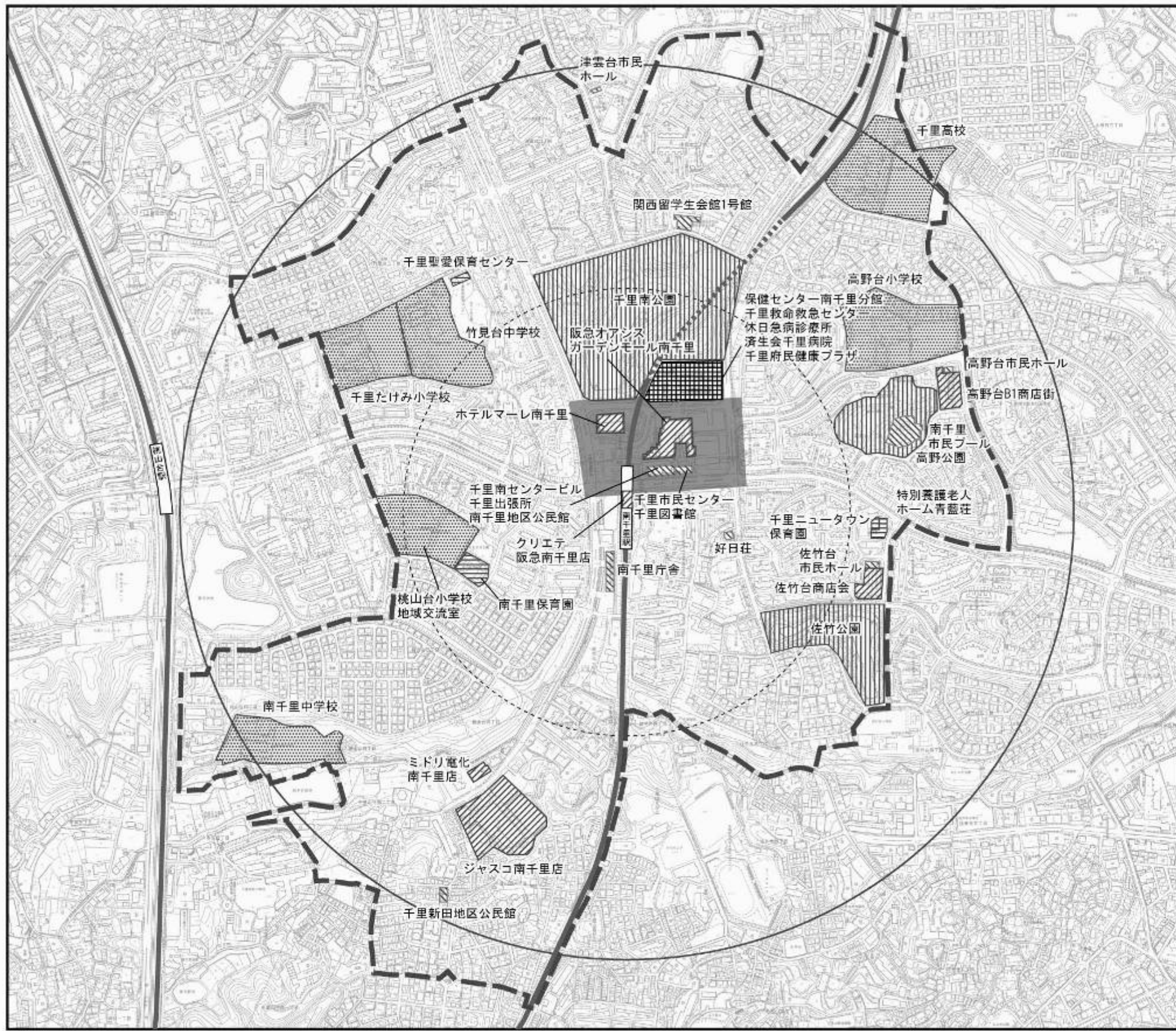
## 2.5 しせつはいちじょうきょう 施設配置状況

---

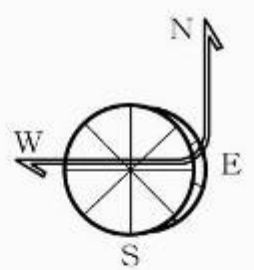
### (1) しせつはいちじょうきょう 施設配置状況

みなみせんりちく 南千里地区の施設配置状況は図 -7 のとおりです。





凡 例	
	商業施設
	公共・公益施設
	教育施設等
	医療・保健施設
	福祉施設
	公園施設
	南千里地区の重点整備地区
	駅から500mの範囲
	駅から1000mの範囲
	南千里駅周辺まちづくり懇談会での検討対象地域



図名 南千里地区 地区内施設配置図

図 -7 南千里地区地区内施設配置図

# だい しょう みなみせんり ち く きほんほうしん 第3章 南千里地区の基本方針

## 3.1 きほんほうしん 基本方針

みなみせんり ち く とくちょう  
南千里地区の特徴や、ワークショップで抽出された主な問題点をふまえ、みなみせんり ち く きほん  
ほうしん  
基本方針を以下のとおりとします。

### ちいき れんけい 地域のまちづくりと連携したバリアフリーをめざします

みなみせんりえきしゅうへん  
南千里駅周辺では、「南千里駅周辺まちづくり懇談会」において千里南地区センターのさいせいび  
計画のけんとう  
検討が進められています。

みなみせんり ち く こうつう  
南千里地区の交通バリアフリーは、この懇談会とのれんけい  
連携を図りながら、こうきょうこうつう  
公共交通、ほどう  
歩道、しんごう  
信号  
などのじぎょうしゃ  
事業者によるいつたいてき  
一体的なバリアフリー化整備を推進し、よりこうりつてき  
効率的、こうかてき  
効果的なバリアフリーを  
めざします。

### きぞん どうせん はいりょ あんしん あんぜん ほこうくうかん かくほ 既存の動線に配慮した、安心、安全、わかりやすい歩行空間を確保します

みなみせんりえきしゅうへん  
南千里駅周辺では、かいたか  
2階高さのデッキをりよう  
利用するほこうしゃ  
歩行者が多く、あお  
ほしやぶんり  
歩車分離がはかられています。  
この既存のほこうしゃどうせん  
歩行者動線にはいりょ  
配慮しながら、きぞん  
既存デッキのろうきゅうかなど  
老朽化等のバリアをかいしょう  
解消するとともに、ま  
なしせつ  
な施設やすいちよくいどうしせつ  
垂直移動施設等へのあんない  
案内をじゅうじつ  
充実させ、あんしん  
安心・あんぜん  
安全・わかりやすいほこうくうかん  
歩行空間をかくほ  
確保しま  
す。

# だい しょう おも しせつ おも けいろ 第4章 主な施設、主な経路

## 4.1 主な施設

### (1) 主な施設の考え方

こうつう バリアフリー ほう ていぎ すいたし きじゅん もと い か さいだ  
交通バリアフリー法の定義や、吹田市での基準を元に、以下のとおり定めます。

#### 【主な施設の定義】

とくていりょく しせつ あいだ いどう じょうじょう と ほ おこな しせつ こうれいしゃ しんたい  
特定旅客施設との間の移動が通常徒歩で行われている施設かつ、高齢者、身体  
しょうがいしゃ にちじょうせいかつ りようする しせつ  
障害者が日常生活において利用する施設  
りようしゃ いっていき ぼいじょう しせつ  
利用者が一定規模以上の施設  
こういきてき りよう が されている しせつ (えき から りようしゃ が おお しせつ)  
広域的な利用がされている施設（駅からの利用者が多い施設）

#### 【各施設の定義】

- ・ こうきょう こうえきしせつ : くに ぶ、しなど しゅよう しせつ  
公共・公益施設 : 国、府、市等の主要な施設
- ・ きょういくしせつ : ようごがっこう だいがく こうこうなど  
教育施設 : 養護学校、大学、高校等
- ・ いりよう ほけんしせつ : いりようしせつ にゅういんしせつ びょうしやうすう しょういじょう  
医療・保健施設 : (医療施設) 入院施設があり、病床数が100床以上
- ・ ふくししせつ : こうれいしゃふくししせつ しんたいしょうがいしゃふくししせつなど  
福祉施設 : 高齢者福祉施設、身体障害者福祉施設等
- ・ こうえんしせつ : こういきこうえん そうごうこうえん ちくこうえん  
公園施設 : 広域公園、総合公園、地区公園
- ・ しょうぎょうしせつ : すいたし ししょうこうしんこう きさい だい しょうだい き ぼ  
商業施設 : 吹田市商工振興ビジョンに記載されている、「第1・2種大規模  
こうりてんぼ しょうてんがい しょうてんかい  
小売店舗、商店街・商店会」

(2) 南千里地区の主な施設

以上の考え方から、南千里地区の主な施設は以下のとおりとします。(表 -2、図 -8参照)

表 -2(1) 主な施設

施設名	種類	選定理由
クリエテ 阪急南千里店	商業施設	商業施設、医療・保健施設、公園施設が集積しています。
保健センター南千里分館	医療・保健施設	
千里救命救急センター		
休日急病診療所		
済生会千里病院		
千里府民健康プラザ		
千里南公園	公園施設	市民の利用が多い。
南千里庁舎	公共施設	
高野台B1商店街	商業施設	
高野台市民ホール	公共施設	
南千里市民プール		
高野公園	公園施設	
佐竹台市民ホール	公共施設	
佐竹台商店会	商業施設	
特別養護老人ホーム青藍荘	福祉施設	
好日荘	公益施設	
津雲台市民ホール	公共施設	
ジャスコ南千里店	商業施設	駅からの利用が多い。
ミドリ電化南千里店		

表 -2(2) 主な施設(まちづくり懇談会検討範囲内)

施設名	種類	選定理由
千里市民センター	公共施設	公共施設、商業施設が集積しています。
千里出張所		
千里図書館		
千里南センタービル		
ガーデンモール南千里	商業施設	
阪急 オアシス		
ホテルマーレ南千里		



## 4.2 おも けいろ 主な経路

特定旅客施設と高齢者や身体障害者等がよく利用する施設を結ぶ主要な経路を、特定経路とし、重点的かつ速やかにバリアフリー化を進めます。また、その他の主な経路として準特定経路を選定しており、バリアフリー化に努めます。

### 各経路の位置づけ

#### ・特定経路：

特定旅客施設と高齢者や身体障害者等がよく利用する施設（以下「主な施設」とする）を結ぶ主要な経路を、特定経路と位置づけます。

平成22年度（2010年度）を目標に、誰もが安全で安心して移動できる歩道のバリアフリー基準を満たすよう整備を進めます。

#### ・準特定経路：

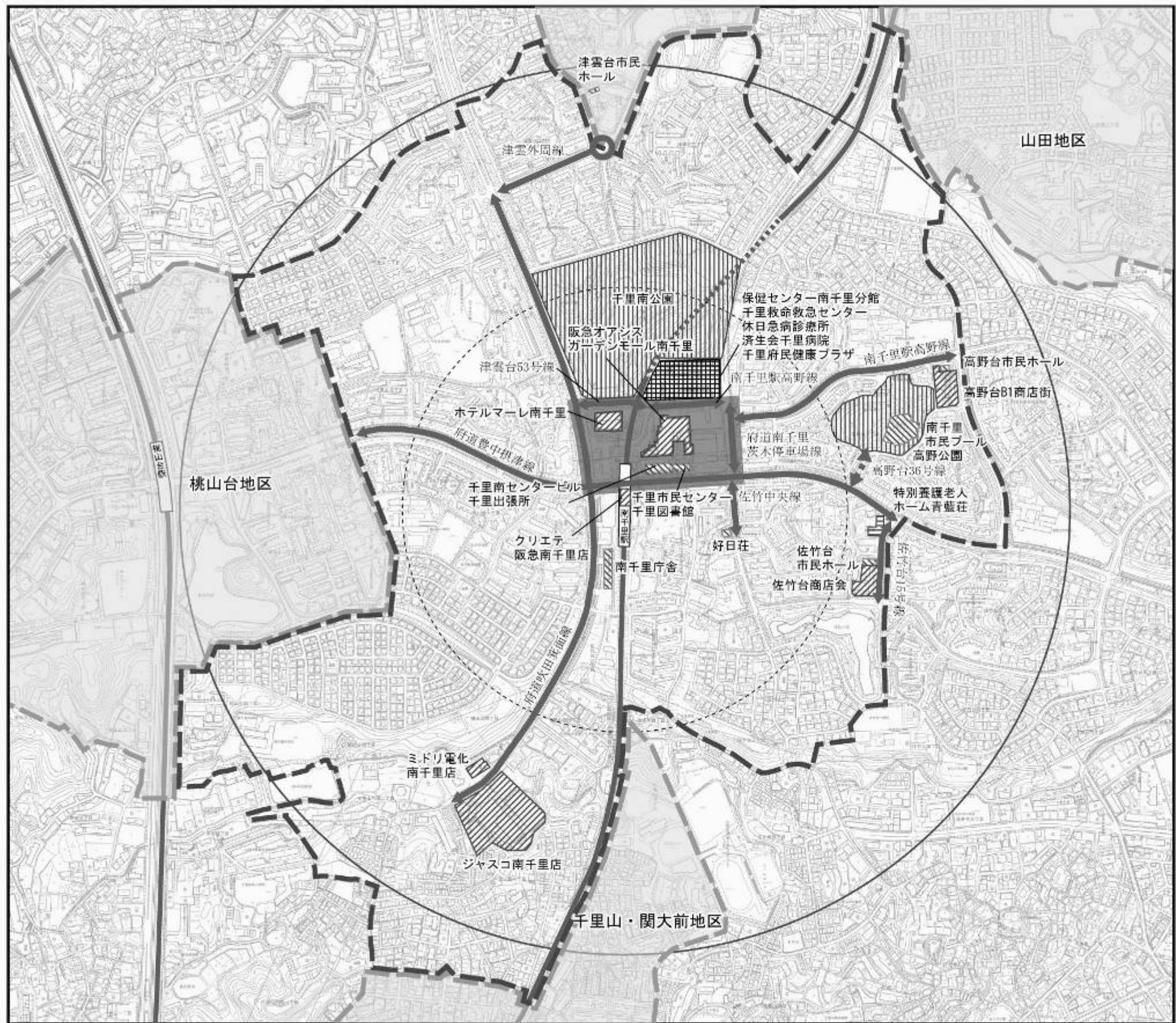
特定旅客施設と主な施設を結ぶ経路のうち、まちなみの状況や地形的制約等により部分的にバリアフリー基準を満たすことが困難な経路を、準特定経路と位置づけます。

中長期的には基準に近づけるよう努めながら整備を進めます。

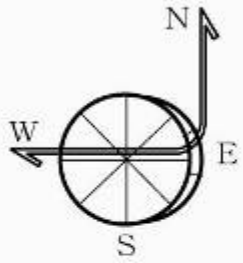
以上の考え方から、南千里地区の主な経路は以下のとおりとします。(表 -3、図 -8参照)

表 -3 主な経路

事業区分	管理者	路線名	道路延長 (km)
	府	吹田箕面線(津雲台2交差点~ジャスコ南千里店西側の交差点)	1.5
		豊中摂津線(桃山台2交差点~特別養護老人ホーム青藍荘前の交差点)	1.4
		南千里茨木停車場線(ガーデンモール南千里の北東角交差点~佐竹台2交差点)	0.2
特定経路	市	津雲台53号線(千里南公園前交差点~阪急千里線高架下の交差点)	0.2
		南千里駅高野線(阪急千里線高架下の交差点~高野台市民ホール前の交差点)	0.8
		津雲外周線(津雲台近隣センター前のロータリー~津雲台2交差点)	0.3
		佐竹台15号線(特別養護老人ホーム青藍荘前の交差点~佐竹台商店会前の交差点)	0.2
		佐竹中央線(佐竹台2交差点~好日荘前)	0.1
		小計	4.7
準特定経路	市	高野台36号線(佐竹台診療所前バス停西側交差点~高野公園前)	0.1
		小計	0.1
合計			4.8



凡 例	
	商業施設
	公共・公益施設
	医療・保健施設
	福祉施設
	公園施設
	南千里地区の重点整備地区
	他地区の重点整備地区
	駅から500mの範囲
	駅から1000mの範囲
	南千里駅周辺まちづくり懇談会での検討対象地域
	特定経路路線
	準特定経路路線



図名 南千里地区 特定経路路線図

図 -8 南千里地区特定経路路線図

# 第5章 バリアフリー化事業の内容とスケジュール

## 5.1 事業内容とスケジュール

本基本構想は、交通バリアフリー法に基づき、国・地方公共団体・公安委員会・公共交通事業者・市民が、それぞれの役割と責務を果たすことによって、南千里地区の交通バリアフリー化を実現していくことを前提として作成しています。

このような前提条件が整わないときには、バリアフリー整備目標や事業の実現時期が相当に遅れることがあります。事業が円滑に進められるよう行政はもとより、それぞれの関係機関において、必要な資金の確保や地域との合意形成にむけた理解と調整等の最大限の努力を行います。

### (1) 駅舎(南千里駅)

項目	内容	時期	
		H18	H22
個別施設の整備改良等	階段に二段式手すりを設置		
	多機能トイレ設置の検討(オストメイト仕様トイレ1)を含む多機能トイレ)		
誘導案内情報施設の整備	構内案内表示の充実の検討		
	可変式情報表示装置の設置の検討		
	視覚障害者誘導用ブロックの改善検討		
ソフト施策	駅員の教育訓練の継続実施		

### 整備内容

#### a. 個別施設の整備改良等

##### 【手すり】

視覚障害者、聴覚障害者、妊産婦等の様々な特性を持つ移動者の転落等の危険が回避できるよう手すりを設置します。

##### 【トイレ】

トイレは、オストメイト仕様トイレ<sup>1)</sup>、乳幼児連れの方のためのおむつ替えシート等、多様な利用を見込んだきめ細やかな取組みを進めるように努めます。

トイレの位置や男女別を、視覚障害者等にも配慮しながらわかりやすく表示するよう努めます。

#### 1) オストメイト仕様トイレ

オストメイト(人工肛門や人工膀胱保持者)が利用しやすいように、車いす用トイレに洗浄可能な流し台等を設置したトイレ。

b. 誘導案内情報施設の整備

【案内設備】

移動者の案内設備について、触地図、ピクトグラム、点字等を用いて、よりわかりやすい表示のあり方を検討します。

【可変式情報表示装置】

車両の運行情報(列車到着等の情報)を、駅利用者に情報提供するために可変式情報表示装置の設置を検討します。

【視覚障害者誘導用ブロック】

視覚障害者の移動円滑化の向上と安全性を確保するよう配置について検討します。

c. ソフト施策

高齢者・身体障害者等に対して適切な対応ができるよう研修等の教育訓練を引き続き実施します。

車両とホームの移動が不可能または困難な車いす利用者等の利用に配慮し、スロープ板等による駅員の補助を徹底するよう努めます。

d. その他

車両の新規導入の際には、バリアフリー基準に適合する仕様とします。

(2) 歩道 (p. -15 図 -8 参照)

1) 特定経路

項目	内容	時期	
		H18	H22
既設道路の改良	歩道の有効幅員の確保 (交通標識や電柱等の再配置・側溝、水路、公共用地等の活用等)		
	段差・勾配の解消		
	バリアフリー化に配慮した路面舗装		
	車道・横断歩道等との段差・勾配の解消		
個別施設の整備改良等	照明施設の整備		
	案内標識の整備		
誘導案内の整備	視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良		
障害物等の撤去・規制	啓発活動強化・取締強化等の歩道上の迷惑駐輪・看板等の不法占用物対策		
	交差点・横断歩道上の違法駐車対策		

具体的な整備内容 : 現況の問題点をふまえ、各特定経路の主な整備内容を示します。

a. 吹田箕面線

- ・車道と歩道の段差・路面舗装の老朽化の解消等の歩道改良を行います。
- ・横断歩道等との切下部には、車いす使用者の安全性等に配慮し、信号待ちする車いす使用者が滞留でき、かつ円滑に転回できる部分を確保するよう努めます。
- ・側溝の溝蓋は車いすのキャスター、白杖、ハイヒール等が落ち込むことがないように配慮すると共に、設置場所は可能な限り横断歩道以外の部分に設置するよう努めます。
- ・視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良を行います。
- ・歩行者の安全性を確保するため、交通状況をふまえ、適宜、街灯や道路照明灯の設置を検討します。



現況



切下部の勾配が大きい



視覚障害者誘導用  
ブロックの不備

図 -9 吹田箕面線の現況



b. 豊中摂津線

- ・車道と歩道の段差・路面舗装の老朽化の解消等の歩道改良を行います。
- ・横断歩道等との切下部には、車いす使用者の安全性等に配慮し、信号待ちする車いす使用者が滞留でき、かつ円滑に転回できる部分を確保するよう努めます。
- ・側溝の溝蓋は車いすのキャスター、白杖、ハイヒール等が落ち込むことがないように配慮すると共に、設置場所は可能な限り横断歩道以外の部分に設置するよう努めます。
- ・視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良を行います。
- ・歩行者の安全性を確保するため、交通状況をふまえ、適宜、街灯や道路照明灯の設置を検討します。



げんきよう  
現況



ほどう しやどう だんさ あお  
歩道と車道の段差が大きい



みぞぶた ふ び  
溝蓋の不備

ず 図 - 10 豊中摂津線の現況

c. 南千里茨木停車場線

- ・車道と歩道の段差・路面舗装の老朽化の解消等の歩道改良を行います。
- ・横断歩道等との切下部には、車いす使用者の安全性等に配慮し、信号待ちする車いす使用者が滞留でき、かつ円滑に転回できる部分を確保するよう努めます。
- ・視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良を行います。



げんきよう  
現況



ほそう ろうきゅうか  
舗装の老朽化



しかくしやうがいしやゆうどうよう  
ブロックの不備

ず 図 - 11 南千里茨木停車場線の現況

d . 津雲台53号線

- ・車道と歩道の段差・路面舗装の老朽化の解消等の歩道改良を行います。
- ・横断歩道等との切下部には、車いす使用者の安全性等に配慮し、信号待ちする車いす使用者が滞留でき、かつ円滑に転回できる部分を確保するよう努めます。
- ・視覚障害者誘導用ブロックの整備を行います。



現況



切下部の勾配が大きい

図 -12 津雲台53号線の現況

e . 南千里駅高野線

- ・車道と歩道の段差・路面舗装の老朽化の解消等の歩道改良を行います。
- ・横断歩道等との切下部には、車いす使用者の安全性等に配慮し、信号待ちする車いす使用者が滞留でき、かつ円滑に転回できる部分を確保するよう努めます。
- ・視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良を行います。



西側の歩道の現況



東側の歩道の現況



舗装・視覚障害者誘導用  
ブロックの老朽化

図 -13 南千里駅高野線の現況



f. 津雲外周線

- ・車道と歩道の段差・路面舗装の老朽化の解消等の歩道改良を行います。
- ・横断歩道等との切下部には、車いす使用者の安全性等に配慮し、信号待ちする車いす使用者が滞留でき、かつ円滑に転回できる部分を確保するよう努めます。
- ・視覚障害者誘導用ブロックの整備を行います。



図 -14 津雲外周線の現況

g. 佐竹台15号線

- ・車道と歩道の段差・路面舗装の老朽化の解消等の歩道改良を行います。
- ・横断歩道等との切下部には、車いす使用者の安全性等に配慮し、信号待ちする車いす使用者が滞留でき、かつ円滑に転回できる部分を確保するよう努めます。
- ・視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良を行います。



図 -15 佐竹台15号線の現況

h. 佐竹中央線

- ・車道と歩道の段差・路面舗装の老朽化の解消等の歩道改良を行います。
- ・横断歩道等との切下部には、車いす使用者の安全性等に配慮し、信号待ちする車いす使用者が滞留でき、かつ円滑に転回できる部分を確保するよう努めます。
- ・視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良を行います。



図 -16 佐竹中央線の現況

2) 準特定経路

(高野台36号線)

項目	内容	時期		
		H18	H22	H23以降
既設道路の改良	歩道の有効幅員の確保に努力（交通標識や電柱等の再配置・側溝、水路、公共用地等の活用等）			
	段差・勾配の解消に努力			
	バリアフリー化に配慮した路面舗装に努力			
	車道・横断歩道等との段差・勾配の解消に努力			
個別施設の整備 改良等	照明施設の整備の検討			
	案内標識の整備の検討			
誘導案内の整備	視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良の検討			
障害物等の 撤去・規制	啓発活動等の歩道上の不法占用物対策に努力			
	交差点・横断歩道上の違法駐車対策に努力			

(3) バス・バス停

項目	内容	時期	
		H18	H22
バス車両	低床バスの導入		
バス停	バリアフリー化に配慮したバス停の改良		

整備内容

a. 車両

- 新規導入および代替車両は、低床バスとします。なお、車いす使用者等が円滑に乗降できるノンステップバスを積極的に導入するよう努めます。
- 文字案内装置等を設置したバリアフリー化車両を基本とします。

b. バス停

- バス停の利用状況等をふまえ、バス停に上屋、ベンチ、照明等の設置を検討します。
- 路線図や時刻表等の案内表示を、わかりやすくします。

(4) 交通安全特定事業

項目	内容	時期	
		H18	H22
信号機	信号機の改良		
横断歩道	横断歩道設置の検討		

整備内容

a. 信号機

- ・安全に横断できる歩行者用青信号の時間の調整を検討します。
- ・歩行者や自動車の利用状況等をふまえ、地域住民との協議を行いながら、音響信号機や、弱者感応信号を必要とする箇所の検討を行い、導入を図ります。
- ・特定経路上の信号機については、歩行者の安全な横断に配慮した歩行者用信号灯器を設置します。

b. 横断歩道

- ・特定経路上で、横断歩道の設置を必要とする箇所の検討を行います。

(5) 施設

項目	内容	時期	
		H18	H22
公園、公共施設等	施設出入口部・通路のバリアフリー化		

整備内容

- ・公園施設や公共施設等の公共用通路との出入口部・通路のバリアフリー化を図ります。
- ・千里南公園は、園内通路のバリアフリー化に努めます。
- ・高野公園は、南千里市民プール入口までの園内通路のバリアフリー化に努めます。

(6) 千里南地区センター再整備事業地域内

項目	内容	時期		
		H18	H22H23	以降
歩行者動線の整備	駅舎、千里南地区センター内の各施設および周辺施設・道路への円滑な移動のためのバリアフリー化整備			

整備内容

- ・駅舎、千里南地区センター内の各施設および周辺施設・道路への移動を円滑にするため、安全性にも配慮したデッキ等のバリアフリー化を図ります。
- ・交通広場の整備にあたっては、デッキとの垂直移動をはじめとした歩行者動線、バス、タクシーバスの設置等においてバリアフリー化に配慮した整備を検討します。

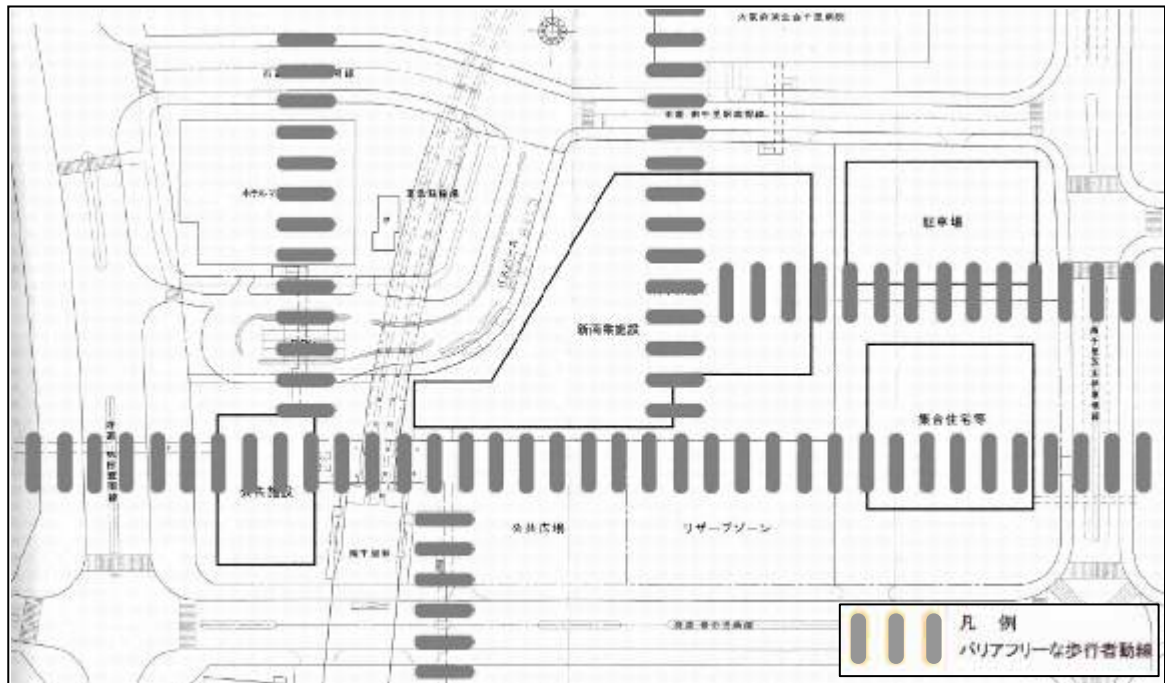


図 -17 バリアフリーな歩行者動線

(出典：千里南地区センター再整備の基本的な考え方)

## (7) ソフト施策

ハード整備だけですべての人が安全・安心・快適に移動できるようになるとは言えません。

吹田市では、「人と思いやり、やさしくなれる」このことが、バリアフリーを進める第一歩であると考え、「だれもがやさしくなれる」吹田のまちづくりをめざしています。

そこでハード整備のみでは、早急な解決が困難である場合の取組みとして、また、ハード整備完了後もより多くの人が安全・安心・快適に移動できるための取組みとして、吹田市では、ハード整備とともに、以下のソフト施策も重点的に進めていきます。

### 広報・啓発の推進

車道や歩道、身体障害者用の駐車スペース、公園等における迷惑駐輪や違法駐車、不法占用物(看板・商品のはみ出し等)対策として、公安委員会等関係機関・市民と協力しながら自粛の呼びかけ、指導、取締まりを進めます。

総合教育や交通安全教育等の中でバリアフリーの啓発(交通用具利用者へのマナーの向上、子どもの頃からのバリアフリーへの理解の向上等)を行う取組みを導入します。

NPO、ボランティア団体、事業者等と連携しながら、バリアフリーの意識啓発、マナー向上を図るための、広報、イベント等を実施します。

### 情報提供

バリアフリーに関する情報ネットワークシステムの構築を検討します。

市内のバリアフリー情報の提供を進めます。

わかりやすい案内表示の方法について検討します。

# バリアフリー化の進め方



## 1.1 持続的な交通バリアフリー化のためのしくみ

吹田市では、吹田市交通バリアフリー懇談会を継続して開催し、市全体の交通バリアフリー化の実現を図っていきます。

千里山・関大前地区、南千里地区では、基本構想策定後、市の道路特定事業計画検討時においても、吹田市交通バリアフリー懇談会において進捗状況を確認しながら、より多くの市民の意見を反映させるため、地区ごとのワークショップを開催します。また、道路特定事業計画を検討する際にも、ユニバーサルデザイン<sup>2)</sup>にも配慮を行います。

基本構想策定後の持続的な交通バリアフリー化のためのしくみを図-1に示します。

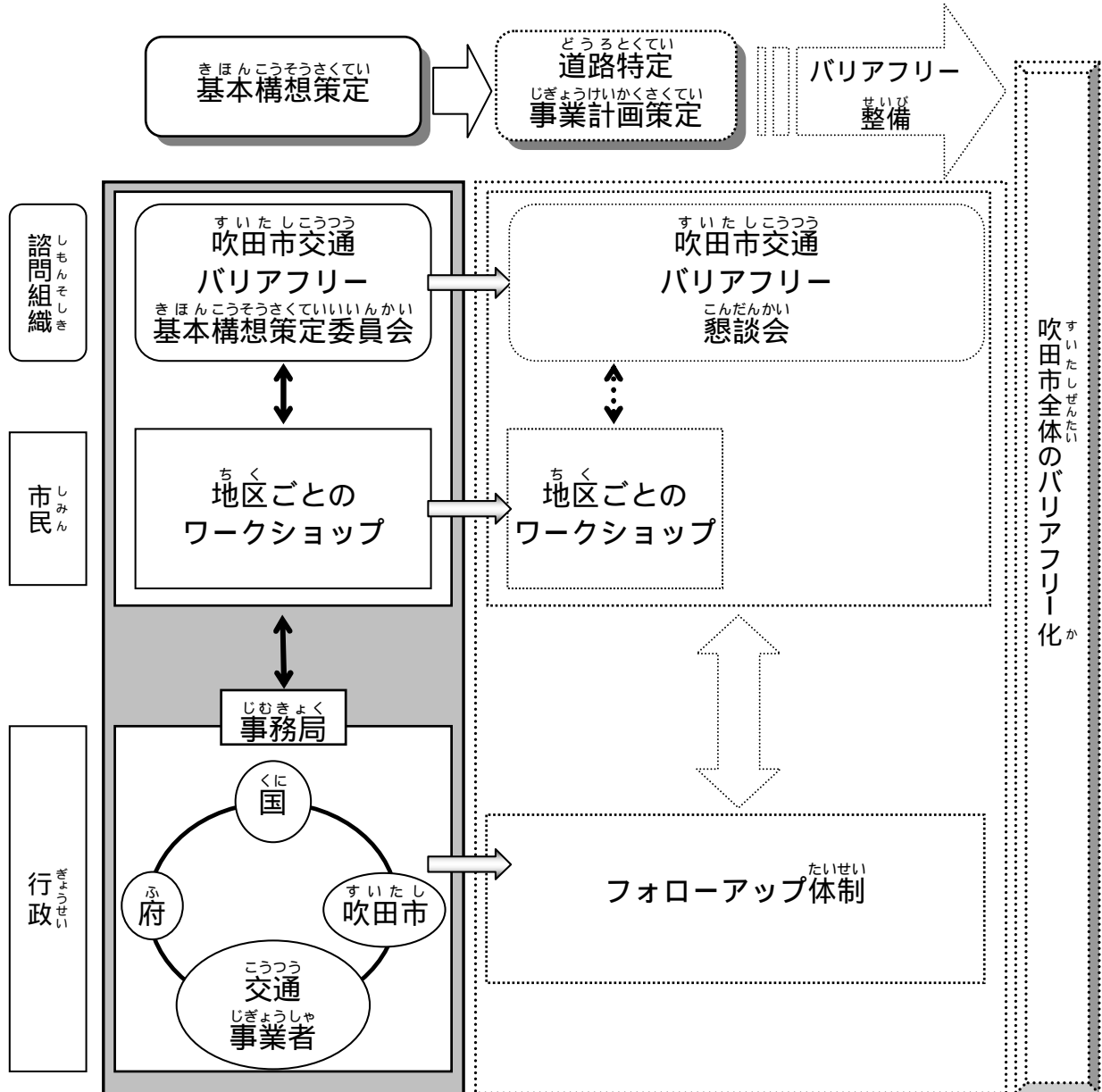


図-1 持続的な交通バリアフリー化のためのしくみ

### 2) ユニバーサルデザイン

あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方



## 1.2 交通バリアフリー化に向けた責務と役割

本基本構想は、交通バリアフリー法に基づく、国・地方公共団体・公安委員会・公共交通事業者・市民が、それぞれの役割と責務を果たすことによって、交通バリアフリー化を実現していくことを前提として作成しています。

このような前提条件が整わないときには、バリアフリー整備目標や事業の実現時期が相当に遅れることがあります。事業が円滑に進められるよう吹田市はもとより、それぞれの関係機関において、必要な資金の確保や地域との合意形成にむけた理解と調整等の最大限の努力を必要とします。

担当	役割	責務
国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動円滑化の促進に関する基本方針を定めます。</li> <li>・「移動円滑化基準」を定め、基準適合性を審査し、認定および事業実施を勧告します。</li> <li>・市町村が策定する基本構想への助言を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動円滑化を促進するために必要な資金の確保その他の措置を講ずるよう努めます。</li> <li>・移動円滑化に関する研究開発の推進およびその成果の普及に努めます。</li> <li>・広報活動等を通じて移動円滑化の促進に関する国民の理解を深めるよう努めます。</li> </ul>
地方公共団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独又は共同して「基本構想」を作成します。</li> <li>・公共交通特定事業実施を公共交通業者に要請します。</li> <li>・道路特定事業計画を作成し実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の施策に準じて移動円滑化を促進するために必要な措置を講ずるよう努めます。</li> </ul>
公安委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独又は共同して「交通安全特定事業計画」を作成し実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想の作成に協力します。</li> </ul>
公共交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本構想」に即して「公共交通特定事業計画」を作成し実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想の作成に協力します。</li> <li>・新設旅客施設等についての「移動円滑化基準」の適合義務。</li> <li>・既存旅客施設等についての「移動円滑化基準」適合努力義務。</li> </ul>
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した円滑な移動を確保するために協力するよう努めます。</li> </ul>	

さんこう きほんこうそうさくてい けいい  
(参考) 基本構想策定の経緯

しみんさんかく きほんこうそう  
~ 市民参画でつくった基本構想 ~



だい しょう きほんこうそうさくてい  
**第1章 基本構想策定のしくみ**

本基本構想は、「吹田市交通バリアフリー基本構想策定委員会（以下、委員会と記す）」を諮問組織として検討を進めました。委員会は、学識経験者をはじめ、鉄道・バス事業者、吹田市の各関連部門の職員、および高齢クラブや障害当事者、市民の代表の方などの委員28名と、オブザーバー1名から構成されています。

また、市民の要望にかなう質の高い交通バリアフリー化を進めるためには、基本構想の検討段階において、市民の皆様と共に考えていくことが重要であるという認識のもと、「千里山・関大前地区ワークショップ」「南千里地区ワークショップ」をそれぞれ開催し、多くの市民の皆様の意見を反映してきました。

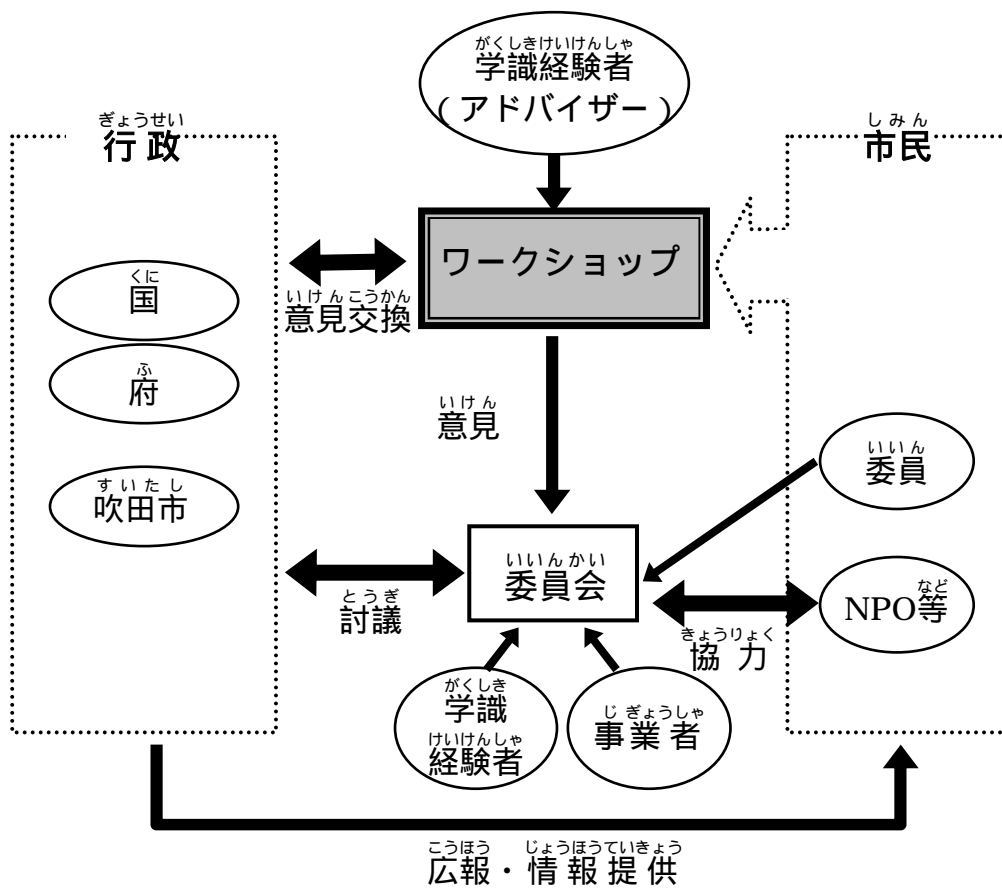


図1 基本構想策定のしくみ

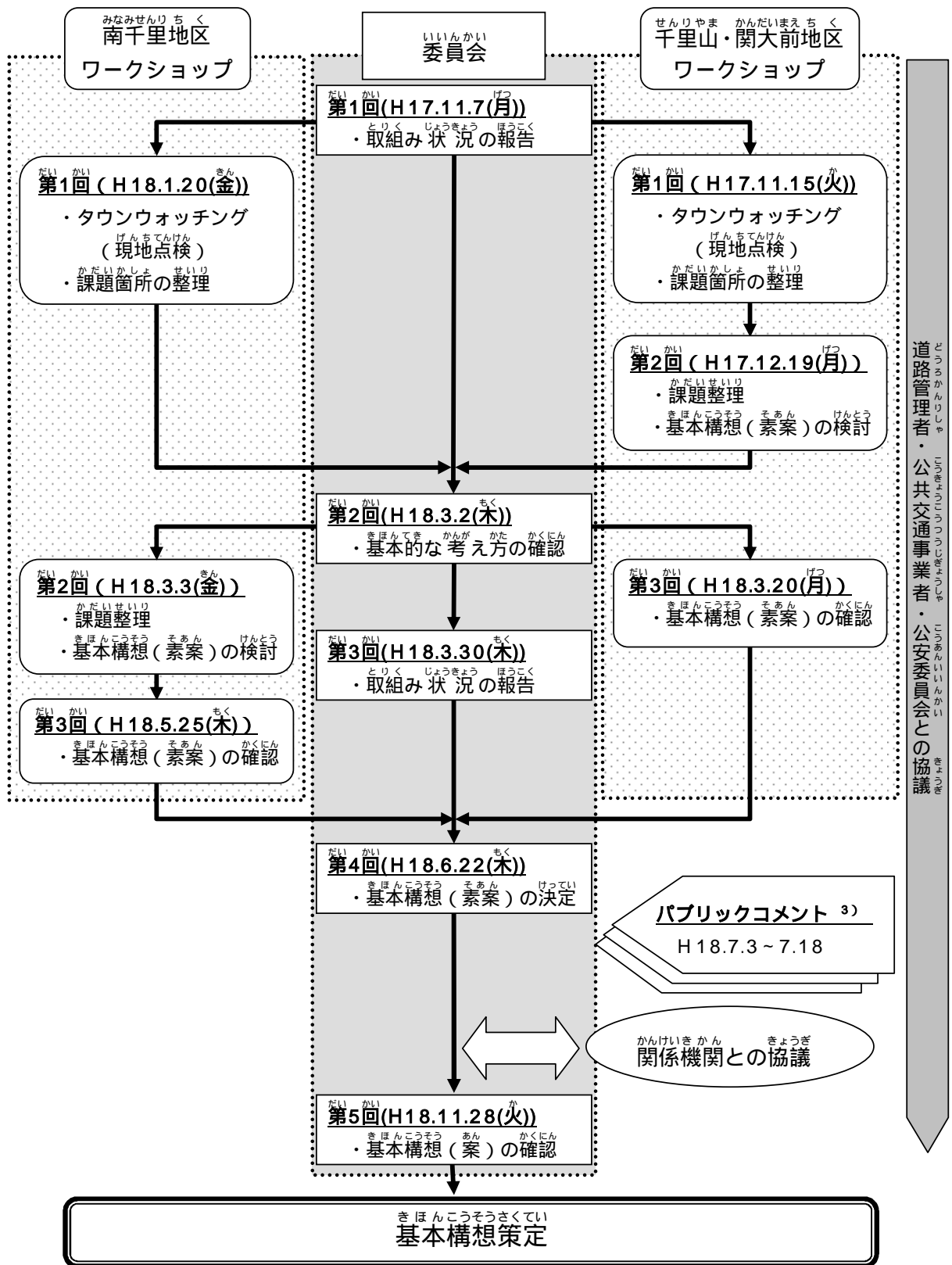


図2 基本構想策定の経緯

3) パブリックコメント

政策の立案や規制の設定等を行う際、案を公表し、この案に対して広く一般市民の皆さまから意見や情報を求め、それを考慮して意思決定を行う制度。

ひょう すいたし こうつう きほんこうそうさくていいいんかい いいんめいほ へいせい ねん ねん がつげんざい  
 表1 吹田市交通バリアフリー基本構想策定委員会 委員名簿(平成18年(2006年)12月現在)

	氏名	役職
委員長	新田 保次	大阪大学大学院 工学研究科 教授 (地球総合工学専攻 社会基盤工学コース 交通システム学研究室)
副委員長	永田 昌範	吹田市自治会連合協議会 会長
委員	岡田 明	大阪市立大学大学院 生活科学研究科 教授(人間工学)
"	斉藤 弥生	大阪大学大学院 人間科学研究科 助教授(高齢社会研究)
"	関 信行	吹田市高齢クラブ連合会 会長
"	青山 孝司	吹田商工会議所 代表
"	松尾 亜里	男女共同参画推進員
"	佐々木 和子	社会福祉法人 吹田市社会福祉協議会
"	大江 卓司	バリアフリー吹田市民会議
"	田中 捷介	バリアフリー吹田市民会議
"	長井 敬二	バリアフリー吹田市民会議
"	廣瀬 弥生	介護又はボランティア経験のある公募市民
"	大仲 里美	子育て中の方又は子育ての経験のある公募市民
"	橋元 正己	国土交通省近畿運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課長
"	川上 隆	大阪府茨木土木事務所 建設課長
"	神前 邦和	大阪府吹田警察署 交通課長
"	藤田 直一	大阪市交通局 総務部 企画課長
"	林田 弘幸	北大阪急行電鉄株式会社 鉄道部 施設課長
"	神谷 昌平	阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 鉄道技術部 副部長
"	中村 智	西日本旅客鉄道株式会社 京都支社 総務企画課長
"	角 洋介	阪急バス株式会社 自動車事業部 管理課長
"	外賀 卓郎	大阪高速鉄道株式会社 運輸部 業務課長
"	富田 雄二	吹田市 助役
"	山中 久徳	吹田市 企画部 部長
"	福井 登志宏	吹田市 市民文化部 部長
"	松田 義行	吹田市 福祉保健部 部長
"	阪口 純一	吹田市 都市整備部 部長
"	稲田 智彦	吹田市 建設緑化部 部長
オブザーバー	三浦 富士夫	大阪府 住宅まちづくり部 建築企画課 課長補佐

ひょう かくちく ワークショップアドバイザー(平成18年(2006年)12月現在)

	氏名	役職
千里山・ 関大前地区	土井 勉	神戸国際大学 経済学部 都市文化経済学科 教授
南千里 地区	北詰 恵一	関西大学 工学部 都市環境工学科 助教授

### 第1回ワークショップ

開催日時：平成17年（2005年）11月15日（金） 14:00～17:00

参加人数：88名（うち市民：48名）

概要：千里山駅、関大前駅や道路の点検調査（タウンウォッチング）を行った後、調査で気づいた課題等についてのグループ討議（ワークショップ）を行いました。  
「関大前駅」のバリアフリー化、歩道の改善、迷惑駐輪の解消が求められていることがわかりました。



### 第2回ワークショップ

開催日時：平成17年（2005年）12月19日（月） 19:00～21:00

参加人数：60名（うち市民：32名）

概要：千里山・関大前地区基本構想（素案）として、千里山・関大前地区の基本的な方針、主な施設・主な経路、重点整備地区の範囲等を検討しました。主な施設・主な経路への追加要望、関大前駅のバリアフリー化、歩道整備、迷惑駐輪問題についてのご意見をたくさんいただきました。



### 第3回ワークショップ

開催日時：平成18年（2006年）3月20日（月） 19:00～21:00

参加人数：43名（うち市民：19名）

概要：これまでのワークショップ等での意見を反映した千里山・関大前地区基本構想（素案）について説明を行い、質疑応答を行いました。バリアフリー化は地域の住民のために行ってほしいということ、整備の優先順位や予算を明確にしてほしい等のご意見をいただきました。



3回のワークショップを通じて、関大前駅のバリアフリー化整備、迷惑駐輪の解消、具体的な整備の実施についてのご意見を多くいただきました。

図3 千里山・関大前地区ワークショップ開催の経緯

### 第1回ワークショップ

開催日時：平成18年（2006年）1月20日（金） 14:00～17:00

参加人数：58名（うち市民：24名）

概要：南千里駅や道路の点検調査（タウンウォッチング）を行った後、調査で気づいた課題等についてのグループ討議（ワークショップ）を行いました。障害者の方々と一緒にまちを歩くことで、歩道や駅舎にバリアが多いことがわかりました。



### 第2回ワークショップ

開催日時：平成18年（2006年）3月3日（金） 19:00～21:00

参加人数：40名（うち市民：14名）

概要：南千里地区基本構想（素案）として、南千里地区の基本的な方針、主な施設・主な経路、重点整備地区の範囲等を検討しました。主な施設・主な経路への追加要望、施設の出入口のバリアフリー化についてのご意見をたくさん頂きました。また、「南千里駅周辺まちづくり懇談会」と連携をとりながらバリアフリー化を進めていくことを、基本構想に記載することとしました。



### 第3回ワークショップ

開催日時：平成18年（2006年）5月25日（木） 19:00～21:00

参加人数：36名（うち市民：15名）

概要：これまでのワークショップ等での意見を反映した南千里地区基本構想（素案）について説明を行い、質疑応答を行いました。バリアフリー化についての具体的な整備方針や、「南千里駅周辺まちづくり懇談会」と連携をとりながらバリアフリー化を進めていくこと等のご意見を頂きました。



3回のワークショップを通じて、具体的な整備方針や「南千里駅周辺まちづくり懇談会」との連携によるバリアフリー化についてのご意見を多く頂きました。

図4 南千里地区ワークショップ開催の経緯

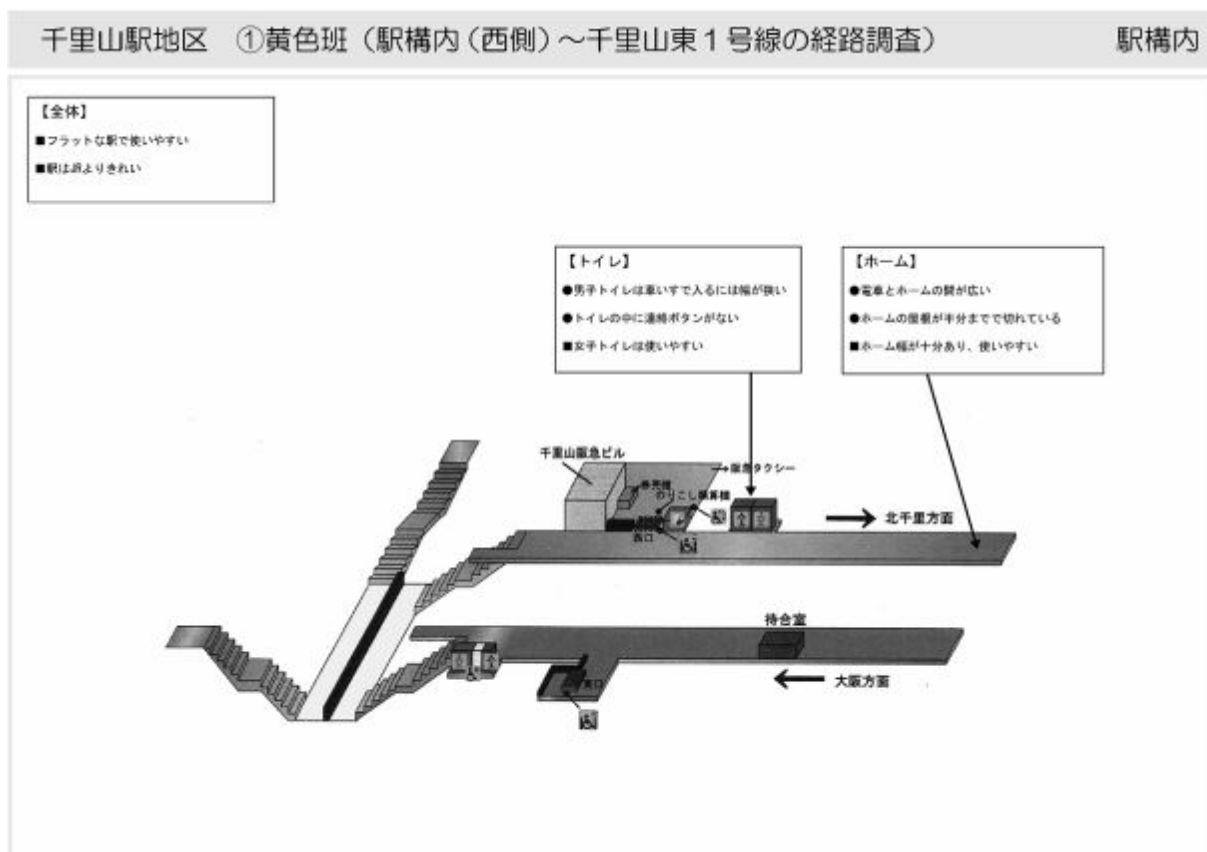


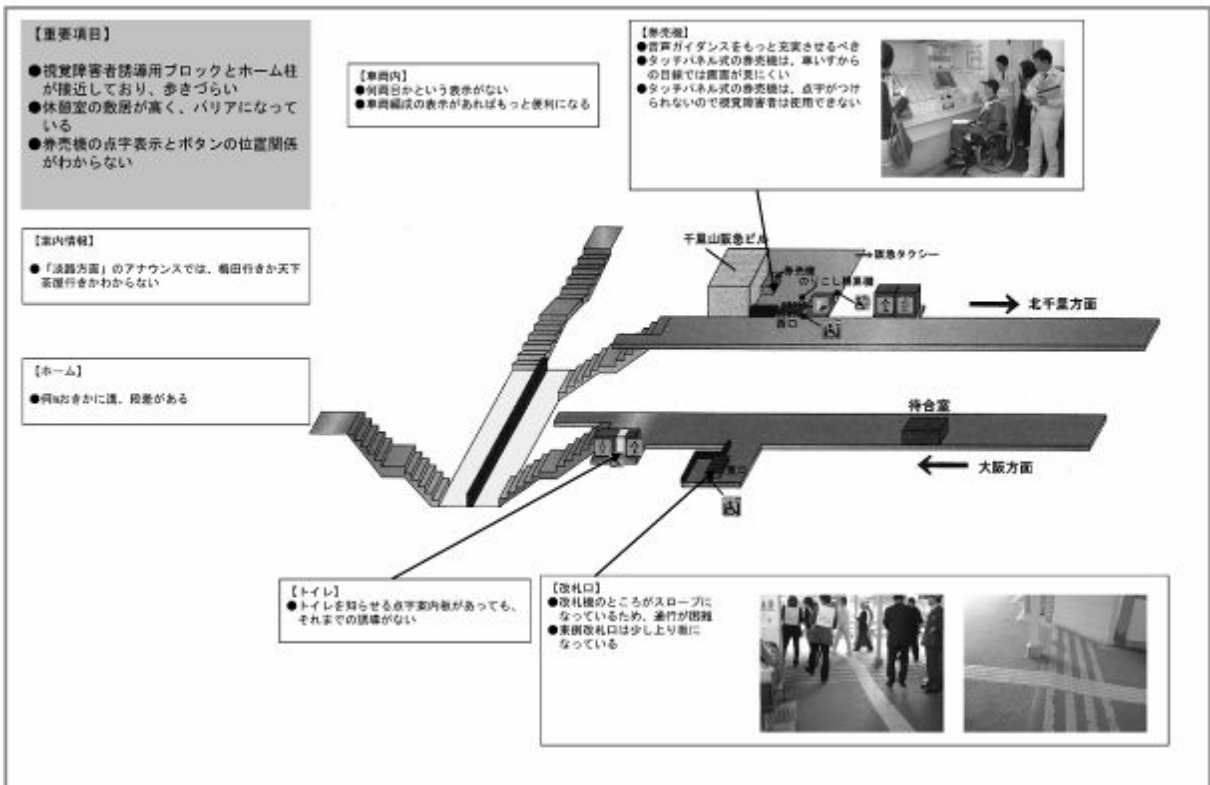
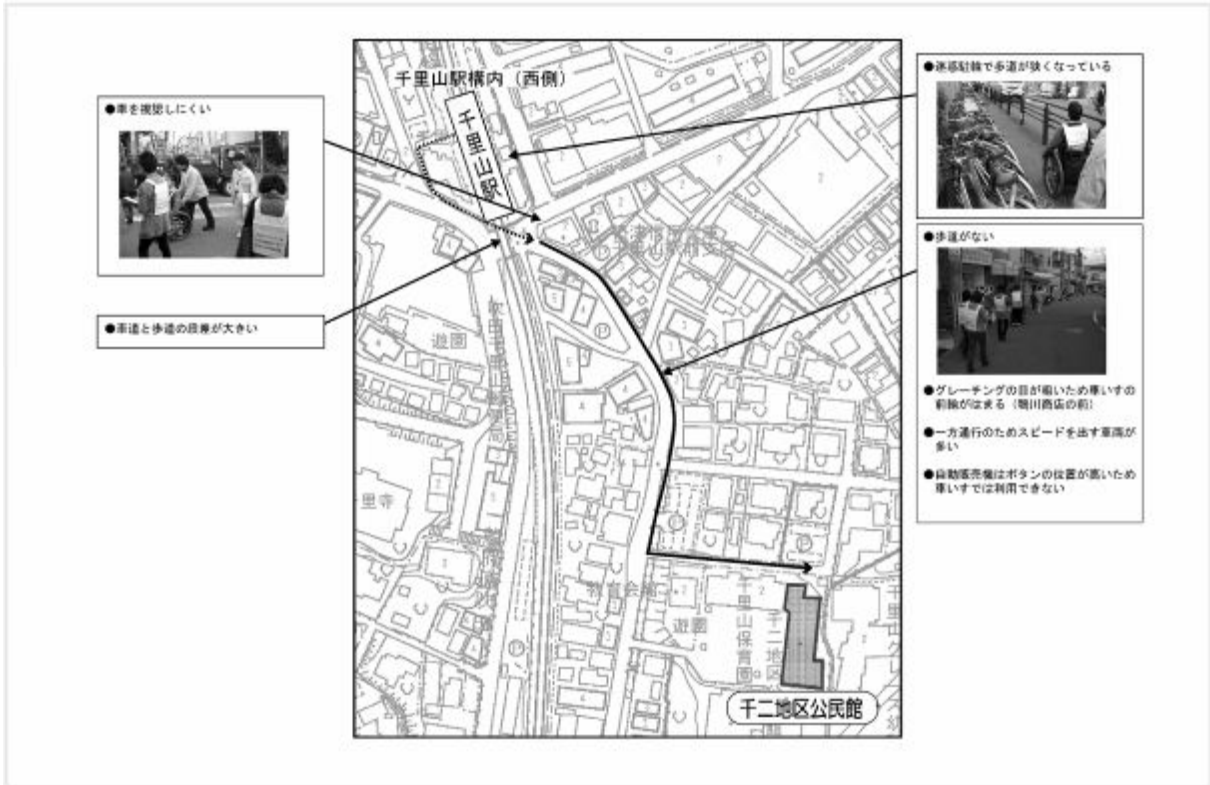
## 第2章 基本構想に対する市民意見

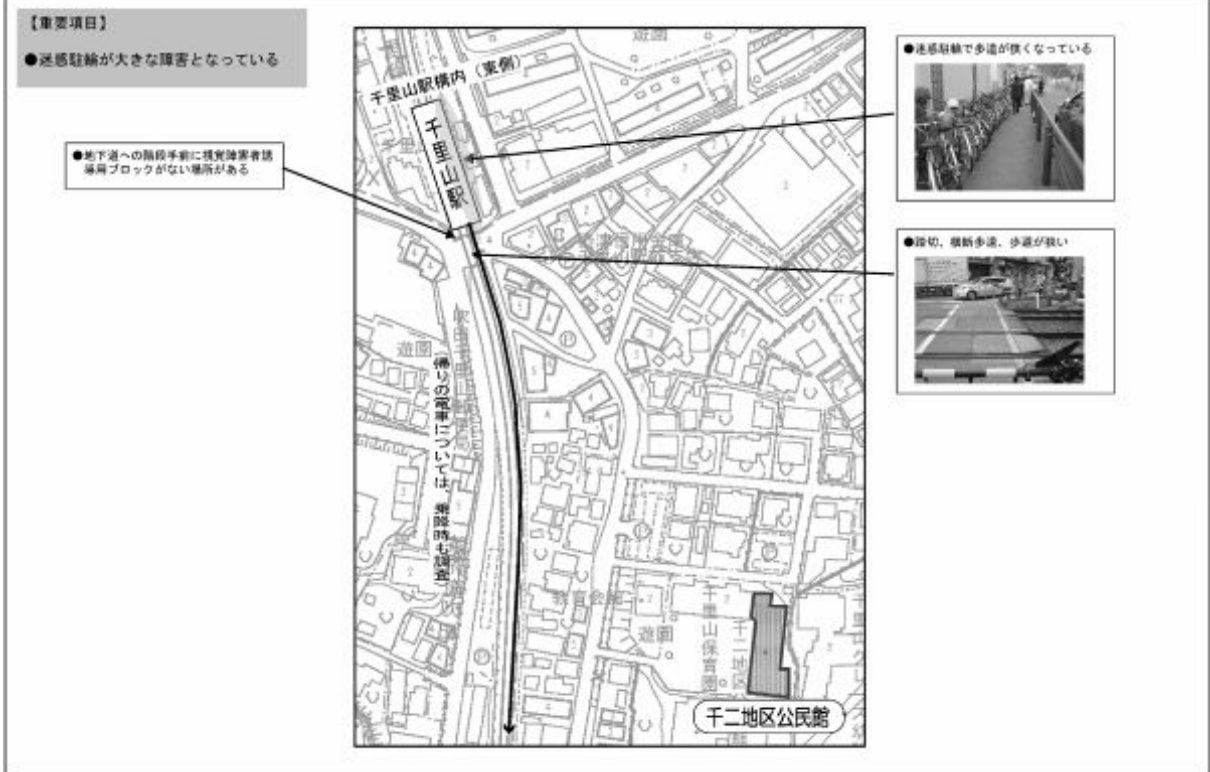
### 2.1 千里山・関大前地区ワークショップでの意見

#### (1) タウンウォッチングでの意見

第1回ワークショップで行ったタウンウォッチングでの各班の意見まとめを下記に示します。



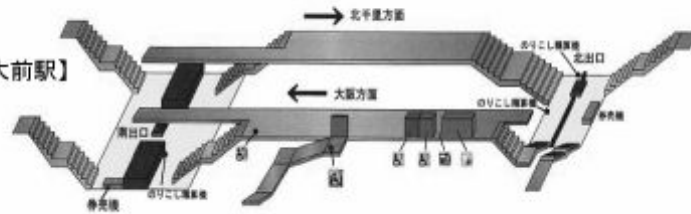




【重要項目】 関大前駅・千里山駅共通

- EV設置の際は、回転できるように鏡をつけてほしい
- ホームと電車の高低差やすき間は改善されているがまだ広いところがある

【関大前駅】



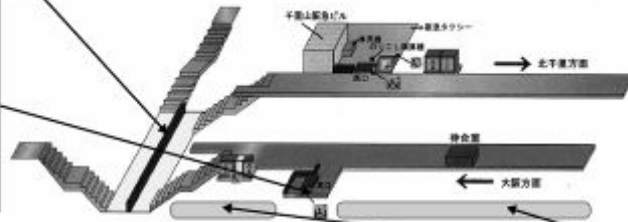
- 【車いす出口】
- スロープの曲がり角は車いすでは曲がりにくい



【千里山駅】

- 地下道がバリアフリー化されていない

- 券売機のボタンが奥にあり、車いすでは使用できない



- 駅東口歩道は駐輪場がなく、迷惑駐輪が歩道を狭くしている



【重要項目】

- 踏切は歩道が狭く、凸凹している
- 自転車、バイクの迷惑駐輪や路上駐車
- 振り出し看板の問題
- 歩道の横断、縦断勾配が急
- 車道と歩道の段差が大きい
- 歩行者と車両の交錯

- 路上の障害物が多い



- 駅東口にしか視覚障害者誘導用ブロックがない

- 迷惑駐輪で歩道が狭くなっている



【第一横水が道】

- 歩行者と車両が交錯して危険
- 違法駐車が頻り



- 車道と歩道の段差が大きい



- 車道と歩道の段差が大きい



- 歩道上の壁・横断勾配が急（車いすのタイプによっては移動困難）



- 駅前のグレーチングの目が粗い（シニアカーがつまづく）



【踏切付近】

- 凹凸があるため通行しにくい



- 横断部分が狭くて危険



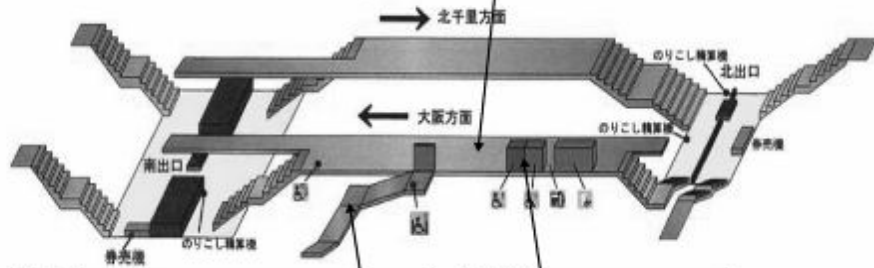
- 地下道がバリアフリー化されていない
- 車の流れが複雑で危険

【重要項目】

- EY、ESを設置してほしい
- オープンカットでもトンネルでもいので、阪急電車を地上から地下へ移してほしい
- 車いすの人は学生の乗降ピーク時に動きにくい
- トイレ、スロープが東側（大阪方面）にしかない

【ホーム】

- 視覚障害者誘導用ブロックがはがれているところがあり危険
- ホームと電車の間が広い
- 駅長さんが親切だと感じた



【スロープ】

- 突如と急な急勾配
- スロープがみつげにくく、入るまでに待たされる
- スロープの街灯の数が少ない



【トイレ】

- 入口が狭い
- 個室はきれいですが使いやすい印象を受けた



【重要項目】

- 視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていない
- 歩道がない
- 街灯が少ない
- ゴミが多く汚い
- 自転車がスピードを出しすぎていて危険
- くわスタパコは車いすの人に危険
- 関大生が広がって歩いたり、立ち止まったりしている道も狭くなる

●自転車・バイクの滞留助輪



●張り出し看板が邪魔になっている



●店の前の違法駐車



●駅前道路が狭い

- スロープがわかりにくい
- スロープの街灯が少ない



●視覚障害者の道にフタがなかった



●マンホールのフタが多く、道が凸凹している




●高速の高架下の水溝のフタが凸凹している

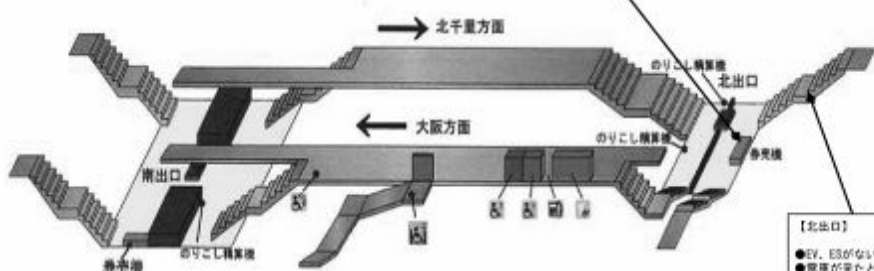
**【重要項目】**

- EV、ESがない
- 電車が来たときに非常に混雑するので危険
- 車いすでは券売機は使用できない

**【券売機】**

- 券売機のボタンの位置が高いため、車いすでは使用できない
- 券字案内板の位置が高い






北千里方面 →      ← 大阪方面

のりこし乗車場    北出口    券売機

南出口    のりこし乗車場

**【北出口】**

- EV、ESがない
- 電車が来たときに非常に混雑する



**【重要項目】**

- 視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていない
- 迷惑駐輪・バイクが多い
- 区間①②は歩行者、車両が混在しているため危険
- 区間④は歩道がない上、交通量も多いため危険
- 千三地区公民館への経路がバリアフリー化されていない

●車の往來が激しい



●排水路のにおいがひどい

●排水路に溝がない



**【区間①②共通】**

- 放置自転車・バイクが多い



- 歩行者と車両が混在している



- 商店の張り出し看板が通行の障害となっている
- 自転車スピードを出して通行するため危険



●凹凸があるため、通行しにくい

●踏切前はゴム積積になっている



●踏切西側の歩道との接続が急勾配になっているため車いすでは通行しにくい



●歩道がない上、交通量が多いので危険

●車いすでは通行できない

●側溝がない





パレフタバ

パレフタバ

●歩行者、自転車、バイクが同じ道を通行するので危険

関大前駅

関大前駅北改札付近

区間①

区間②

区間③

区間④

関西大学

## (2) ワークショップでの意見とその考え方

基本構想に幅広い意見を反映することを目的に、意見交換やタウンウォッチングを行う千里山・関大前地区ワークショップを3回開催しました。

その主な意見とそれに対する考え方を次ページ以降に示します。

ワークショップでの意見とその対応

		意見	発言された場			回答・対応策		
基本構想について	基本方針	・関西大学との地域連携を強化してほしい。地元も協力する。				・関西大学との連携については、【p. -25 (6)ソフト施策】に記載しています。 ・具体的な取組み内容につきましては、関係者が協力し、今後検討を進めます。		
		・駅舎の整備内容が、どちらの駅のことがわかりにくい。				・各整備内容に対して、整備を行う駅の名称を追加しました。 【p. -19～20 整備内容】		
	駅舎	記載内容	・新規車両の意味がわかりにくい。				・ご指摘の箇所を、「車両の新規導入の際には」という表現に修正しました。 【p. -20 整備内容】	
			・将来的には東西の交流をスムーズにできるようにしてほしい。				・駅舎の整備方針につきましては、【p. -18～20 (1)駅舎(千里山駅)】に記載しています。 ・具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、実施可能な内容につきましては、公共交通特定事業計画の中で検討を行います。	
	具体的な整備案	・長期的な取組みとして、第一噴水から駅までをデッキでつなげればどうか。						
		垂直移動	・フラットな駅で使いやすい。JRよりきれい。					
	・地下道がバリアフリー化されていない。ホーム間の移動をバリアフリー化してほしい。							
	・エレベーター設置の際は、回転できるように鏡をつけてほしい。							
	千里山駅	現況の課題	改札口	・東側の改札機付近について、傾斜していて移動しにくい。				
				券売機	・タッチパネル式の券売機は、車いすからの目線では画面が見にくい。			
・ボタンの位置が高いため、車いすでは使用できない。								
・タッチパネル式の券売機は、点字がつけられないので視覚障害者は使用できない。								
・ボタンと点字表示の位置関係がわかりにくい。								
・音声ガイダンスをもっと充実してほしい。								
ホーム			・視覚障害者誘導用ブロックと柱が隣接している。					
			・ホームと電車との高低差やすき間が広いところがある。					
			・ホームの屋根が半分切れている。					
トイレ			・何メートルおきかに溝と段差がある。					
	・ホーム幅は広い。							
休憩施設	・男子トイレは車いすで入るには幅が狭い。							
	・女子トイレは使いやすい。							
案内情報施設	・入口の敷居が高く、バリアになっている。							
	音声案内	・「淡路方面」のアナウンスでは、梅田行きか天下茶屋行きかわからない。						
	案内設備	・トイレを知らせる案内板があっても、それまでの誘導がない。						

発言された場) ~ : 第1回～3回の各ワークショップでの発言された意見



ワークショップでの意見とその対応

		意見	発言された場			回答・対応策		
基本構想について	関大前駅	具体的な整備案	・改札を地上に移してほしい。			<ul style="list-style-type: none"> <li>駅舎の整備方針につきましては、【p. -18～20 (1) 駅舎(関大前駅)】に記載しています。</li> <li>具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、実施可能な内容につきましては、公共交通特定事業計画の中で検討を行います。</li> </ul>		
			・駅舎を地上から地下へ移してほしい。					
			・エレベーターやエスカレーターを設置してほしい。					
			・臨時切符売り場のところにエレベーターをつけられませんか。					
			・エレベーター設置の際は、回転できるように鏡をつけてほしい。					
	現況の課題	垂直移動	スロープ	・縦断勾配が急。			<ul style="list-style-type: none"> <li>駅舎の整備方針につきましては、【p. -18～20 (1) 駅舎(関大前駅)】に記載しています。</li> <li>具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、実施可能な内容につきましては、公共交通特定事業計画の中で検討を行います。</li> </ul>	
				・曲がり角が、車いすでは曲がりにくい。				
				・街灯が少ない。				
				・東側(大阪方面)にしかない。見つけにくい。				
		・鍵がかかっているため、入るまでに待たされる。利用しにくい。						
個別施設	券売機	・ボタンの位置が高いため、車いすでは使用できない。						
		・タッチパネル式の券売機は、点字がつけられないので視覚障害者は使用できない。						
	・点字案内板の位置が高い。							
ホーム	・ホームと電車との高低差やすき間が広いところがある。							
	・電車がきたとき、大学生の通学時には、非常に混雑するのが危険。							
トイレ	・入口が狭い。							
	・東側(大阪方面)にしかない。							
・個室はきれいであり使いやすいように見えた。								
案内情報施設	視覚障害者誘導用ブロック	・視覚障害者誘導用ブロックがはがれているところがあり、危険である。						
その他		・駅員が親切だと感じた。						
車両	案内情報施設	・車両編成の点字表示がほしい。何両目かがわからない。						
重点整備地区	追加	・重点整備地区は、学区を考慮する必要もある。千里第三小学校の学区である円山町を追加してほしい。			<ul style="list-style-type: none"> <li>重点整備地区に追加を行いました。</li> <li>【p. -3 函 -2区域函】、【p. -13 函 -10千里山・関大前地区地区内施設配置図】および【p. -17 函 -11千里山・関大前地区特定経路路線図】</li> </ul>			

発言された場) ~ : 第1回~3回の各ワークショップでの発言された意見

				意見	発言された場			回答・対応策	
基本構想について 主な施設・特定経路 記載内容 主な施設	追加			・千里山・佐井寺図書館を追加してほしい。				・主な施設に追加を行いました。 【p. -15 4.1主な施設】および【p. -17 図 -11千里山・関大前地区特定経路路線図】  ・【p. -15 4.1主な施設】に示しております、主な施設の考え方から、主な施設への追加を行っておりません。 ・ただし、主な施設への追加は行いませんが、地域のまちづくりの中で検討すべき課題として認識しております。	
				・点字対応のATMがあるため、千里山郵便局、千里山西郵便局を追加してほしい。					
				・住民がよく利用する千三地区公民館を追加してほしい。					
				・千二地区公民館を追加してほしい。					
				・よく人が集う千里山会館を追加してほしい。					
				・千里山交番を追加してほしい。					
				・寿楽荘千里山西デイサービスセンター、シルバー人材センターを追加してほしい。					
				・千里山保育園を追加してほしい。					
	・駅からの利用ではないが、駅を経由して登下校するので吹田市立第一中学校、千里第三小学校を考慮してほしい。								
	個別の課題				・第一噴水付近において、歩行者と車両が交錯して危険である。				
	追加				・千里山・佐井寺図書館までの佐竹千里山駅線を追加してほしい。				・具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、道路特定事業計画の中で検討を行います。  ・特定経路に追加を行いました。 【p. -16 4.2主な経路】および【p. -17 図 -11千里山・関大前地区特定経路路線図】 ・千里山駅～関大前駅間の経路として、準特定経路に追加を行いました。 【p. -16 4.2主な経路】および【p. -17 図 -11千里山・関大前地区特定経路路線図】 ・【p. -15 4.1主な施設】に示しております主な施設の考え方から郵便局は主な施設に含まれませんが、千里山駅から千里山郵便局まで(府道吹田箕面線)にしましては、【P. -24(5)千里山駅周辺整備事業】に示しております同整備事業内でバリアフリー化に配慮した整備を行います。 ・【p. -16 4.2主な経路】に示しております、各経路の位置づけから、主な経路への追加を行っておりません。 ・ただし、主な経路への追加は行いませんが、地域のまちづくりの中で検討すべき課題として認識しております。
					・千里山駅～第一噴水までの千里山西春日線を追加してほしい。				
					・千二地区公民館、千里山保育園までの千里山東1号線を追加してほしい。				
					・千里山駅～千里山郵便局までの府道吹田箕面線を追加してほしい。				
・千里山駅～関大前駅までの府道吹田箕面線を追加してほしい。									
・千里第二小学校までの佐井寺千里山東線を追加してほしい。									
・千三地区公民館、千三保育園、千里第三小学校、吹田市立第一中学校までの千里山西上の川線、千里山西88号線を追加してほしい。									

発言された場) ~ : 第1回～3回の各ワークショップでの発言された意見

ワークショップでの意見とその対応

		意見	発言された場			回答・対応策
基本構想について	主な施設・特定経路	主な経路	具体的な整備案	・佐竹千里山線の迷惑駐輪は課題である。駐輪場を整備して、迷惑駐輪をなくしてほしい。横断防止柵も必要。		<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道の整備方針につきましては、【p. -21～22 (2) 歩道】に記載しています。</li> <li>具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、道路特定事業計画の中で検討を行います。</li> </ul>
				・千里山東千里山西1号線は、車両乗入等の規制をすればどうか。		
				・千里山東千里山西1号線は、歩行者専用道路にすればどうか。歩車分離をするために、駅までの専用デッキはどうか。		
				・千里山東千里山西1号線に、駐輪場を設置してほしい。迷惑駐輪対策は必須である。		
				・府道吹田箕面線、千里山東1号線を一方通行化してほしい。		
				・府道吹田箕面線の通過交通量を調査し、通過交通を抑制する対策を検討してほしい。		
		整備内容	・溝蓋の不備の意味がわかりにくい。		<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道の側溝の蓋（溝蓋）が老朽化しているものや、グレーチングが大きく、車いすのキャスター等が落ち込む可能性があるものを意味しています。</li> <li>歩道の整備方針につきましては、【p. -21～22 (2) 歩道】に記載しています。</li> <li>具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、道路特定事業計画の中で検討を行います。</li> </ul>	
			・歩道にも水はけを良くするための横断勾配をつけた方がよい。			
			整備時期	・千里山佐竹線について、すぐに整備できるのであれば、随時実施してほしい。		
				・準特定経路の整備目標年次を明確にしてほしい。		
				・緊急性・優先順位がわからない。		
			その他	・佐竹千里山駅線と都市計画道路千里山佐井寺線等、名称が複数あるものは、統一して分かりやすいようにしてほしい。		
・整備のお金はいくぐらいを考えているのか。						
現況の課題	歩道	有効幅員	・歩道がない、狭い箇所がある。		<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道の整備方針につきましては、【p. -21～22 (2) 歩道】に記載しています。</li> <li>具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、道路特定事業計画の中で検討を行います。</li> </ul>	
		舗装	・マンホールのために段差ができている箇所がある。			
		勾配	・縦断勾配、横断勾配がきつい箇所がある。			
		横断歩道等との切り下げ部	・歩道と車道の段差が大きい。			
		・信号交差点のたまりが少ない。				

発言された場) ~ : 第1回～3回の各ワークショップでの発言された意見

ワークショップでの意見とその対応

		意見	発言された場			回答・対応策			
基本構想について	主な施設・特定経路	現況の課題	歩道	排水施設等	・側溝に蓋が無い、とぎれている箇所がある。側溝の蓋が凸凹している箇所がある。				<p>・歩道の整備方針につきましては、【p. -21～22 (2)歩道】に記載しています。</p> <p>・具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、道路特定事業計画の中で検討を行います。</p>
				視覚障害者誘導用ブロック	・視覚障害者誘導用ブロックがない、連続していない箇所がある。				
				横断防止柵等	・柵が無い箇所がある。				
			照明施設	・街灯が少ない。					
			案内設備	・公共施設への案内が無い。					
			その他	・グレーチング等、施設が全般的に古い。					
				・歩行者、車両が混在しているため危険である。					
		・関大生が広がって歩いたり、立ち止まったりしていると道も狭くなる。関大生の通学ルートを分散化してほしい。							
		・歩道部分が狭い。							
		踏切	・凹凸があるため通行しにくい。(レール)						
・歩道との接続部が急勾配になっているため車いすでは通行しにくい。									
・踏切の歩道端がわからない。									
・視覚障害者誘導用ブロックを敷設してほしい。									
・車の流れが複雑で危険。									
・踏切の拡幅や、形状の改善を検討してほしい。									
・千里山駅前の踏切の地下道がバリアフリー化されていない。エレベーターを設置してほしい。									
・千里山東千里山西1号線の踏切を立体交差にしてほしい。									
信号機・交差点	・千里山駅前の交差点では、車が視認しにくい。横断しにくい。				<p>・交通安全特定事業の整備方針につきましては、【p. -23 (3)交通安全特定事業】に記載しています。</p> <p>・具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、交通安全特定事業計画の中で検討を行います。</p>				
	・千里山団地内道路と佐竹千里山駅線の交差点は信号機がなく、車が停止せずに出てくるため危険である。								
	・音響信号がない。								
施設	商店	・多くの飲食店の内部は段差がある。				<p>・商店街は主な施設に指定しています。</p> <p>・いただいたご意見については、バリアフリーの趣旨をふまえ改善されるよう、各施設管理者へ要望していきます。</p>			

発言された場) ~ : 第1回~3回の各ワークショップでの発言された意見

ワークショップでの意見とその対応

			意見	発言された場			回答・対応策
基本構想について	ソフト施策	現況の課題	歩道上の占有物	<ul style="list-style-type: none"> <li>路上駐車（荷下ろし車含む）、路上バイク、迷惑駐輪、看板、商店の張り出し看板などがある。</li> <li>植木が繁茂して危険な箇所がある。</li> <li>歩道端の花壇が車いす利用者の手にあたって危険な箇所がある。</li> <li>溝蓋を設置したら迷惑駐輪が増えた箇所がある。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフト施策の考え方につきましては、【p. -25（6）ソフト施策】に記載しています。</li> </ul>
			その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車や自動車のスピードが出ているため危険である。</li> <li>ゴミが多く、汚い。</li> </ul>			
			具体的な整備案	<ul style="list-style-type: none"> <li>迷惑駐輪に対して、アンケートや聞き取り調査を行うってはどうか。</li> <li>千里山駅東側の駐輪対策を行う場合には、西側の対策も検討してほしい。</li> </ul>			
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>円山地区の治安対策も必要である。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいたご意見につきましては、地域のまちづくり事業等の中で検討を行います。</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>自動販売機はボタン位置が高いため、車いすでは利用できない。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>	

発言された場) ~ : 第1回~3回の各ワークショップでの発言された意見

## 2.2 みなみせんり ちく 南千里地区ワークショップでの意見

### (1) タウンウォッチングでの意見

第1回ワークショップで行ったタウンウォッチングでの各班の意見まとめを下記に示します。

南千里地区 ①青色班 (駅構内、駅西側道路調査)
駅構内

【ホーム】

- ホームの柱が多く、特に視覚障害者にとっては危険 (写真5)
- 一安全対策が必要ではないか (例: 避難を促すべく、視覚障害者誘導用ブロックで示す 等)
- 視覚障害者は、ホーム上で電車のドアの位置がわからないのでわかるようにしてほしい
- ホームの境がわかりにくいので、落下の危険性があるのではないかと
- 全体的にホームが暗い



【エスカレーター】

- 上下両方向のエスカレーターを配置することが望ましい

【境界線】

- 駅舎と通路の境界部分に段差がある (写真4)



【券売機】

- 車いす利用者にとっては、券売機の画面が鈍めになっているため見にくい (写真5)
- 視覚障害者にとってはタッチパネル式の券売機は使いにくい
- 回数券やカード等には種類があり、購入の仕方がわかりにくい





【視覚障害者誘導用ブロック】

- 部分的に壊れている (写真1)
- エレベーターまでの誘導がない (写真2)




【待合室】

- 境番がわかりにくい

【トイレ】

- 車いす用トイレ (写真6)
- ゴミ箱が小さい
- 荷物置きがほしい
- エアタオルがあればありがたい



【出入口】

- 出入口が少し奥まったところあり、わかりにくい (写真7)
- 構内障害者にとっては、男女の区別がわかりにくい (写真7)



【案内】

- 南行きの電車が梅田方面か天下茶屋方面かアナウンスしてほしい
- 時刻表がわかりやすく、わかりにくい

南千里地区 ①青色班 (駅構内、駅西側道路調査)
周辺道路

【交差点1】

- 番号待ちスペースが狭い



□側溝が危険



【警告信号】

- 音が小さい
- 音が鳴りやんでから赤になるまでの時間が長くなるように思う



【交差点2】

- 横断歩道の手前にポールがあった方がよい



【交差点3】

- 歩道と車道との間に柵がない



【交差点4】

- 幅員がやや狭く、自転車とのすれ違い時に危険を感じる
- 迷惑駐車で幅員が狭くなる (写真3)



【交差点5】

- 安全柵



【交差点6】

- 歩道と車道との間に柵がない



【交差点7】

- 横断歩道の手前にポールがあった方がよい



<全体>

- 「迷惑駐輪」という言葉は不適切ではないか
- 自転車からの視覚も必要
- バリアフリーでは自転車が悪者になっている

【区民共済】

<雑談>

- 木の根の盛り上がりや老朽化で凸凹が多い (写真6)
- 舗装の境目に自転車や車いすの車輪がとられる (写真7)




<側溝>

- 蓋や柵がなく、落下の危険がある

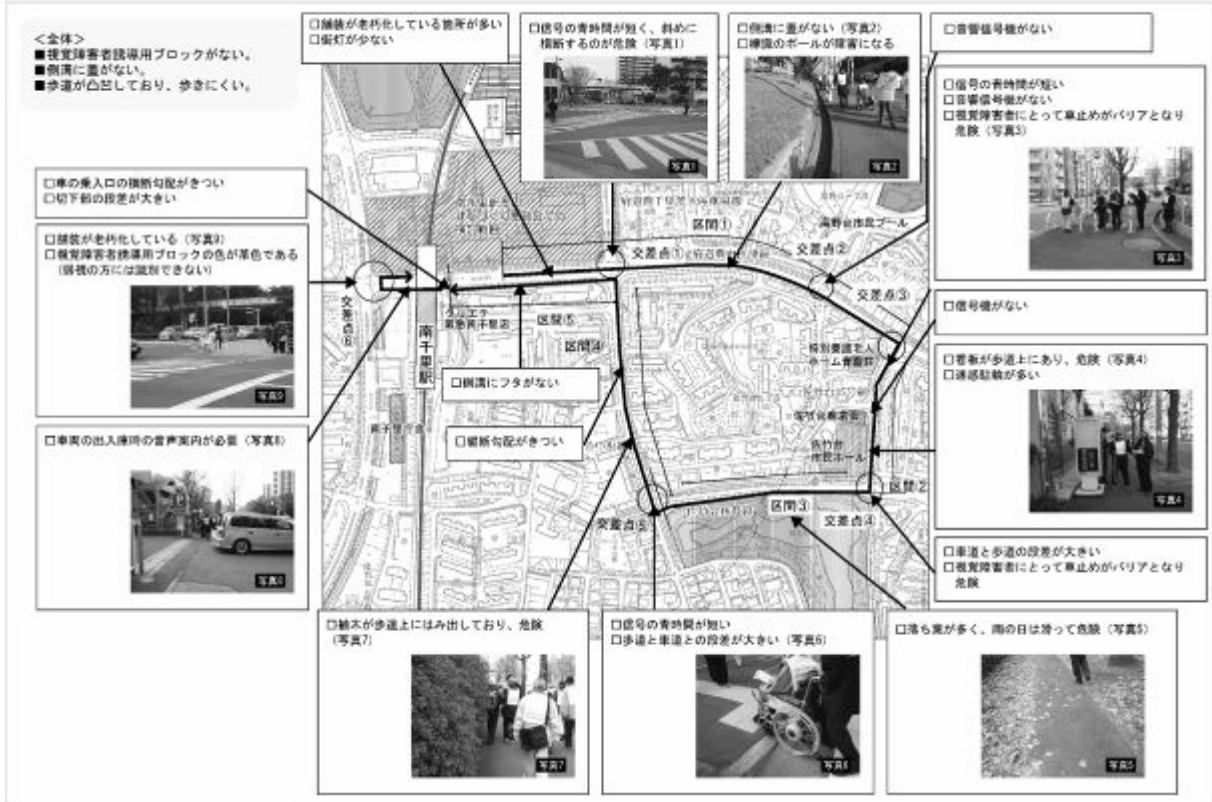


<視覚障害者誘導用ブロック>

- 視覚障害者の手前にならない
- 色が薄くなったり、壊れていて使いにくい



さん 参-19



## (2) ワークショップでの意見とその考え方

基本構想に幅広い意見を反映することを目的に、意見交換やタウンウォッチングを行う南千里地区ワークショップを3回開催しました。

その主な意見とそれに対する考え方を次ページ以降に示します。



ワークショップでの意見とその対応

		意見	発言された場			回答・対応策		
基本構想について 南千里駅	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体障害者・高齢者・子連れの母親等、色々な立場の人の意見を聞いて整備してほしい。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>本基本構想は、委員会の傍聴、ワークショップ、パブリックコメントで多くの方の意見を伺いながら検討を進めました。</li> <li>吹田市道の道路特定事業計画作成時は、基本構想策定時と同様、ワークショップ形式で検討を進めます。その際、その他の事業につきましても、ご意見をいただければ、各管理者に要望していきます。</li> </ul>		
	整備時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>すぐに整備できる箇所があれば、随時実施してほしい。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的には特定事業計画の中で検討を行います。</li> </ul>		
	垂直移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>エスカレーターは、北千里方面のホームは下り方向、大阪方面のホームは上り方向しか設置されていない。方向を再検討してほしい。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>駅舎の整備方針につきましては、【p. -17～18 (1) 駅舎(南千里駅)】に記載しています。</li> <li>具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、実施可能な内容につきましては、公共交通特定事業計画の中で検討を行います。</li> </ul>		
	個別施設	券売機	<ul style="list-style-type: none"> <li>切符や回数券の買い方がわかりにくい。</li> <li>タッチパネル式の券売機は、画面が斜め(45度、60度)になっているため、車いすでは使いにくい。</li> </ul>					
		トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミ箱が小さい。</li> <li>荷物ラック、エアタオルがほしい。</li> <li>トイレが少し奥まった場所にあるため、場所・出入口がわかりにくい。</li> <li>視覚障害者には男女の区別がわかりにくい。</li> </ul>					
	現況の課題	ホーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障害者誘導用ブロックと柱が隣接している。ゴムなどのカバーが必要ではないか。</li> <li>視覚障害者が、車両の乗車口(ドアの位置)がわかるようにしてほしい。</li> <li>ホームの端がわかりにくく、落ちてしまう危険がある。</li> <li>転落防止柵の必要性について、検討が必要である。</li> <li>全体的にホームが暗く、見通しが悪くなっている。</li> </ul>					
			休憩施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>待合室の場所がわかりにくい。</li> </ul>				
			案内情報施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>「淡路方面」のアナウンスでは、梅田行きか天下茶屋行きかわからない。</li> <li>時刻表が一箇所しかなくわかりにくい。</li> <li>エレベーターまでの視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていない。</li> <li>視覚障害者誘導用ブロックが一部破損している。</li> </ul>				

発言された場) ~ : 第1回~3回の各ワークショップでの発言された意見

				意見	発言された場			回答・対応策
基本構想について 主な施設・特定経路	重点整備地区	追加		・竹見台2丁目を追加してほしい。				・重点整備地区に追加を行いました。 【p. -3 函 -2区域図】、【p. -10 函 -7南千里地区地区内施設配置図】および【p. -16 函 -8南千里地区特定経路路線図】
				・佐井寺地区を追加してほしい。				・吹田市では、重点整備地区は主な経路や主な施設を含む町丁目界で選定しています。 ・ご意見のあった地域は、主な経路や主な施設を含んでいないため重点整備地区への追加を行いませんが、地域のまちづくりの中で検討を進めていきます。
	主な施設	追加		・好日荘を追加してほしい。				・主な施設に追加を行いました。 【p. -12～13 4.1主な施設】および【p. -16 函 -8南千里地区特定経路路線図】
				・津雲台市民ホールを追加してほしい。				・主な施設に追加を行いました。また、津雲台市民ホールは山田地区の主な施設に含まれていますので、その旨を記載しています。 【p. -12～13 4.1主な施設】および【p. -16 函 -8南千里地区特定経路路線図】
				・ホテルマーレ南千里を追加してほしい。				・まちづくり懇談会検討範囲内の主な施設に追加を行いました。 【p. -12～13 4.1主な施設】および【p. -16 函 -8南千里地区特定経路路線図】
				・千里新田地区公民館を追加してほしい。				・【p. -12 4.1主な施設】に示しております、主な施設の考え方から、主な施設への追加を行っておりません。 ・ただし、主な施設への追加は行いませんが、地域のまちづくりの中で検討すべき課題として認識しております。
				・南千里保育園、千里聖愛保育センター、千里ニュータウン保育園を追加してほしい。				
				・桃山台小学校地域交流室を追加してほしい。				
				・千里山図書館を追加してほしい。				
				・関西留学生会館を追加してほしい。				
				・千里高校を追加してほしい。				
				・竹見台、桃山台、津雲台の医療センターを主な施設に追加してほしい。				
				・大丸ピーコック竹見台店跡地を追加してほしい。				
				・竹見台北側の商業集積地を追加してほしい。				
	・竹見台商店会、桃山台ショッピングセンター、津雲台商店街を追加してほしい。							
	・佐竹公園、あべりあ公園を追加してほしい。							

発言された場) ~ : 第1回~3回の各ワークショップでの発言された意見

				意見	発言された場			回答・対応策	
基本構想について 主な施設・特定経路 記載内容 主な経路	個別の課題			・府道吹田箕面線の南千里駅前交差点付近の歩道に、幅員を狭める障害物（植栽帯）がある。				<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道の整備方針につきましては、【p. -19～23（2）歩道】に記載しています。</li> <li>具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、道路特定事業計画のなかで検討を行います。</li> </ul>	
				・街路樹が街灯をさえぎっている。特に府道吹田箕面線。					
				・府道豊中摂津線は、勾配は緩いが長いので車いすではつらい。休憩施設があればよい。					
				・府道豊中摂津線の佐竹台2丁目交差点は、雨が降ると水が溜まる。					
	個別の課題				・府道豊中摂津線のバス停と歩道が遠い。				<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道の整備方針につきましては、【p. -19～23（2）歩道】に記載しています。</li> <li>具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、道路特定事業計画のなかで検討を行います。</li> </ul>
	追加				・高野台市民ホールまでの南千里駅高野線を追加してほしい。				<ul style="list-style-type: none"> <li>特定経路に追加を行いました。</li> <li>【p. -14～15 4.2主な経路】および【p. -16 図 -8南千里地区特定経路路線図】</li> <li>南千里庁舎までの主な経路として、府道吹田箕面線を指定しています。</li> <li>【p. -14～15 4.2主な経路】および【p. -16 図 -8南千里地区特定経路路線図】</li> <li>【p. -14～15 4.2主な経路】に示しております、各経路の位置づけから、主な経路への追加を行っておりません。</li> <li>ただし、主な経路への追加は行いませんが、公園内の通路としてバリアフリー化整備を行います。【p. -24（5）施設】</li> <li>【p. -14～15 4.2主な経路】に示しております、各経路の位置づけから、主な経路への追加を行っておりません。</li> <li>ただし、主な経路への追加は行いませんが、地域のまちづくりの中で検討すべき課題として認識しております。</li> <li>今後も継続して、関係機関と協議を行います。</li> <li>いただいたご意見につきましては、バリアフリーの趣旨をふまえ、改善されるよう、各施設管理者に要望していきます。</li> <li>「南千里駅周辺まちづくり懇談会」での検討範囲であり、現在、千里南地区センター再整備事業基本計画を策定中ですので、いただきましたご意見につきましては、その計画の中で検討を行います。</li> </ul>
					・好日荘までの佐竹中央線を追加してほしい。				
					・南千里庁舎への経路を確保してほしい。南千里駅南側に改札をつける、デッキでつなぐ等して、行きやすいようにしてほしい。				
					・千里南公園内の通路を追加してほしい。				
					・あべりあ公園、竹見台商店会までの竹見台専用11号線を追加してほしい。				
					・千里高校までの津雲高野線、高野台1号線、高野台2号線、高野台専用34号線を追加してほしい。				
・千里新田地区公民館までの府道吹田箕面線、千里山西3号線、千里山西103号線を追加してほしい。									
・千里南公園東側の府道南千里次木停車場線を追加してほしい。									
・竹見台の公団敷地内の通路を追加してほしい。									
・公団敷地内の歩道の整備について、公団と協議を行って進めてほしい。									
・公団内の通路に関して、基本構想に「協議が終わった段階で整備を行う」と記載することはできないか。									
・南千里駅から千里病院への安全でわかりやすい最短ルートを確認してほしい。									
・南千里駅から津雲台への2階高さでの経路を確認してほしい。津雲台53号線をどう横断するかが重要。									

発言された場) ~ : 第1回～3回の各ワークショップでの発言された意見

				意見	発言された場			回答・対応策	
基本構想について	主な施設・特定経路	現況の課題	歩道	整備内容	・府道豊中摂津線について、照明が非常に暗いので改善してほしい。基本構想の整備内容に記載できないか？				・「歩行者の安全性を確保するため、交通状況をふまえ、適宜、街灯や道路照明灯の設置を検討します。」という一文を追加しました。 【p. -20 b.豊中摂津線】
					・自転車と歩行者の動線を分離してはどうか。				・歩道の整備方針につきましては、【p. -19～23 (2)歩道】に記載しています。
					・まち中の誘導サイン(看板等)も検討してほしい。				・具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、道路特定事業計画のなかで検討を行います。
				有効幅員	・歩道がない、狭い箇所がある。				歩道の整備方針につきましては、【p. -19～23 (2)歩道】に記載しています。 具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、道路特定事業計画のなかで検討を行います。
					・標識柱、電柱、看板、迷惑駐輪等が歩道にあり歩みにくい。				
				舗装	・木の根などにより舗装が老朽化して凸凹している箇所がある。				
					・縦断勾配、横断勾配がきつい箇所がある。				
				横断歩道等との切り下げ部	・車道と歩道の段差が大きい。				
					・公団住宅の入口と歩道の段差が大きい。				
					・交差点のたまりが少ない箇所がある。				
				排水施設等	・側溝にグレーチングや溝蓋がない、老朽化している箇所がある。				
					・視覚障害者誘導用ブロックがない箇所がある。				
					・老朽化して色が薄くなったり、壊れている箇所があり使いにくい。				
				視覚障害者誘導用ブロック	・工事中の歩道の視覚障害者誘導用ブロックに不備が目立つ。				
					・吹田箕面線の歩道と車道の間に柵がない。				
				横断防止柵等	・歩道照明が少なく、夜間が暗い箇所がある。				
					・文字がわかりにくい方のために、ルビやピクトグラム付きの案内板の整備をしてほしい。				
				案内設備	・まち中の誘導サインも必要。				
					・南千里駅前交差点の水はけが悪く、大雨が降ると水浸しになる。				
				その他	・車止め用のポールが歩道に複数あると車いすは通りにくい。				
・歩行者の少ないところは、スーパー防犯灯の整備をしてほしい。									
・ベンチ等の設置を検討してほしい。									
・公衆電話を設置してほしい。									
・バスのダイヤ・ルートの改善をしてほしい。									
バス車両およびバス停	・バス停に屋根がない。				・ワークショップでのご意見をふまえ、阪急バスに改善を要望していきます。 ・バス停の改良につきましては、【p. -23 (3)バス・バス停】に含んでいます。				

発言された場) ~ : 第1回～3回の各ワークショップでの発言された意見

ワークショップでの意見とその対応

		意見	発言された場			回答・対応策
信号機・交差点			・信号がない箇所がある。			<p>交通安全特定事業の整備方針につきましては、【p. -24 (4)交通安全特定事業】に記載しています。</p> <p>具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、交通安全特定事業計画のなかで検討を行います。</p>
			・青信号の時間が短い			
			・音響信号がない箇所がある。			
			・音響信号の音が小さい。			
			・音響信号の音が鳴り終わってから、信号が変わるまでの時間が長く感じる。			
		・スクランブル交差点は迷うので、エスコートゾーンを設けてほしい。				
施設	千里南公園		・千里南公園の園路に舗装をしたり、視覚障害者誘導用ブロックを敷設する必要はない。			<p>施設の整備方針につきましては、【p. -24 (5)施設】に記載しています。</p> <p>いただいたご意見につきましては、バリアフリーの趣旨をふまえ、改善されるよう、各施設管理者に要望していきます。</p>
			・千里南公園のトイレを増やしてほしい。			
	その他		・千里市民センターに自動ドアでない箇所があり不便。			
			・南千里交番は車いすでは利用できない。			
基本構想について	千里南地区センター再整備事業地域内		<p>・千里南地区再整備事業において、「既存の歩行者動線に配慮」という項目を具体的に記載してほしい。</p> <p>・高野台の公団敷地から、府道南千里茨木停車場線に降りる階段をバリアフリー化してほしい。1階高さの歩道を利用できるようにしてほしい。</p>			<p>現在、千里南地区センター再整備事業基本計画を策定中ですので、いただきましたご意見につきましては、その計画の中で検討を行います。</p>
	ソフト施策	記載内容	<p>・バリアフリーで自転車が悪者（駐輪問題、暴走の危険）と位置づけられているのはおかしい。自転車の視点が必要。</p> <p>・自転車を活かしたまちづくりについても、基本構想に記載してほしい。</p>			<p>ソフト施策の考え方につきましては、【p. -26 (7)ソフト施策】に記載しています。</p>
		現況の課題	歩道上の占有物	・路上駐車、迷惑駐輪、商店の張り出し看板などがある。		
その他		<p>・アメニティ性の向上やデザインの向上など、バリアフリー化以外での整備も必要。</p> <p>・コミュニティバスの導入・社会実験を検討してほしい。</p>			<p>今後の参考とさせていただきます。</p>	

発言された場) ~ : 第1回~3回の各ワークショップでの発言された意見

## 2.3 パブリックコメント<sup>1</sup>での意見とその考え方

基本構想に幅広い意見を反映することを目的に、パブリックコメントを実施しました。その主な意見とそれに対する考え方を次ページ以降に示します。

### パブリックコメントの概要

- (1) 募集期間：平成18年（2006年）7月3日（月）～7月18日（火）
- (2) 募集方法：吹田市のホームページや市報への掲載及び市役所の窓口等で基本構想（素案）を配付し、意見を募集
- (3) 受付方法：郵便、FAX、電子メールまたは持参
- (4) 応募結果：5通

パブリックコメントでの意見一覧

パブリックコメントでの意見とその対応

1) パブリックコメント：P.参-2参照

パブリックコメントでの意見一覧

パブリックコメントでは、下記の5通の意見を頂きました。

	意見
1	<p>1. 階段の手摺の高さ設定に細心の配慮を求めます。</p> <p>既存の階段の手摺を手でなぞりながら、上がり下りをしてください。斜面では手を高く感じて、上と下の水平箇所では手摺を低く感じるはず。これは、手摺に安全を頼る人にとって非常に使いづらい手摺です。上がり始めから上がり終わりまで、また逆に下り始めから下り終わりまで手摺が同じ高さに感じるように細心の配慮を求めます。</p> <p>日本中の全ての階段で、住宅の階段でも見落とされている欠陥です。</p> <p>2. 煙が大気に発散されない地下道のような箇所は禁煙することを求めます。ただし、車が通行する箇所は排ガスがあるので禁煙までする必要がありません。</p> <p>以上</p>
2	<p>千里山・関大前地区基本構想素案に関するパブリックコメントについてですが、基本構想は、良くできていると思いますが、僕は視覚障害者であるために切実に感じている事を下記に書きましたので加えてほしいと思います。</p> <p>1. 特定経路や準特定経路の場所が地図が見えないために良く判りません。文章の中に経路の起点や終点の施設を明記してほしいです。</p> <p>2. 吹田・箕面線の特定経路や準特定経路への指定が困難だと聞いておりますが、千里山・関大前駅周辺の整備計画でこの吹田・箕面線が指定されないと駅周辺ではなく、ほとんどが駅東側のみの整備でしかなくなり、千里山・関大前駅の西側を歩行する障害者や高齢者は、これからも命の危険にさらされるということになり、交通バリアのある住みにくい地域になってしまいます。ですから、少なくとも千里山駅から千里山郵便局までと関大前駅から千里山西郵便局までを是非、特定経路に指定してほしいです。</p> <p>3. 郵便局には、点字付きのATMがあり、視覚障害者が単独で生活に必要なお金を入金しようと思ってもその郵便局までが歩道や点字誘導ブロックが整備されていないと単独で行く事ができません。ATMのある施設への整備をしてほしいです。</p> <p>4. 阪急千里山駅の梅田方面のホームの点字誘導ブロックが敷設されていますが、誘導ブロックに沿って歩くと白杖が近接する駅舎を支える柱に当たって歩く事が困難なため、点字誘導ブロックが敷設されていても誘導ブロックを利用して歩いた事があります。ですから、駅舎の柱を移動するか、柱のない構造に変更してほしいです。</p> <p>5. これは、全ての阪急電車の駅に関する事ですが、阪急電車は、朝晩は、8両編成ですが、その他の時間帯では、6両編成になったりします。僕は天6で谷町線に乗り換えるために電車の最後尾に載る事が多いのですが、8両編成の時の最後尾の位置は判るのですが、6両編成のように車両編成が短い時の最後尾の位置が判りません。</p> <p>もし、最後尾の位置を間違えるとホームから転落する事もありえますので、ホームに車両編成が短い時の最後尾の位置を示す点字ブロックを敷設してほしいという事と次の電車が何両編成で来るのかを行き先のアナウンスと同時にしてほしいと思います。</p> <p>以上の事を千里山・関大前地区基本構想素案に是非、取り入れてほしいと思います。</p> <p>宜しくお願い致します。</p>

	意見
3	<p>1. 南千里駅からタクシー乗場までのバリアフリー実現のお願い。現在改札を出て左側の階段を下り、タクシー乗場まで足元の悪さ（雨の日は大変）が事故につながります。駅構内よりエレベーター等で乗場まで直結してください。その他何らかの方法でお願いします。</p> <p>2. バスを降りて駅へ向うエレベーターとエスカレータは商店のためのものらしく早朝・夜は動いていません。駅へ向うには階段を利用しなくてはならず、交通機関を利用するものには役立たずです。</p> <p>高齢化が進みます色々な角度から考えてバリアフリー実現してください。</p>
4	<p>市民に広く意見を聞き、地域一体となった働きは、とても心強く感じています。</p> <p>基本構想についてですが、視覚障害者にとって安全に活動するためには、広い意味でのバリアフリー化が不可欠です。少しずつ良い方向へ進んでいますが、まだまだ広がりが少ないのです。</p> <p>以下の事を基本構想に盛り込んで頂きたいと思えます。</p> <p>1. 吹田・箕面線の特定経路や準特定経路への指定が困難だということですが、千里山駅前、西側のこの部分が交通量も多く、踏み切りもあり、一番危険で通行しづらいのです。せめて、千里山駅から千里山郵便局までと関大前駅から千里山西郵便局までを、特定経路に指定して下さい。</p> <p>2. 郵便局には、点字付のATMがあり、視覚障害者が安心して生活に必要な利用をすることが出来るのです。安全に利用するためにも、郵便局まで歩道や点字誘導ブロックが整備されていないと単独で行くことが出来ません。ATMのある施設への整備をしてください。</p> <p>3. 阪急千里山駅のホームの点字誘導ブロックですが、すぐ横に柱があるので、誘導ブロックに沿って歩くとぶつかり危険なため、駅舎を移動する時に、この柱を移動するか、柱のない構造に変更してほしい。</p> <p>（これは、阪急北千里線のほとんどの駅に共通している不便利さです。）</p> <p>4. 阪急電車は、時によって車両の数が変わるために、最後尾の位置が分からず、乗り込もうとした時に車両が無い場合があり、危険です。</p> <p>アナウンスや線路内にある車両案内板の文字をもっと見やすく大きく表示するなど最後尾や車両場所が分かるように工夫してほしい。</p> <p>5. 今回の交通バリアフリーのホームページにはPDFファイルばかりで、視覚障害者のほとんどが使っている音声パソコンにのらないページです。</p> <p>特定経路や準特定経路の場所の地図がパステルカラーで見づらくよく分かりませんでした。特に、重要な部分だけでも音声パソコンで読む事のできるテキストファイルなどを付けて経路の起点や終点、施設の場所を文書で明記してほしいです。全てのページがバリアフリーだと、とてもよくできた資料なのに音声で読めないのがとても残念です。</p> <p>以上の事を千里山・関大前地区基本構想素案に、ぜひ取り入れて下さい。</p>



	意見
5	<p>1. 何故、主な施設に商業施設として千里山マーケットや大丸ピーコック、田村書店が入っていないのか？</p> <p>「理由」</p> <p>実際、まちを歩いていると上記3店を利用している人はいる。その帰り道にタクシーを利用している人もいる（帰り道は荷物などで歩けないから）普段の暮らしが（どの人にとってもだが）どうなのかがとても大切である。バリアフリーなのか、不便なのか、危険なのか、検討する余地があるのかどうか、人が歩いて、車椅子で、白杖で行けるのか？ゆるやかな坂道が上りと下りではどうなのか？以上の3店を利用する人にとっても、物理的な面から考えれば、この章に入れられるべきだと思う。あるいは近辺の商業施設はすべて考慮すべきではないだろうか？</p> <p>2. 千里山駅周辺まちづくり懇談会等との連携とあるがそれはないと思う。</p> <p>1（1-1（2））（他の項目にも有 1（2）、 14）</p> <p>「理由」</p> <p>私自身、まち懇の世話人会に参加しているが、交通政策課がまち懇の全体会に出席し、バリアフリーも考慮しつつ、まちづくりをしてほしいという話はない。</p> <p>（以前、バリアフリーの基本構想の素案作成中という話があったが、それきりだ）</p> <p>市として、千里山駅周辺のみならず、吹田のまちづくりに欠かせないバリアフリーをどのように考えているのか、（計画しているのか？）方針なりは説明すべきでは？又、公園の建て替えによって駅前が大きく変わろうとする中、ユニバーサルデザインをどのように生かしていくつもりなのか、具体的に都市整備室をはじめとする関係部署と協議してほしい。</p> <p>3. 「心のバリアフリー」 3（3）（その他の項目 24、ソフト施策）</p> <p>「心のバリアフリー」とはどういうものか、具体的に示してほしい</p> <p>バリアフリーは高齢者や身体の不自由な方だけの問題ではなく人間、一人、一人にとって大切なことだと思います。差別や迷惑行為というだけでなく、相手を思いやる気持ちや、当たり前前のことが、ちゃんと当たり前のこととして行える雰囲気にしていくこととかも大切だと思います。又、不自由な方も遠慮せずに「～して」「そこまで連れてって～」とか遠慮せずに声をかけてほしいし、声をかけた方の気持ちも受け入れられるような、“お互い様”な関係づくりも大切だと思います。「心のバリアフリー」を目指そうなんて聞こえはいいけれどその為には、誰が動かなければならないのか、何が必要なのか、もう少し深く考えてほしいです。</p>

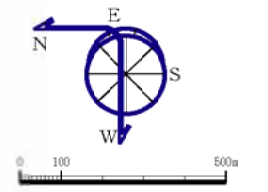
編	章	項目	ページ	ご意見	基本構想(案)における取り扱い
策定の背景と位置づけ	-	1.1 基本構想の策定の背景 (2) 地域との連携による基本構想 千里山・関大前地区	p. -1	<p>・千里山駅周辺まちづくり懇談会等との連携とあるがそれはないと思う。 私自身、まち懇の世話人会に参加しているが、交通政策課がまち懇の全体会に出席し、バリアフリーも考慮しつつ、まちづくりをしてほしいという話はない。 (以前、バリアフリーの基本構想の素案作成中という話はあったが、それきりだ) 市として、千里山駅周辺のみならず、吹田のまちづくりに欠かせないバリアフリーをどのように考えているのか、(計画しているのか?)方針なりは説明すべきでは?又、公団の建て替えによって駅前が大きく変わろうとする中、ユニバーサルデザインをどのように生かしていくつもりなのか、具体的に都市整備室をはじめとする関係部署と協議してほしい。 1(1-1(2))、1(2)、14</p>	<p>基本構想(案)にあたっては、都市整備室をはじめ、吹田市内の関係部局だけではなく、各施設管理者、事業者等とも協議を行い、検討を進めました。 ・第8回千里山駅周辺まちづくり懇談会において、バリアフリー化整備について説明を行いました。 ・千里山駅周辺については、まちづくり懇談会で道路線形等一定の方向が示され、より具体的な検討が進む中でユニバーサルデザインも含めた詳細な検討をあらためて懇談会にお願いをしたいと考えています。</p>
千里山・関大前地区		全体		<p>・特定経路や準特定経路の場所が地図が見えないために良く判りません。文章の中に経路の起点や終点の施設を明記してほしいです。 ・今回の交通バリアフリーのホームページにはPDFファイルばかりで、視覚障害者のほとんどが使っている音声パソコンにのらないページです。 特定経路や準特定経路の場所の地図がパステルカラーで見づらくよく分かりませんでした。特に、重要な部分だけでも音声パソコンで読む事のできるテキストファイルなどを使って経路の起点や終点、施設の場所を文書で明記してほしいです。</p>	<p>・主な経路の起点・終点を追加しました。 【p. -16 4.2主な経路】 ・いただいたご意見をふまえ、すべての人が見やすいホームページとなるよう改良を加えていきたいと考えています。今後ともお気づきの点があれば、ご意見をお寄せください。</p>
第4章 主な施設、主な経路	4.1 主な施設	(2) 千里山・関大前地区の主な施設	p. -15	<p>・何故、主な施設に商業施設として千里山マーケットや大丸ピーコック、田村書店が入っていないのか?</p>	<p>・【p. -15 4.1主な施設】に示しております、主な施設の考え方から、主な施設への追加を行っておりません。 ・ただし、主な施設への追加は行いませんが、【P. -24(5)千里山駅周辺整備事業】に示しております同整備事業内でバリアフリー化に配慮した整備を行います。</p>
	4.2 主な経路	-	p. -16	<p>・千里山駅から千里山郵便局までと関大前駅から千里山西郵便局まで(府道吹田箕面線)を是非、特定経路に指定してほしいです。</p>	<p>・【p. -15 4.1主な施設】に示しております主な施設の考え方から郵便局は主な施設に含まれませんが、千里山駅から千里山郵便局まで(府道吹田箕面線)に關しましては、【P. -24(5)千里山駅周辺整備事業】に示しております同整備事業内でバリアフリー化に配慮した整備を行います。</p>

編	章	項目	ページ	ご意見	基本構想(案)における取り扱い	
千里山・関大前地区	第5章 バリアフリー化事業の内容とスケジュール	5.1 事業内容とスケジュール	(1) 駅舎 a. 千里山駅	整備内容	p. -19 ・誘導ブロックに沿って歩くときと白杖が近接する駅舎を支える柱に当たって歩く事が困難なため、点字誘導ブロックが敷設されていても誘導ブロックを利用して歩いた事はありません。ですから、駅舎の柱を移動するか、柱のない構造に変更してほしいです。	<p>・駅舎の整備方針につきましては、【p. -18～20 (1) 駅舎】に記載しています。</p> <p>・具体的な整備内容につきましては、ワークショップでいただいたご意見をふまえ、実施可能な内容につきましては、公共交通特定事業計画の中で検討を行います。</p>
			p. -19 ・階段の手摺の高さ設定に細心の配慮を求めます。	p. -19 ・阪急電車は、時によって車両の数が変わるために、最後尾の位置が分からず、乗り込もうとした時に車両が無い場合があり、危険です。 アナウンスや線路内にある車両案内板の文字をもっと見やすく大きく表示するなど最後尾や車両場所が分かるように工夫してほしい。		
			p. -19 ・安全に利用するためにも、郵便局まで歩道や点字誘導ブロックが整備されていないと単独で行くことが出来ません。ATMのある施設への(視覚障害者誘導ブロックを)整備をしてください。			
		(2) 歩道	-	p. -20 ・「心のバリアフリー」とはどのようなものか、具体的に示してほしい	<p>・歩道の整備方針につきましては、【p. -21～22 (2) 歩道】に記載しています。</p> <p>・具体的な整備内容につきましては、ワークショップでのご意見をふまえ、道路特定事業計画の中で検討を行います。</p>	
		(6) ソフト施策	-	p. -24 ・煙が大気に発散されない地下道のような箇所は禁煙することを求めます。ただし、車が通行する箇所は排ガスがあるので禁煙までする必要はありません。	<p>・ソフト施策の考え方につきましては、【p. -25 (6) ソフト施策】に記載しています。</p>	

編	章	項目	ページ	ご意見	基本構想(案)における取り扱い	
南千里地区	第5章	全体		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定経路や準特定経路の場所が地図が見えないために良く判りません。文章の中に経路の起点や終点の施設を明記してほしいです。</li> <li>・今回の交通バリアフリーのホームページにはPDFファイルばかりで、視覚障害者のほとんどが使っている音声パソコンにのらないページです。特定経路や準特定経路の場所の地図がパステルカラーで見づらくよく分かりませんでした。特に、重要な部分だけでも音声パソコンで読む事のできるテキストファイルなどを使って経路の起点や終点、施設の場所を文書で明記してほしいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な経路の起点・終点を追加しました。 【p. -15 4.2主な経路】</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいたご意見をふまえ、すべての人が見やすいホームページとなるよう改良を加えていきたいと考えています。今後ともお気づきの点があれば、ご意見をお寄せください。</li> </ul>		
	第5章 バリアフリー 化事業 の内容 とスケ ジュール	5.1 事業内容 とスケ ジュール	(1) 駅舎 南千里駅	整備内容	<p>p. -17</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・階段の手摺の高さ設定に細心の配慮を求めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅舎の整備方針につきましては、【p. -17～18 (1)駅舎】に記載しています。</li> <li>・具体的な整備内容につきましては、ワークショップでいただいたご意見をふまえ、実施可能な内容につきましては、公共交通特定事業計画の中で検討を行います。</li> </ul>
					<p>p. -17</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阪急電車は、時によって車両の数が変わるために、最後尾の位置が分からず、乗り込もうとした時に車両が無い場合があり、危険です。アナウンスや線路内にある車両案内板の文字をもっと見やすく大きく表示するなど最後尾や車両場所が分かるように工夫してほしい。</li> </ul>	
			(6) 千里 南地区 センター 再整備 事業 地域 内	-	<p>p. -25</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南千里駅からタクシー乗場までのバリアフリー実現のお願い。現在改札を出て左側の階段を下り、タクシー乗場まで足元の悪さ(雨の日は大変)が事故につながります。駅構内よりエレベーター等で乗場まで直結してください。その他何らかの方法でお願いします。</li> <li>・バスを降りて駅へ向うエレベーターとエスカレーターは商店のためのものらしく早朝・夜は動いていません。駅へ向うには階段を利用しなくてはならず、交通機関を利用するものには役立たずです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、千里南地区センター再整備事業基本計画を策定中ですので、いただきましたご意見につきましては、その計画の中で検討を行います。</li> </ul>
			(7) ソフト 施策	-	<p>p. -26</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「心のバリアフリー」とはどういうものが、具体的に示してほしい</li> </ul>	
					<p>p. -26</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・煙が大気に発散されない地下道のような箇所は禁煙することを求めます。ただし、車が通行する箇所は排ガスがあるので禁煙までする必要がありません。</li> </ul>	



■吹田市交通バリアフリー基本構想 重点整備地区および特定経路・準特定経路 路線図 (平成18年12月現在)



凡 例	
	第一段 重点整備地区
	桃山台地区 重点整備地区
	第二段 重点整備地区
	駅から半径500mの範囲 (第三段階)
	駅から半径1kmの範囲 (第三段階)
	特定経路
	歩行空間ネットワーク (豊中市)
	準特定経路 (吹田市)

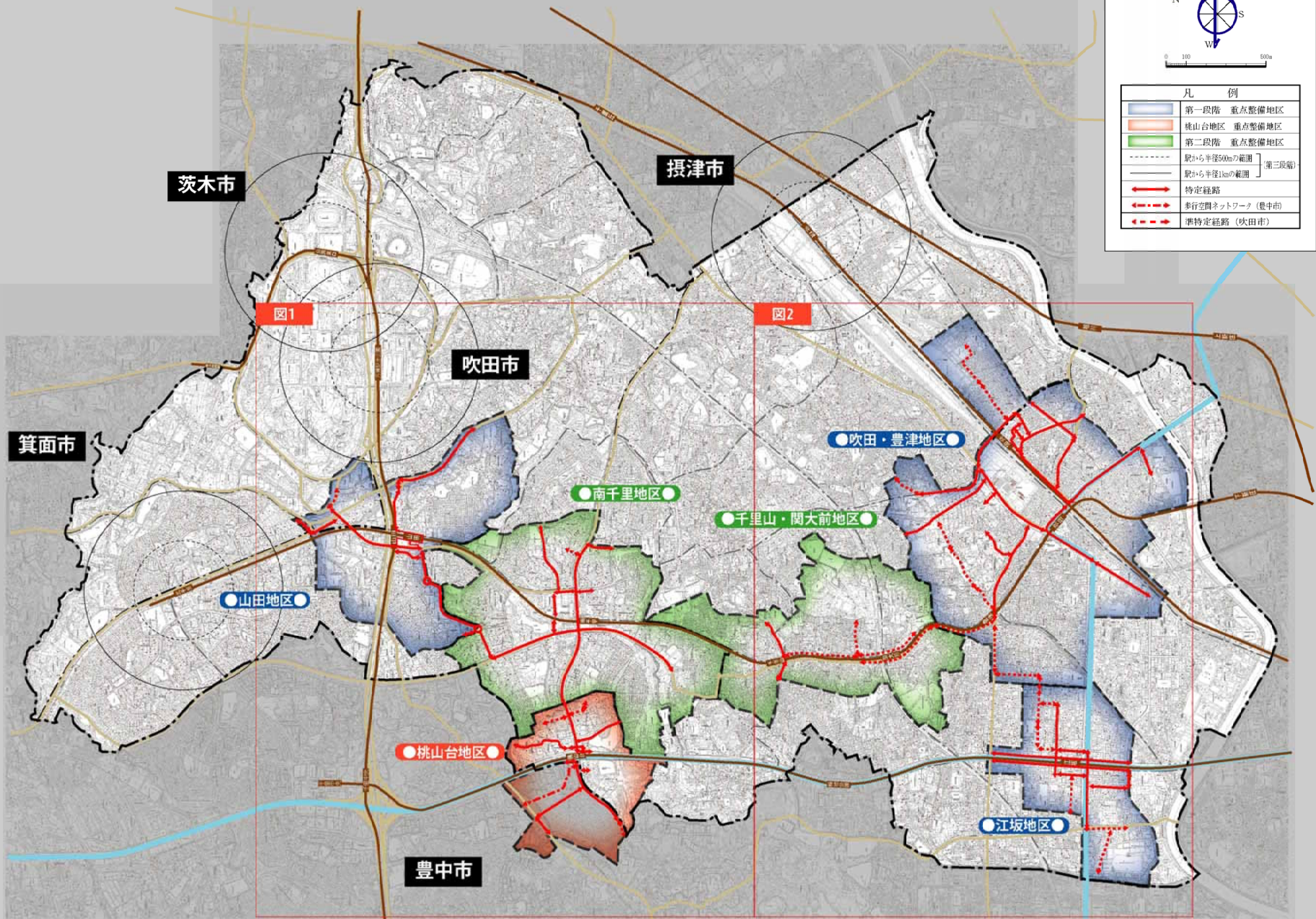




図1

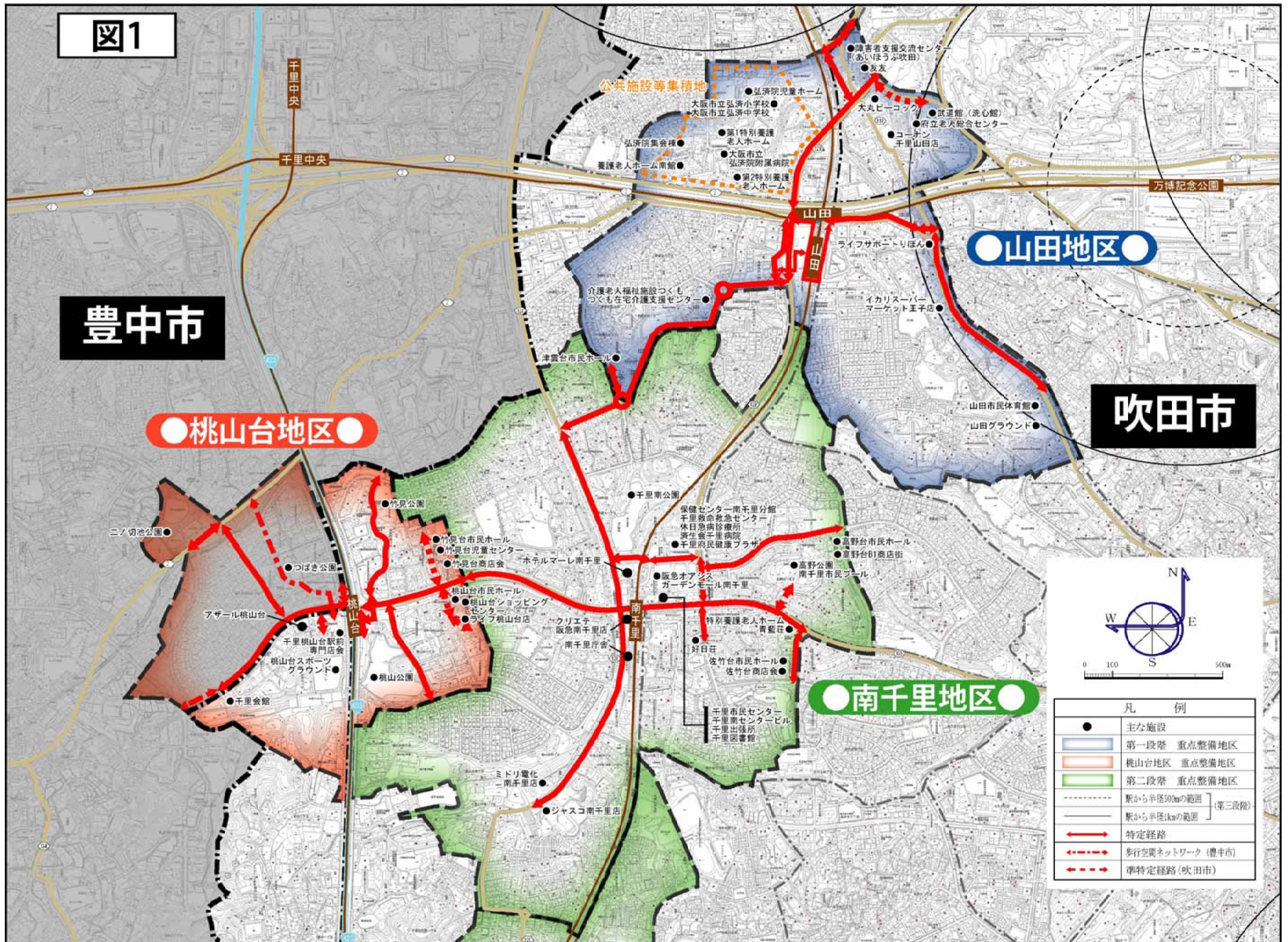
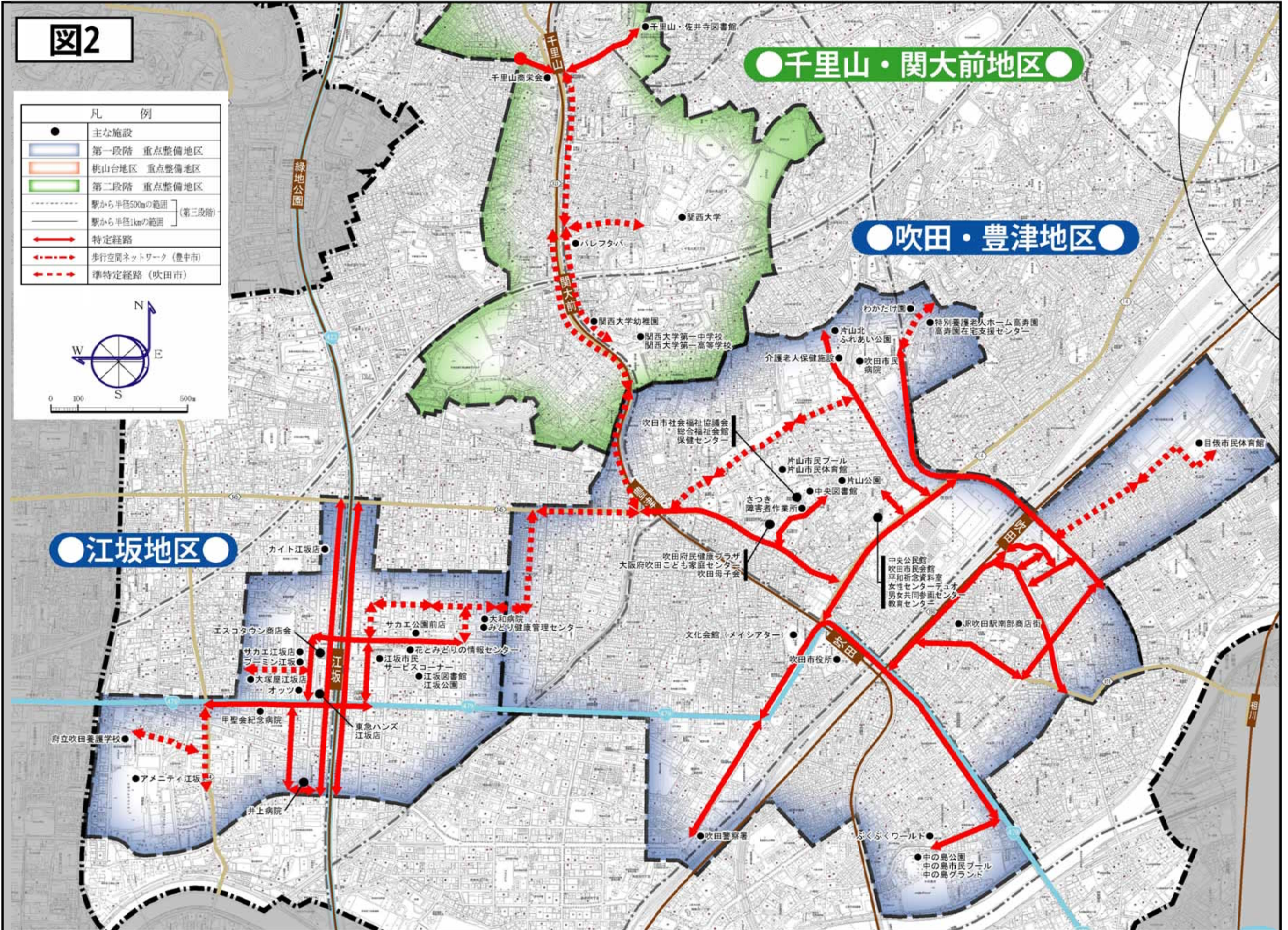
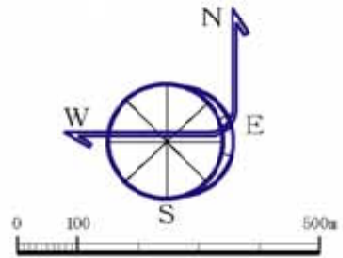




図2

凡 例	
●	主な施設
■ (薄青)	第一段階 重点整備地区
■ (薄赤)	桃山台地区 重点整備地区
■ (薄緑)	第二段階 重点整備地区
--- (点線)	駅から半径500mの範囲 (第二段階)
--- (長短点線)	駅から半径1kmの範囲 (第二段階)
→ (赤)	特定経路
→ (赤点線)	歩行空間ネットワーク (豊中市)
→ (赤点線)	準特定経路 (吹田市)





---

せんりやま かんだいまえ ちく みなみせんり ちく こうつう きほんこうそう  
千里山・関大前地区、南千里地区 交通バリアフリー基本構想  
へいせい ねん ねん がつ  
平成18年(2006年)12月

すいたし けんせつりよくかぶ どうろあんぜんしつ こうつうせいさくか すいしんがかり  
吹田市 建設緑化部 道路安全室 交通政策課 バリアフリー推進係  
おおさかふ すいたし しいずみちよう  
〒564-8550 大阪府吹田市泉町1-3-40  
TEL(06)6384-1980 / FAX(06)6368-9902  
ホームページ <http://www.city.suita.osaka.jp/>  
E-mail kotusei@city.suita.osaka.jp

---





古紙配合率 100%再生紙を使用しています